Doshisha University

同志社大学
大学案内

2026

志その先へ

同志社大学を知る

STEP 1 歴史・校風・雰囲気を知る

創立者を知る
「『人一人ハ大切ナリ』と『個儻不羈』」

P 14

同志社の先輩インタビュー
「多様な個が集まる場」

P 18

学長インタビュー

P 24

4年間の流れを知る
「4Years」

P 66

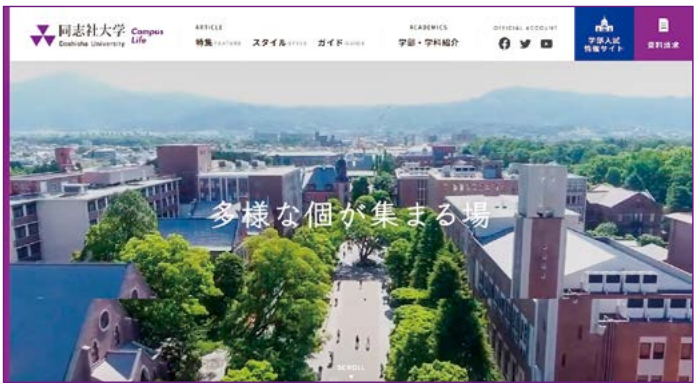
STEP 2 気になる学部・学科をチェック

P 32

具体的な学びを調べる
「『学び』を知る」

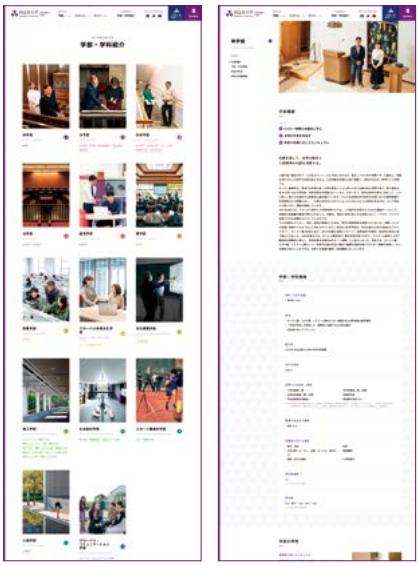
さらに詳しい情報は
大学案内webサイト
にて

大学案内webサイト
Campus Life
でわかること



大学案内webサイト

学部学科の詳細情報
「学部・学科紹介」



同志社大学生のリアルな声
「同志社だからできること」

先生の研究を知る
「ようこそ、研究室へ」

キャンパス周辺情報も
「同志社大学のある町」

卒業生が自らを振り返る
「高校生のワタシへ」

アプリも活用しよう！

入試情報やオープンキャンパス情報をお届けします。学部・学科比較ができるオリジナルコンテンツや、施設情報がわかるキャンパスマップも搭載。さらに、アプリから大学案内のデジタルパンフレットやwebオリジナルコンテンツもご覧いただけます。

App Store からダウンロード

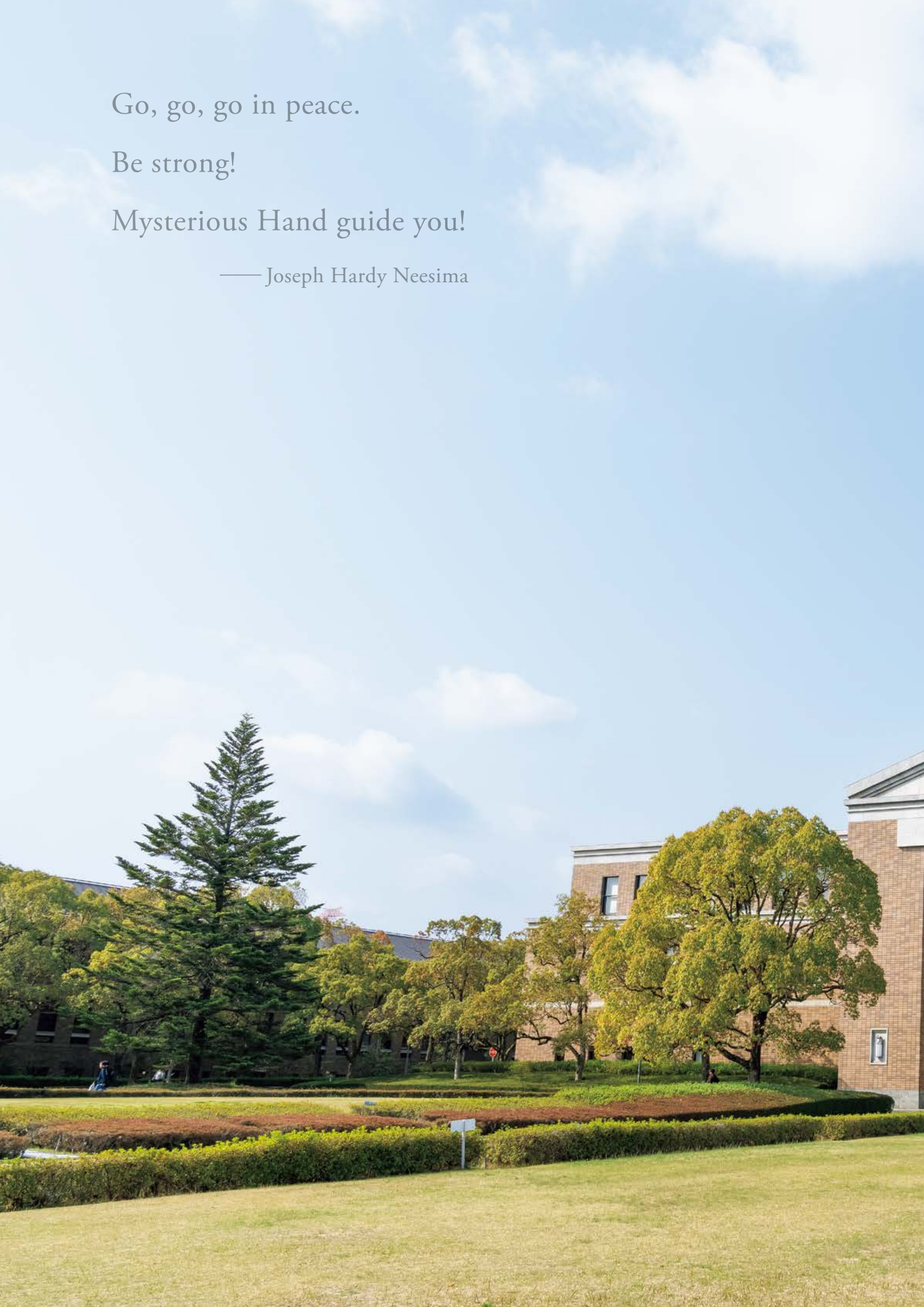
Google Play で手に入れよう

Go, go, go in peace.

Be strong!

Mysterious Hand guide you!

—— Joseph Hardy Neesima



建学の精神

良心教育

同志社大学では、「良心を手腕に運用する人物の養成」という
建学の精神に基づいて「良心教育」を展開しています。
その建学の精神を実現するために３つの教育理念を打ち立てています。
それは、「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」です。
徳育の価値判断の基準をキリスト教に置き、一人ひとりの学生を大切にし、
束縛せず、学生が自らを律しながらも自由に行動することを尊重し、
大きな視野でものごとを考えることを重視する。
これらは全て、150年前から同志社の中で日々実践され、
いつしかキャンパス全体を包む学風となりました。
そして学生一人ひとりの日々の学びに深く浸透し、
大学での生活をより実り多きものにしているのです。

キリスト教主義

1875年、同志社英学校開校の際、新島襄は最初の授業を祈りから始めました。この姿こそ同志社の基であり、同志社独自の学風を形成する最大の要素です。新島は、学生一人ひとりを、神がつくられた「人格」として尊重し、以来「人一人は大切なり」の精神が深く浸透しています。その結果、隣人を尊重し、他者に奉仕する「地の塩、世の光」とも言うべき人物をさまざまな分野の開拓者として送り込んできました。そうした営みは、これからも続きます。

自由主義

自立していること。自由であること。新島襄は、その価値を日本で最初に深く認識した人の一人でした。国禁を犯してまでアメリカに渡り、最も自由な場所で学んだ新島がつくった学園、それが同志社です。今出川キャンパスの中央に建つ明徳館の壁面には「真理は汝を自由にする」という意味の聖書の言葉が掲げられています。誰よりも「自由」を大切と考えた新島の精神は、輝かしいリベラリズムの伝統となり、自発的に行動し自分の力を発揮できる人物を育てる豊かな土壌となっています。

国際主義

自ら世界の中心に身を置き、さまざまな経験をし、身体全体で世界を学んだ新島襄。彼は約10年に及ぶ海外生活の中で、教育の重要性に目覚めました。同志社では、創立者・新島のように、世界に目を向けて学ぶ姿勢を重視しています。異なる価値観を受け入れ、そこから幅広い「何か」を見いだせる人を育みたい―単にコミュニケーションの道具として外国語を学ぶだけでなく、多様な文化に触れて、グローバルに活躍する真の国際人の育成を目指します。

ONE PURPOSE

冒頭の「One purpose」は「一つの志」または「同志」を意味しており、100年以上の永きにわたり、同志社大学生に歌い継がれています。

One purpose, Doshisha, thy name
Doth signify; one lofty aim:
To train thy sons in heart and hand
To live for God and Native Land.
Dear Alma Mater, sons of thine
Shall be as branches to the vine;
Tho' through the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide!

同志社よ、その名は一つの目的を意味する。
その学徒の精神的、肉体的に、
神のため、祖国のため、生きんという
一つの崇高な目的を。
親愛なる母校よ、同志社の学徒は、
ぶどうの枝のごとくつながりゆくことであろう。
たとえ、世界くまなく、広くはるかに、
われらさまようとも、汝の教訓は、
われわれの心に永遠に生き続けることであろう。

（児玉実英 訳）

[Doshisha College Song]
Words by W.M. Vories

同志社徽章

制定年：1893（明治26）年 デザイン：湯浅半月（本名：湯浅吉郎）

古代オリエント学者で同志社神学校教授の湯浅吉郎が1893年に制作した徽章。もともと国や土を意味するアッシリア文字「ムツウ」を図案化したものですが、クローバーを思わせるこの校章は「知・徳・体」の全人格的な調和を目指す、「リベラル・アーツ教育」の真髄を象徴しています。

SCHOOL COLOR

スクール・カラーは、Purple & White（紫と白）の2色である。紫はロイヤル・パープルで、日本の古代紫と江戸紫の中間色に相当する。創立者新島襄が学んだアーモスト大学のスクール・カラーと同色である。社旗は、地を紫に、徽章を白で抜く。

Contents

10 テュービンゲンEUキャンパスでの学び
14 「人一人ハ大切ナリ」と「倜儻不羈」
18 多様な個が集まる場
24 学長インタビュー
28 同志社TOPICS

32 学部紹介
36 神学部
38 文学部
40 社会学部
42 法学部
44 経済学部
46 商学部
48 政策学部
50 グローバル地域文化学部
52 文化情報学部
54 理工学部
56 生命医科学部
58 スポーツ健康科学部
60 心理学部
62 グローバル・コミュニケーション学部
64 ILA（国際教育インスティテュート）紹介

66 4Years
72 留学・国際交流
74 奨学金制度
75 学生支援
77 未来への準備
80 就職実績
82 入学試験
84 クラブ・サークル

86 研究
88 学生納付金
89 校友ネットワーク
90 専任教員スタッフ・研究分野一覧
98 キャンパスマップ
99 大学公式webサイト・公式SNS／アクセスマップ

この冊子の見方

各学部の紹介ページに学部・学科を詳しくご紹介する大学案内webサイト、本学webサイトと、関連情報をご紹介する電子パンフレットへのリンクを掲載しています。

- 掲載されている学生の学年は取材時、所属は入学年度による名称です。
- 掲載されている卒業生の所属部署等は取材時の情報・名称です。
- TOEFL®、TOEFL iBT®、TOEFL ITP®およびTOEIC®はエデュケーショナル・テスティング・サービス（ETS）の登録商標です。

同志社大学テュービンゲン EUキャンパスでの学び

2017年、ドイツのテュービンゲン大学内に、同志社大学で初の海外キャンパスとなる「同志社大学テュービンゲンEUキャンパス(以下EUキャンパス)」が開設されました。EUキャンパスへの留学プログラムに参加した学生たちと、支援や授業を担う教員たちとの座談を通して、海外で学ぶことの意義を考えます。

政策学部・
大学院総合政策科学研究科
教授
岡本由美子
専門分野は国際開発、国際経済。大学院「サステイナビリティ共創プログラム—SDGsとジェンダー」のプログラムコーディネーター

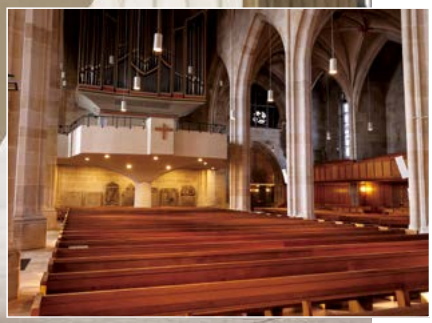
EUキャンパス支援室長
グローバル地域
文化学部教授
穐山洋子
専門分野はスイス近現代史。2024年からEUキャンパス支援室長を兼務

文学部3年次生
長谷川真子
2024年「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」に参加

グローバル地域
文化学部3年次生
門田風雅
2024年「ヨーロピアン・スタディーズEUキャンパスプログラム」に参加

 ※学年・役職は取材時のもの

UNIVERSITÄT TÜBINGEN



――EUキャンパスが置かれているテュービンゲン大学について教えてください。

穐山洋子教授（以下穐山）　テュービンゲン大学は、1477年に創立されたドイツでも指折りの歴史を誇る大学です。同志社大学とは1990年に学生交換協定を締結して以来、教育・研究分野で豊かな交流を重ねています。さらなる協力・連携強化に向けて、2017年にEUキャンパスが開設されました。

――EUキャンパスでは、どのような留学プログラムを実施しているのですか。

穐山　春学期と秋学期の2つのプログラムがあり、それぞれ約15名の学生を5カ月間派遣しています。春学期の「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」は、ドイツ語を学びながらドイツやEUの文化や価値観について理解を深めることを目的としており、秋学期の「ヨーロピアン・スタディーズEUキャンパスプログラム」では、人権、政治、サステナビリティなど複合領域的な観点から、ヨーロッパの諸問題について英語で学びます。

岡本由美子教授（以下岡本）　同志社大学の教員が行う授業もありますが、どちらのプログラムも主にテュービンゲン大学の教員が授業を担当します。例年、幅広い学部から学生が参加を希望し、プログラム参加者同士でも交流を深めています。

――EUキャンパスプログラムに参加した理由を聞かせてください。

長谷川真子さん（以下長谷川）　EUキャンパスへの留学プログラムがあることは入学前から知っていて、「絶対に挑戦したい」と思っていました。私は文学部で文化史を専攻しているので、ドイツ語の習得だけではなく、ドイツを中心にヨーロッパの文化や歴史を学べる点に魅力を感じて、春のプログラムに参加しました。

門田風雅さん（以下門田）　僕はグローバル地域文化学部でアジア・太平洋コースに所属しています。留学が必修単位になっており、ヨーロッパを知ることが、より深くアジアを理解する助けになると考えて、秋のプログラムに参加しました。同志社にはさまざまな留学制度がありますが、学部での学びとリンクさせやすいという点で、EUキャンパスプログラムが最も自分に合っていると感じました。

――現地ではどのような学びを経験して、何を感じましたか。

長谷川　世界各国から来た留学生たちと一緒に、ドイツ語を集中的に学びました。留学前にも第二外国語としてドイツ語を履修していましたが、EUキャンパスプログラムでは教員や学生とのやり取りもすべてドイツ語で行うので、効率的にドイツ語の運用能力を高められたと感じています。実際に滞在期間中には日常会話レベルのドイツ語を話せるようになりました。

門田　多国籍の学生たちと議論することで、さまざまな視点や考え方に触れグローバルな感覚が養われました。また、授業に参加する姿勢にも大きな違いを感じました。日本では講義を聞いてコメントペーパーを提出するのが一般的ですが、海外ではディスカッションなどアクティブな授業スタイルが中心で、自分の意見を積極的に発信することが求められます。実はプログラムがスタートしたばかりの頃、日本人学生たちはそんな学びのスタイルに慣れずにいたのですが、現地で僕たちをサポートしてくれる駐在スタッ

フの方と改善のための話し合いを行い、その後は授業に主体的に取り組めるようになりました。

フィールドトリップで ドイツ各地を訪問

岡本　EUキャンパスプログラムでは、「フィールドトリップ」でドイツ各地を訪れたと思います。印象に残っている訪問先はありますか。

長谷川　フランスとドイツの間で何度も領土が入れ替わってきたアルザス地方など、教科書に載っている場所を自分の目で確認できたことが思い出深いです。フィールドトリップには事前学習と振り返りの授業があり、理解が深まりやすかったです。また、個人の旅行になりますが、1年次生の頃からナチスの戦争犯罪について関心を持って学んでいたので、ニュルンベルク裁判記念館を訪問した時には「研究生活のスタートラインに立てた」と感じました。

門田　人権に関する授業でストラスブールにある欧州議会を訪問して、会議を傍聴したことが印象に残っています。ヨーロッパ政治の授業ではベルリンの壁や連邦議会議事堂も見学しました。

穐山　門田さんはプライベートな時間にも、アウシュビッツ強制収容所を訪問したそうですね。現地から「事前に学んでおくべきことはありますか」と連絡をしてくれましたが、どのような学びが得られましたか？

門田　アウシュビッツには高校生の頃から関心を持っていて、留学中に必ず人権蹂躙の歴史を学びたいと思っていました。実際にアウシュビッツとザクセンハウゼンの強制収容所で毒ガス室などを見学したのですが、人権問題や歴史修正主義に関する考え方など、穐山先生の歴史学の授業で学んだ内容を自分の目で確かめることができました。

穐山　座学で学んだ知識を自分の目で確認することで、より理解が深まりますよね。帰国後に「授業で紹介されたモニュメントを見てきました」「先生の言葉の意味が理解できました」と報告に来る学生もいて、それぞれが主体的に学び、新たな気づきを得ていることを知ると嬉しくなります。

――グローバル化が進む中で、ドイツやヨーロッパで学ぶ意義はどういったところにありますか。

岡本　ドイツはEUの中心メンバーであり、国際政治経済や外交において重要な役割を担っています。私が現在専門とするサステナビリティの分野でも、EUが世界をリードして基準を作っています。文化や社会の多様性が広く受け入れられているヨーロッパに身を置くことで、身近な問題をグローバルな課題として捉えるきっかけになるのではないでしょうか。

穐山　ヨーロッパはEUという大きな組織として「連帯」を掲げています。互いの違いを認め合って、同じ方向に進んでいく「共生」を学ぶ上で、ヨーロッパは最適な地域だと思います。多文化が共生する環境に身を置き、異なる価値観に触れることは、日本を見つめ直して、新しい自分を発見するきっかけにもなります。

多様な価値観に触れ 新しい自分に出会う

――現地ではテュービンゲン大学の学生寮で生活しますが、日常を通じた気づきや学びはありましたか。

門田　学生寮ではドイツ人だけではなく、さまざまな国からの留学生と共同生活をしました。同じフロアには日本人がいないので、コミュニケーションは英語が中心。一緒に食事を作ったり、皆で集まって会話をしたり、寮生活を通して文化の違いを体験することができました。

長谷川　寮生活は一人部屋で快適に過ごせました。ただ、キッチンやバスルームはフロアメイトと共同で、汚れていても誰も掃除をしようとしないことに驚きました(笑)。さまざまな場面で生活習慣の違いを感じましたが、特に衛生面では日本の素晴らしさ、快適さを再確認しました。海外で暮らすことで気づけた日本の良さですね。

門田　僕のフロアは比較的規律が保たれていて、スマホのアプリで連絡を取り合い、トイレットペーパーやキッチンの共有物は皆でお金を出し合って購入していました。自炊のために食

MY MEMORIES

テュービンゲンで行われた
カヌーレースのお祭り

フィールドトリップではフランス・ストラスブールにある欧州議会にも訪問

テュービンゲンのあるシュヴァーベン地方の郷土料理に舌鼓

料品店も利用しましたが、ペットボトル1本につき0.25ユーロのデポジットがかかるなど、ドイツでは環境保護への取り組みが社会に浸透していると感じました。

岡本　現地ではテュービンゲン大学の学生が、バディとしてさまざまなサポートをしてくれたと思います。彼らとの交流はいかがでしたか？

長谷川　私のバディは日本への留学を予定している日本学科の女子学生だったので、すぐに打ち解けることができ、とても親切にしてくれました。帰国後も手紙のやり取りを続けていて、春に同志社大学で再会することがとても楽しみです。

門田　僕のバディは同じ学生寮に住んでいたので、イベントに参加したり、外食に出かけたり、授業以外の場面でも多くの時間を一緒に過ごしました。フランクフルトにある実家にも招待され、バディの家族とも交流を楽しみました。プログラム最後の日は、思い出の写真をフォトブックにして贈り、感謝の気持ちを伝えました。

穐山　お二人とも、バディと素晴らしい関係を築けたようですね。EUキャンパスのあるテュービンゲンは、豊かな自然に囲まれ、中世の面影を色濃く残す美しい街で、人口約9万4000人の3分の1ほどを学生と大学関係者が占めています。世界各国からの留学生も数多く暮らしており、多様性にあふれた環境でグローバルな感覚を養えることも魅力です。

岡本　バディ制度はもちろん、現地の駐在スタッフの親身なサポートを得ながら、落ち着いて自らの学びに集中できることも安心感につながっています。さらに手厚い奨学金制度もあって、学生たちにとって非常に魅力的なプログラムになっています。

百聞は一見にしかず

――EUキャンパスプログラムに参加して、得られたものは何ですか。

長谷川　人との出会いに恵まれ、異文化への理解や多文化的な視点を磨くという部分で多くの気づきを得られました。一方で、授業や日常会話で「あなたの国はどうですか？」という質問に対し、自信を持って答えられない場面もあり、異文化を理解するには、もっと日本のことも学ぶ必要があると痛感させられました。自分に必要なことは何なのか、EUキャンパスプログラムが自己を見つめ直すきっかけを与えてくれたと思っています。

門田　国際社会の諸問題について、国によって多様な意見が存在することを肌感覚で知ることができました。授業での意見交換だけではなく、日常生活での語り合いを通して多様な価値観に触れ、視野を広げられたことが一番の収穫です。

穐山　長谷川さんは文化史を、門田さんはアジア太平洋地域を専門に学んでいます。EUキャンパスプログラムで得たものを、今後の研究活動にどう生かしていきたいと考えていますか。

長谷川　ドイツ史を研究テーマにしたいと考えています。そのため帰国後にドイツ語の検定試験にも合格しました。ナチスによるホロコーストなど、第二次世界大戦で犯した罪に対してドイツ人がどのように向き合ってきたのか、自分なりの視点で研究したいと思います。

門田　EUキャンパスプログラムで多様な文化と価値観に触れ、日本やアジアを相対的に捉えられるようになりました。ヨーロッパへの留学経験を生かし、幅広いテーマでアジア太平洋地域の可能性を探究できればと考えています。

岡本　こうしてお二人の言葉を聞いて、やはりEUキャンパスプログラムは、学部や専攻を問わず学生たちにとって実りある体験になるのだと確信しました。自分の学生時代にも、こんな魅力的な留学プログラムがあったら……と羨ましく思います。

穐山　EUキャンパスプログラムはテュービンゲン大学の教員と協議を重ね、参加者のアンケートをもとに、毎年内容の改善を図っています。「日本を外から見る」という貴重な体験にもなるので、ぜひ多くの学生にチャレンジしてほしいです。

MY MEMORIES

感謝の気持ちを込めてバディに贈ったアルバムには、留学生活の思い出がいっぱい

宗教の授業でフィールドワークへ

移民の方をゲストスピーカーに迎えた人権の授業

「人一人ハ大切

起源となった同志社英学校時代にクラス（上級、下級）の合併に不満を持った学生たちが起こした授業ボイコット事件で、新島は「校則を破った者の処罰」を行わず、「ボイコットの罪は学生にあるのではなく学校側の不手際であり、（合併を決めた）教師にも罪はなく自分にある。しかし、校則を破ったことは事実であるため罰は自分が受ける」と、右手に持った杖が折れるまで自分の左手を打ち続けたという。その際の「自責の杖」は現在も大学に保管されている。

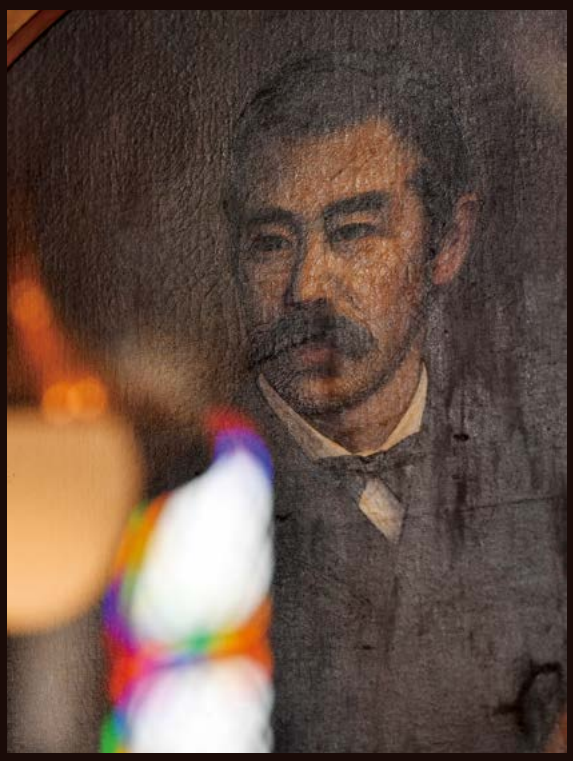
1864年、個人の海外渡航が死罪に問われる国禁とされていた時代に21歳の新島襄は、自由な学びを求めてアメリカへと渡航しました。時代に先駆けて自由や個の大切さを説き、生涯をかけて理想の学校をつくろうと挑戦し続けた彼の志こそ、同志社大学の原点です。

同志社大学のルーツとなる同志社英学校の創立者、新島襄は上州(群馬県)安中藩の江戸屋敷で下級藩士の子として生まれました。

封建社会に行き詰まりを感じ、日本の行く末を案じていた新島は蘭学や漢訳聖書に触れ、欧米に関心を持つようになります。

彼の直筆といわれる『My Younger Days』『脱国の理由書』によると、アメリカの地歴書『連邦志略』や小説『ロビンソン・クルーソー』も読んだとされています。アメリカでは大統領が国民から直接に選挙で選ばれると知って驚愕し、また、自ら困難を突破していくロビンソンの生き方に憧れたという新島。自由と民主主義を求める気持ちはこの頃に芽生えました。

新島にとって学生は「同志」。一人ひとりの個性と人格を尊重する同志社の教育姿勢は現在も変わらない。



いまに生きる新島襄の言葉

ナリ」と「倜儻不羈(てきとうふき)」

世界をこの目で見て、学び、日本の近代化に力を尽くしたい——。情熱に駆られた新島は、命がけで脱国。函館から上海、上海からボストンへと船を乗り継いでアメリカに向かいました。

自由と自治の精神を学ぶ

約1年の航海の末に到着したボストンで新島が触れたのは、キリスト教の会衆派教会と呼ばれる教派の人びとでした。信教の自由を求めてヨーロッパからアメリカへ渡ったピルグリムファーザーズを起源とする会衆派の人びとは、「自由」と「自治」の精神を重んじ、アメリカの民主主義の基礎を築きました。

新島は、会衆派教会の一員であり、ボストン有数の資産家であるアルフィーアス・ハーディー夫妻に出会いました。夫妻は向学心あふれた新島を息子同然にかわいがり、アメリカ滞在中の生活費や学費を援助。新島はフィリップス・アカデミーを経て、現在、アメリカ屈指の名門として知られるアーモスト大学で学び、日本人として初めて学士(理学士)を取得しました。序列が厳しく、発言の自由がない武士の世界で育った新島。一人ひとりが自立して自ら考える力を育てるアメリカの教育のあり方に感銘を受けました。

その頃、日本では明治維新の最中でした。アーモスト大学卒業後、アンドーヴァー神学校在学中に、新島は明治新政府からアメリカでの経験と英語力が評価され、岩倉使節団に同行。使節団

の一員としてイギリス、フランス、スイス、ドイツ、ロシア、オランダ、デンマークを視察するなかで、近代社会における教育の重要性を確信しました。

民主主義社会の礎となる一国の良心を育てたい

明治新政府も教育を新しい国づくりの根幹と考え、東京大学を設立。ほかの官立大学の設立も準備していましたが、新島は国家によって管理された教育をする官立大学ではなく、自由な学びの場である私立大学が重要であると考えました。一国を維持するには、二、三の英雄の力ではなく、品性の高い「一国の良心」ともいうべき人物を育てる私立の学校をつくると決意したのです。

その土台になるのが、キリスト教の考え方です。もともと聖書に関心を持っていた新島は、“アメリカの父”であるハーディーが会衆派のアメリカン・ボードという伝道団体の理事長を務めていたこともあり、渡米の翌年に洗礼を受けました。アンドーヴァー神学校での学びを経て、牧師、宣教師の資格も取得。民主主義が確立していく時期にあったアメリカ社会におけるキリスト教の影響を実感し、キリスト教に基づいた人格教育によって高い倫理観と豊かな人間性を育みたいと考えるようになったのです。

アメリカからの帰国直前、新島は帰国のあいさつをするために、グレイス教会という小さな教会で行われたアメリカン・ボードの集会を訪れました。集まった人びとを前に、「日本にもキリスト教の学校を設立したい」という夢を語った新島。そのための寄付を涙ながらに訴えると、何口かの寄付の約束が集まりましたが、そのなかには貧しい人たちからの寄付もありました。一人のぼろをまとった老農夫が「帰りの汽車賃の２ドルをあなたの学校に使ってほしい」と言い、その後、教会を出た新島に老寡婦が歩み寄って、わずかな蓄えから同じく２ドルを託しました。これらの励ましに新島は感動し、生涯忘れることはなかったといいます。

同志たちが集い大学設立を目指す

1874年、新島は10年ぶりに祖国の地を踏みました。翌年、京都で同志社英学校を設立。教員は校長である新島と、宣教師ジェローム・ディーン・デイヴィスの２人、学生は８人というスタートでした。

当時はキリスト教の禁教が解かれたばかりで、外国人を教員として招いたキリスト教主義の学校には強い反発がありました。それでも奮闘する新島を支えたのは、京都府顧問に相当する役割を果たしていた元会津藩士の山本覚馬らでした。キリスト教に関心を持っていた覚馬は、自ら購入していた旧薩摩藩邸の敷地約6,000坪を校舎建設のために安価で譲渡。新しい学校に「同志社」と考案したのも、覚馬でした。

1876年には、覚馬の妹の八重と新島が結婚。八重は戊辰戦争時に銃を持って奮戦した勇敢な女性。新島は彼女を「handsomeな人物だ」と讃えました。対等なパートナーとして支え合う、当時としては珍しい夫婦だった二人は、社会の発展には女子教育を盛んにすることが不可欠と考え、力を注ぎました。

新島の理想は、神学、文学、経済学、政治学、法学、理化学、医学など専門的な学問を追究できる総合大学の設立でした。明治維新の立役者である勝海舟や渋沢栄一などの政財界の有力者たちもこれに賛同し、総合大学を設置するための資金を集めるため国内外を奔走する新島を応援。次第に、同志社には日本各地から夢を追い求める若者が集まるようになりました。

多くの同志たちと挑戦を続けた新島ですが、その生涯は短く、1890年、46歳で亡くなっています。志を受け継いだ教え子たちが幾多の困難を克服し、ついに同志社大学を設立したのは1912年のことでした。

建学の精神に基づいた教育とキリスト教主義、自由主義、国際主義

一人の若者が一歩を踏み出すことから始まった志は、約150年後の今も

今出川校地にある同志社礼拝堂。15ページ掲載の新島の肖像画もこの礼拝堂に飾られている。

今出川校地の新町キャンパスにある尋真館と臨光館をつなぐ渡り廊下の外壁には、新島が遺した言葉「諸君ヨ、人一人ハ大切ナリ」が刻まれている。

大きく育ち続けています。

同志社大学では、一国の良心ともいうべき人物を育てるという建学の精神に基づいた教育が行われています。それを支えるのは、「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」という３つの教育理念です。

キリスト教の教えをもとに、精神と品性を磨くこと。また、一人ひとりが自ら行動し、持てる力を自由に発揮すること。そして、世界の文化に触れて大きな視野でものごとを考えること。これらは、同志社大学の学風となっています。

多様性に満ちた深山大沢としての大学

自由を愛し、個人を尊重した新島。彼が残した言葉は世界情勢が混迷し、分断と対立が深まる現代において、より輝きを増しています。

晩年の新島は、中国の古典『春秋左氏伝』にある一節「深山大沢生龍蛇」を好むようになります。深山大沢とは、さまざまな個性を生かし育む、多様性に満ちた環境のこと。同志社を「深山大沢」とし、「小魚も成長せしめ、大魚も自在に発育せしめ」たいと新島は語りました。この考えはのちに、有名な二つの言葉に結実します。

一つは、「諸君ヨ、人一人ハ大切ナリ」。これは自身が欧米視察中に生徒たちが退学処分を受けたことを悲しみ、同志社英学校創立10周年の記念式典の式辞の中で新島が語った一節です。かつて深山大沢で「小魚」も「大魚」も育てたいと語った想いや、「誰一人として取り残さない」という現代のSDGsの考え方にも通じます。

二つ目は、遺言の中で語られた「倜儻不羈」という言葉です。倜儻不羈の「倜」は優れていて、拘束されないこと。「儻」は志が抜きんでていること。「羈」は手綱の意味なので「不羈」でこれも拘束されないことを意味します。粗削りでも才気にあふれ、志をもって大きな目的に向かって行動する「龍蛇」のようになってもらいたいと新島は願いました。

人種、国籍、性別、文化、価値観などがそれぞれに異なる多様な個人が他者を認め合い、よりよい共存のあり方を探っていく。そして、人類の未来のために大きな志をもって行動する。同志社大学では、そうした未来を担う人物を育てる教育が実践されています。

新島 襄
Joseph Hardy Neesima

1843（天保14）	1月14日（陽暦2月12日）上州安中藩江戸屋敷で新島襄（幼名七五三太）誕生
1864（元治元）	6月14日（陽暦7月17日）新島は国禁を犯して函館から米船ベルリン号で海外に脱出（21歳）
1865（慶応元）	7月 ボストン着 10月 上海で乗りかえたワイルド・ローヴァー号の船主A.ハーディー夫妻の援助をうけ、フィリップス・アカデミーに入学
1866（慶応2）	12月 アンドーヴァー神学校付属教会で洗礼を受ける
1867（慶応3）	フィリップス・アカデミー卒業。アーモスト大学入学（24歳）
1870（明治3）	アーモスト大学卒業。アンドーヴァー神学校入学（27歳）
1872（明治5）	岩倉具視使節団と会い、欧米教育制度調査の委嘱を受け、文部理事官田中不二麿に随行して欧米各国の教育制度を視察
1874（明治7）	アンドーヴァー神学校卒業 10月 アメリカン・ボード海外伝道部の年次大会で、日本にキリスト教主義学校の設立を訴え、5,000ドルの寄付の約束を得る 11月 横浜に帰着（31歳）
1875（明治8）	11月29日 官許同志社英学校開校。京都府知事槇村正直、山本覚馬の賛同を得る。上京第22区寺町通丸太町上ル松蔭町18番地高松保実邸の半分を借りた校舎。教員は新島襄とJ.D.デイヴィス。生徒は8人。新島襄初代社長に就任
1876（明治9）	1月 山本覚馬の妹八重と結婚 4月 D.W.ラーネッド着任 9月 今出川校地へ移る。相国寺門前（薩摩藩邸跡）に校舎2棟と食堂1棟を建て寺町から移る。この時期から熊本洋学校に学んだ生徒（熊本バンド）が入学し始めた 10月 京都御苑内柳原邸に女子塾開設
1877（明治10）	4月 同志社分校女紅場を開設 9月 女紅場を同志社女学校と改称
1879（明治12）	6月 英学校第1回卒業生（余科15人）を出す
1880（明治13）	4月13日 朝礼の際、新島は自分の掌を杖で打ち、自らを罰して生徒に訓する「自責の杖」事件
1883（明治16）	2月「同志社社則」を制定
1884（明治17）	4月 2度目の海外旅行に出発（1885年12月帰国） 5月「明治専門学校設立旨趣」および「同志社英学校設立始末」を印刷頒布 9月 同志社最初の煉瓦建築、彰栄館竣工
1886（明治19）	礼拝堂（チャペル）竣工
1887（明治20）	11月 書籍館（現・有終館）開館
1888（明治21）	11月「同志社大学設立の旨意」を全国の主要な雑誌・新聞に発表
1890（明治23）	1月23日 新島襄永眠。 募金運動中に前橋で倒れ、静養先の神奈川県大磯の旅館百足屋で、徳富蘇峰、小崎弘道らに10か条の遺言を託して永眠（46歳）。1月27日チャペル前で葬儀を営み、東山若王子山頂に葬る。墓碑銘は勝海舟筆

多様な個が集まる場

同志社大学に入学した同志社人たちは、
在学中や卒業後、社会のさまざまなフィールドで
活躍しています。
個性あふれる方々に、同志社での「学び」や
現在について語っていただきました。

Doshisha's Life
MIYAMOTO Tsuneyasu

自分の知の探求のために学べば未来は大きく変わる

©近藤俊哉

日本サッカー協会会長
宮本恒靖

1977年、大阪府生まれ。同志社大学経済学部卒業。95年、ガンバ大阪ユースからトップチームに昇格しプロサッカー選手となる。2002年日韓W杯に出場し、日本代表初のベスト16進出に貢献。11年、ヴィッセル神戸で現役引退。13年、FIFAマスターを修了。24年3月、日本サッカー協会第15代会長に就任。

中学生のときに日本初のプロサッカーリーグであるJリーグが設立されることが決まって、自分も将来はプロ選手としてサッカーを続けたいと考え、ガンバ大阪のユースに入りました。その一方で、サッカー以外のことも学び続けることが重要だと考えていて、大学へ進学することも自分の中では自然なことと捉えていました。そこで当時、ガンバ大阪の練習場から近く、自分が学びたい分野を扱う経済学部がある同志社大学に進学しました。

入学するときはすでにプロ選手として活動していたので、授業とサッカーの両立が大変でした。サッカーの練習は午前にあり、練習後にキャンパスへ向かいます。月曜は練習が休みなので、一日中授業を入れていましたね。選手として試合に出る機会が増え、どうしても授業に出席できないときに、担当の先生に「プロサッカー選手として活動しています。そこを理解いただけないでしょうか」と手紙を書いて交渉したこともあります。それに対してレポートなどの課題を提出すれば単位を認めてくれる先生もいましたし、課外活動のことは関係ないと却下されたこともありました。

これはあらゆることに言えると思いますが、目指しているターゲットや到達したい状態に対してまずアクションを起こす。その過程で実現するためにどういう行動が必要か、その行動を取れば可能なのか、不可能なら違う行動の選択肢はあるのか、などを分析しています。先生への交渉もその一つの例ですが、学生を門前払いせず、学生が自分で決めて行動できる自由な雰囲気が同志社大学にはありました。それに加えて、自ら考え行動する、そして知を探求しようとするアカデミックな雰囲気が漂っていて、できればもう少し長い時間キャンパスに居たかったです。

大学生としての時間も大事にしたかったので、友だちとご飯に行ったりカラオケに行ったりもしましたよ。みんなで山科に遊びに行ったことは楽しい記憶として残っています。専攻していた労働経済学のゼミの人たちとは特に仲良くなりました。

同志社大学では社会生活に一番近い学問として経済を学び、現役引退後、スポーツに関する組織論や法律などについて学ぶ修士課程・FIFAマスターに留学しました。現在、日本サッカー協会の会長としてスポーツビジネスなどについて話す機会がありますが、同志社大学で学んだことが自分のベースになっていると感じています。

大学は興味のある対象に対してとことん勉強できる場だと思います。FIFAマスターで学ぶ同僚を見て、試験をクリアするための勉強ではなく、自分の知の探求のために学んでいる姿がとても印象的でした。そういう考えでいると大学生活、そして未来は大きく変わるはずです。そしてその環境が同志社大学にあります。

今後、サッカー協会の会長として日本サッカーの存在を大きくしていきたいと考えています。皆さんも自分自身の可能性を同志社大学で大きく広げてください。

従来の枠にとらわれずに、探り続けることが学び

常識を壊す。今私がもっとも意識していることです。自分のレベルや競技の枠にこだわらず、誰も考えないような挑戦をすること。東京オリンピックの1500mで8位入賞を果たせたのも、結果ではなく挑戦に主軸を置いていたからです。

オリンピック出場を目標とせず、より速くなること、自分の能力を高めることを考えて走り続けた結果、オリンピアンになれました。得意種目を絞って勝負する選手が多いけれど、勝てる可能性のある種目をやめる必要はないというのが持論。可能性のある種目はいけるところまでいこうと取り組んできました。

1500mという上位進出が難しい種目で決勝まで進んでいく。それは大きな挑戦であり、実現できればきっといろんな人に驚きを与え、自分自身もワクワクできるはず。その気持ちがあったからこそ、得意の5000mで予選落ちしても1500mを楽しんで走り、最高峰の舞台で自分の未知の力を発揮することができたのだと思います。

常識を超えた発想には、同志社大学の学びが生かされていると感じています。自主自立を重んじる校風にひかれ、スポーツについて幅広く学びたいと考えて同志社大学のスポーツ健康科学部を選びましたが、創立者・新島襄先生の「倜儻不羈」という言葉に出合ったことは大きかったです。「常軌を逸している人こそ大事にしなさい」という意味で、同志社大学には、個性を受け入れてくれる大きな器があるのです。

固定観念をもたないことの重要性は、受講したどの科目でも度々出てくるメッセージでした。もう一つ学んだのは、結果よりも過程に重きを置く姿勢。この二つは、競技に取り組むスタイルに影響をあたえてくれました。従来のやり方をなぞるのではなく、新しい方法や目標を自分で考え、見つけてやっていくスタイルを確立することができました。

スポーツ健康科学部の、専門分野を一つに決めず、スポーツ全般を学びながら興味のあることを見つけて極めていけるカリキュラムも魅力です。自ら関心をもってたどりついた専門的な学びを極めつつ、これまでの自分を超えるための考え方も身につける。そうやって、自分にしかできないアスリートのスタイルを追究し続けた4年間だったといえます。

大学では、陸上部に入らず独自の練習をしていましたが、所属をこえて、人としてのあり方の部分が尊重されているのを感じていました。学生同士も尊重し合い、居心地が良く、競技にのびのび取り組めたことも、結果につながったかもしれません。

大学に入学するまでは、強くなるための正解があって、そのノウハウを学ぶと思っていました。けれど正解はなく、自分が強くなるためにどうすればいいのか、どんな人生を送りたいのか、従来の枠にとらわれずに考えること、探り続けることが学びであると気付かされました。これからの人生に学びを落とし込んでいくことを、楽しみにしています。

Doshisha's Life
TANAKA Nozomi

陸上競技選手・New Balance所属

田中希実

1999年、兵庫県生まれ。2022年、同志社大学スポーツ健康科学部卒業。陸上女子1000m、1500m、3000mの日本記録保持者。東京2020オリンピックでは、女子1500m、5000mに出場。1500mで8位入賞を果たす。

作家

澤田瞳子

1977年、京都府生まれ。2002年、同志社大学大学院文学研究科文化史学専攻博士課程前期（修士課程）修了。2010年、『孤鷹の天』でデビュー。2021年、『星落ちて、なお』で直木賞を受賞。同志社大学客員教授。

学びたいことは何でも学べて大人になっても帰れる場所

同志社の創立者・新島襄先生が遺した「倜儻不羈」という言葉のままに、小説家として、ひとりの人間として、自分を枠にはめることなく、自分の関心をもったことをやっていこうと考えています。

文学部文化学科文化史学専攻（現：文学部文化史学科）に入学。文化史学専攻は日本文化史と西洋・東洋文化史の2つのコースがあり、私は日本文化史を選びましたが、西洋・東洋文化史はもちろん、他の学部や学科の講義も受けられるのが魅力でした。自分の好きな講義をたくさんつまみ食いしようと思い、神学部や文学部美学芸術学科などの講義も受講。学部学科にとらわれず、幅広く自分の関心があることを勉強できました。

好きな歴史を究めるため、大学院へ。正倉院文書を読み解いて、奈良時代の行政機関がどのように仏教を管理していたのかを研究しました。しかし、研究は緻密に実証を積み上げていく作業で、私には堅苦しすぎると実感。研究ではないアプローチで歴史に迫りたいと考えるようになり、文筆活動を始めました。そんな私を心配したのが指導教官の笠井昌昭先生（同志社大学名誉教授）。笠井先生のご紹介で始めた博物館学芸課程のアルバイトをいまでも続けながら小説を書いています。

デビュー小説のヒントになったのも笠井先生の言葉でした。「桓武天皇は平安時代の人だと思われがちだけれど、彼は奈良時代から生きていて奈良時代後期の政変を見ているんだよ」。たしかに私たちは「奈良」「平安」と時代を区切って考えてしまいますが、実際に生きていた人たちの人生はそこを横断していた。そういった気づきをもとに、若き日の桓武天皇らが登場する奈良時代の青春群像小説『孤鷹の天』を書きました。歴史小説は史実が2割、想像が8割。資料に残っていない歴史や人生に思いを馳せて想像を膨らませますが、土台となる史実の正確さは絶対に手を抜いてはいけない。大学で、自由な歴史のとらえ方と厳密な資料の見方の両方を叩き込まれたことがとても役立っています。

大学時代は人生で一番大きな基礎となる部分をつくる時間です。同志社は図書館がすばらしくて膨大な資料に自由にアクセスできますし、他大学との単位互換制度や海外留学制度も充実しています。京都ですから周囲に寺社や博物館も多く、奈良や大阪も近い。また、サークル活動ではそれまでの人生で知らなかったことや、大人になったらなかなかできないことに挑戦できます。同志社には能楽や雅楽、馬術など、伝統ある大学ならではのサークルがたくさんあります。私は能楽部金剛会で謡や舞の稽古に打ち込みましたが、その時の仲間たちとはいまでも仲が良くて、親戚のような存在になっています。学びたいことは何でも学べる場所。大人になっても帰れる場所。それが同志社大学だと思います。

Doshisha's Life
FURUYA Toshikazu

自分だけのユニークな強みを作り生成AIに負けない人材に

Quantum Analytics,inc CEO
古屋俊和

1986年、広島県生まれ。2010年同志社大学文化情報学部卒業、京都大学経営管理大学院修了(MBA)。京都大学情報学研究科博士後期課程単位取得退学。16年株式会社エクサウィザーズ創業。22年株式会社テラバース共同創業。現在は大学ベンチャー立ち上げ・投資に注力。

どんなにコンピュータが発展してもなくならないものは何か。同志社大学での学びを通じて、文化だと思いました。

文化は思想・歴史・習慣など幅広い人間の営みを含みます。どんなにAIやロボットが発展しても、文化はそう簡単には変わりません。文化の本質を学ぶことで、変化しない仕事はなにかを知ることが出来ると思います。京都という町は日本の文化の発信源。日本の長い歴史の中で、産業革命、戦争、災害と様々な困難に遭遇しながら、生き残った企業・団体がたくさんあります。文化を知ることで、これから大きく変わる世界でどう生き残れるか学べると思います。

近年、生成AIがブームですが、どういう仕組で動いているのか。この技術が将来どう発展していくのか。それを知るには数学・統計学・コンピュータサイエンスをベースにしたデータサイエンスを学ぶのが良いと思います。特に、数学はわかりやすい説明を求めるほど、分からなくなる学問だと思いました。難しい書籍の1ページに何時間もかけて、考え抜くことで、ようやく理解できる学問だと、大学の研究室で教えて貰いました。

たとえ、生成AIがどんなにわかりやすく数式の意味を説明してくれても、それはひとつの解釈に過ぎません。例えば、初めて来た町で目的地までの道順を渡されたとき、目的地までたどり着くことはできても、新たな目的地を設定されると自力でたどり着けません。いろんな道を通り、間違えながら、頭の中に地図を作っていく作業が必要です。数学でも同じように1つの数式を考え抜き、これまで学んだ数学の地図とつなげていく。これが数学を学ぶということだと思いました。生成AIがどんなに発展しても、自分がこれまで考えてきた思考の地図を作ることはできません。

また、同志社大学には様々なバックグラウンドの学生がいます。もし、数学が出来る学生だけに囲まれていたら、私は数学を学ぼうと思わなかったかもしれません。多様な学生がいたからこそ、自分の得意なことや好きなことを知れ、社会での自分の強みを考えるきっかけにもなりました。

生成AI時代に生き残る人材になるには、変わらない仕事(文化)と変わる仕事(AI)を学び、自分だけのユニークな強みを作ることが大事だと思います。文化とデータサイエンスが学べる文化情報学部は日本においてもユニークな学部ではないでしょうか。

文化情報学部で学んだことは今の仕事にも生きています。現在は、企業のデータを解析するデータサイエンティストの仕事をしながら、仏教×AI(株式会社テラバース)、アート×AI(株式会社clarus)など、京都だからこそ出来る文化とテクノロジーを組み合わせ新しい価値を生み出すベンチャー企業の創業や投資に携わっています。

AIはインターネットを超える技術革新だと思います。これから、社会で求められる人材像が大きく変わるときです。同志社大学文化情報学部から大きな社会変化にも負けないユニークな人材が社会に出ることを願っています。

多様な友人から影響を受け価値観が変わるのが面白い

昔から鉄道が好きで、交通・旅行分野のYouTubeチャンネルをつくっています。「YouTuberになろう」と思っていたわけではなく、思い出づくりのような軽い感覚で高校生の時からコツコツ投稿を続け、気がつけば登録者数50万人を超えていました。

日本中を旅し、魅力的なところがいっぱいあるのを知ったので、多くの人に伝えるために「分かりやすさ」を心がけています。新幹線というと「速いな」「いいな」くらいの感覚の人たちにまず見てもらう。その上で、オタクの人でも楽しめる要素も入れるスタンスでつくっているので、絶妙なバランスの動画に仕上がっていると思います。

同志社大学では、商学部で金融や観光業を学んでいます。何より校舎が綺麗で、キャンパスにいるだけで開放的で自由な空気を感じます。同志社の自由は、言ってみれば「責任のある自由」。上から「やれ」と言われることはほとんどなく、僕が今やっていることも、誰かに勧められたわけではありません。中途半端にしたくないので今は休学中ですが、それも自分で決めたこと。主体的な自由だから生まれる責任を感じます。

交通や旅行にひかれるのは、点と点がつながっていく感覚があるから。列車に乗って知らないところに行くだけでも心が動くけれど、知らなかった事実を知ると楽しみは何倍にもなる。例えば「トンネルが多い理由を知りたくて歴史を深く掘ってみる」みたいなことで、自分次第でどんどん楽しみ方が変わっていくのが面白いですね。

YouTubeは正解がないので、たくさん失敗もして、修正や挑戦を重ねてきました。大事にしているのは、マナーを守って、いかに多くの人に楽しんでもらうか。鉄道会社などとも信頼関係を作り、多くの人の感性を理解して、「僕が面白いもの」ではなく「人々が面白いもの」に感覚を合わせます。それだけでは個性が出ないので、自分ならではの良さをかけ算していきます。

僕にとってのYouTubeは、最終ゴールではなくツールの一つ。自分のやりたいことのために、面白く見てもらい、知ってもらう手段です。地方創生に関心があり、実際に旅行会社さんと組んで地方を盛り上げるイベントも開催していて、自治体との連携も考えています。

将来やりたいことは、まだ名前のない仕事です。海外では主流になっている、YouTubeから生まれるサービス展開に挑戦したい。手始めに、今は会社をつくってアプリを開発しています。いずれは西園寺ブランドのホテルを作りたいという思いもあり、オンラインから始まるオフラインの展開に大きな可能性を感じています。

同志社大学は空間もすばらしいけれど、なんといっても人との関わりが魅力。自分に無いものをもつ多様な友人から影響を受け、価値観が大きく変わっていくのが面白い。同志社で出会った人たちの存在によって自分自身が研磨され、自由な校風の中で人格が作られてきたことを実感しています。

Doshisha's Life
SAIONJI

YouTuber

西園寺

同志社大学商学部在学中。1年次生の夏には日本一長い片道切符「最長片道切符」を用いた日本一周旅行を敢行。長旅を通じて日本の風景の美しさ、また正確かつ安全に人を輸送する公共交通機関の凄さを痛感し、本格的に動画をYouTubeにアップするようになる。

小原克博学長インタビュー

必要な変化の先にある いつの時代も変わらない、同志社が求める人物像とは

**創立者・新島襄の建学の精神が息づく同志社大学。2025年で創立150年を迎えました。
同志社大学はあらためてどのような教育を目指すのか。
記念となる節目に、グローバル地域文化学部３年次生の半田翼さんと、
スポーツ健康科学部３年次生の小林弦英さんが、小原克博学長にインタビューしました。**

半田 翼さん(以下半田)　学長就任から1年が経った今の気持ちを教えてください。

小原克博学長(以下小原)　150周年を前に、同志社大学に関わる人すべてが大きく飛躍できる1年にと考えてきました。本学には約37万人の卒業生がいます。在学生にも、大きな同志社コミュニティの一員であるという思いをもってほしい。同志社に関わる方々を結びつけるために必要な情報発信を、心がけてやっていきたいという思いを強くしています。

小林弦英さん(以下小林)　特に力を入れてきたことはありますか。

小原　150年という特別な年だからこそ、伝統をしっかりと振り返りつつ、現状を根本から見直し新しいことに挑戦することで、今まで到達できなかったところへ行けるのでは、と思っています。同志社大学は、学生のやりたいことをサポートするため、組織としてしっかり動ける仕組みはできています。けれども、毎年の繰り返しだけで新しいことをしないと組織は発展しない。それぞれの個人が、何かにチャレンジできる雰囲気や機会を作っていきたい。それは教育や研究だけでなく、課外活動についても同様です。

小林　私はラグビー部で活動してい

自分自身で課題を見つけ、必要なことを考え、実行に移す姿勢が身につきました

スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科３年次生

小林弦英 Kobayashi Genei

福岡県出身。体育会ラグビー部主務。

るのですが、一昨年、大怪我をしてしまいました。9歳からずっと選手としてやってきましたが、はじめてスタッフになりました。主務として裏方でラグビーと向き合い、選手の視点に立ってサポートしています。昨年度は思うような結果が残せなかったのですが、反省点を今年度の活動に生かしていきたいと思っています。

小原　同志社のラグビー部はすごい歴史がありますね。「同志社といえばラグビー、ラグビーといえば同志社」の時代があったのですが、今の若い人は残念ながら知りません。これから実行したいのが、同志社スポーツの強化です。ラグビーの試合を観戦し、実際に選手たちが走っている姿を見て、いろいろな思いが込み上げました。栄光を昔話として伝えるだけでなく、スポーツを通じて同志社としてのアイデンティティを強化したい。課外活動にはその役割もあると思っています。

半田　僕はグリークラブに所属し、幹事長として活動していますが、OBや学校関係の多くの方から支えてもらっていると感じます。150周年を迎え、今後の同志社大学のビジョンはどのように描いておられますか。

小原　150年の歴史そのものが、同志社のビジョンを考える材料になっています。同志社の創立者である新島襄は多くの言葉を我々に残していて、それが全く古びない。新島は、大学設立の夢を抱きながら存命のうちに果たせなかったので、今私たちはそれを受け継がねばならないと思っています。同志社の原点に立ち返ることで、たくさんある私立大学の一つではなく、「同志社は特別な存在なんだ」と確認することができる。唯一無二の輝きをもって、社会を照らす新しい価値を生み出し続ける大学であるべきだと思っています。

▼▲▼

小林　同志社大学の優れた点について教えていただきたいです。

小原　長い歴史があることに、まず私たちは誇りを持っていい。ラグビー部もグリークラブも歴史があるので、きっと感じていると思いますが、世代を超えた同志社コミュニティの中で支えられる経験ができるのは大きいでしょう。そして、大規模な大学だけれども、各学部の中では教員たちの面倒見がよく、一人ひとりの学生を大切にする。これも新島襄が残した「人一人ハ大切ナリ」という言葉に由来するんですよね。教職員の心中にはその思いが必ずある。「十把一絡げに扱おう」ということは誰も思わない。

半田　確かに、学生が大事にされて、学びたいことができていると感じます。私はグローバル地域文化学部に所属しているのですが、留学に行く学生も多く、それぞれが自分と向き合ってやりたいことをやっています。学生たちを支えて自由に羽ばたかせてくれているのが大学の魅力かなと思います。

小原　どういう人を世に送り出したか、というのも大学の価値になると思います。多種多様な分野で卒業生がリーダーシップをもって活躍し、組織や社会に大きく貢献しています。在学中に自らを成長させ、学んだ経験や得た力を自分のためだけでなく、他者のために喜んで使う人がこれからも出てきてほしい。そうすれば、同志社は輝きを保ち続けることができるでしょう。

▼▲▼

半田　京都で学ぶ意義については、どのようにお考えでしょうか。個人的には、重要文化財に囲まれた環境で学べることは素晴らしいと感じています。

小原　同志社大学の二つの拠点が京都にあるのは、大きなアドバンテージです。京都は千年の間、首都の機能を果たしてきて、特に今出川校地はまさに京都の中心地。単に地理的な面だけでなく、京都の文化、宗教や歴史の中心があったので、その恵まれた環境を存分に味わってほしいです。京都に

同志社大学に育てられ、恩返しをしたいという思いが生まれています

グローバル地域文化学部
グローバル地域文化学科３年次生

半田 翼 Handa Tsubasa

神奈川県出身。同志社グリークラブ幹事長。

新島襄の生き様は、いつの時代にも変わらない、同志社が求める人物像だと思います

同志社大学
学長
小原克博
Kohara Katsuhiro

1996年、同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士（神学）。2004年から同志社大学神学部教授、その後、神学部長・神学研究科長、良心学研究センター長などを経て、24年4月から現職。

は日本の伝統が蓄積されていて、すぐに触れることができますが、それができる場所は、日本のどこにでもあるわけではありません。なぜ歴史や伝統文化が大事かというと、新しいことを考えるだけではイノベーションは起きないからです。新しいものと古いものを大胆に繋ぎ合わせる力によって新しい社会が生まれていく。本当に新しいものを生み出そうとするなら、自分たちの足元にある長い伝統や古い価値観をしっかりと見据える、あるいはそれを味わうことができる感性をもつことは大事です。京田辺校地は1986年に開校し、来年40周年を迎えます。今出川校地の約10倍の面積をもち、各種のスポーツ施設も備えています。本学は、京田辺市と密接な地域連携をしており、市民の方々と生き生きとした交流ができるのは京田辺校地のすばらしい点だと思います。

半田　グリークラブは、祇園祭の時期には山鉾巡行に参加させてもらっています。昔ながらの伝統を守ってきた人たちが若い人を受け入れてくださって、これから僕たちの残していくものが、この先の同志社の学生に受け継がれていくことにもきっと意味がありますね。

小原　そうですね。同志社大学では、AIやデータサイエンスなど時代の最先端の課題に対応する教育をしていますが、長い年月を経て育まれてきた伝統的な価値観を知らないと、我々は新しい情報ばかりに目を奪われ、一瞬の興味関心で選んだり使ったりしてしまうと思います。

小林　古きを大切にせよというお話はよくわかります。ラグビーでも、勝てなかったり、チームがうまくいかなかったりすると、みんな「戦術が悪い」「技術面はどうだ」といった思考に走ってしまっていました。ですが、昔から同志社大学ラグビー部が大切にしてきたのは、基礎練習の部分なのです。チームが苦しい状況の時に立ち返る場所は基礎練習だと気づき、そこに力を入れるようになりました。自分たちがやっていることは間違ってなかったのかなと思います。

小原　中長期的に見据えないといけない課題があるのに、短期的にしかものごとを見ていないと、解決はできません。我々は日々、スマートフォンに飛び込んでくる情報に右往左往し、「面白い・面白くない」だけで判断して、世界を知っているつもりになってしまいます。長期的に科学や技術を考え、それをどう運用し、マネージメントすべきか考える上では、過去の蓄積や人類の歩み、伝統的な価値観が役に立つのです。

▼▲▼

半田　グリークラブの幹事長になり、みんなを引っ張ってまとめていくことに不慣れで不安があります。リーダーとしての心得を聞かせていただけますか。

小原　組織を良くしていくためには、リーダーの存在は大事です。ある目的のために同じ思いでパッと集まることはできます。でも、その集団が力を発揮するのは簡単ではなく、中にいる一人ひとりの潜在能力を引き上げられるリーダーが必要でしょう。トップダウンだと、一時的に結果を出すことができても、言われて動くだけでは長続きせず、疲弊していくだけです。個人それぞれが生き生きとし、自分でも気づかなかった潜在能力が引き出された経験があると、「この仲間たちと一緒にいることで自分が思っていた以上の力を出せた」と自覚できる。自分自身だけでなく、自分がその組織に属していることも誇らしく思う。そういうことができるリーダーが求められていると思います。

半田　声が合わない、あるパートがうまくいかない時に、「誰が悪い」ではなく、同じクラブの仲間として尊重し合えることは大事ですね。代表としては、お互いが高め合える環境を作っていきたいです。

小原　リーダーには、価値観や考え方に違いがある人たちを一つの方向に持っていく調整型のタイプと、率先して新しい道を切り拓くタイプがあります。自ら道を拓く覚悟を持ったリーダーがいると、その組織は強くなっていくと思います。反対されても、「これは大事なんだ」と思いを伝え、説得し、実行する。そうやってリーダーが拓いた道を、他の人たちも一緒に進んでいく。これができれば、まさに良きリーダーシップを発揮しているということになります。私は、やるべき課題があるとすれば、自分で道を切り拓きたいと思っています。覚悟を示すと同時に、皆さんが持っている力を活性化させ、結集させて、これまでできなかったことをやって同志社大学を発展させていきたいですね。

▼▲▼

半田　学長は、大学での学びや学生生活を通してどのような人物になってほしいと思いますか。同志社大学が

社会に送り出したい人物像について教えてください。

小原　新島襄が同志社大学を通じて世に送り出したかった人物像が、1888年に発表された「同志社大学設立の旨意」という文章の中にあります。明治になって、新しい国づくりをする中で新しい人間が必要とされた時代でした。そこには、「自治自立の人民」という言葉があります。自分の頭で考え、自分で判断し、自分の足で立って自分で行動できる人物が出てきてほしいと願ったのです。上から言われるのを待ち、空気を読んで周りを気にする人間でなく、枠からはみ出してでも行動する人です。

小林　「枠からはみ出す」という言葉には励まされます。今、チームの成績が振るわないので、用意された環境ではなくいろんなチャレンジをしています。自分が意識するだけではなく、常に部員全員が自主的に行動できるような環境づくりを目標として掲げています。

小原　型にはまらない人物を、新島は育てたかったのだと思います。「倜儻不羈(17ページ参照)」という言葉も残しています。常識を逸脱するような学生がいたとしても、型に押し込むことは絶対しないでくれ、というのが新島の願いだったのです。

小林　同志社大学には、自主性と厳しさが与えられている環境がありますね。部活動には学校がほとんど介入せず、主体的にやりたいことをできる。同時に責任感も常に必要で、大学生のうちにこれを経験できるのは大きいです。自分自身で今の状況の課題を見つけ、必要なことを考え、実行に移す「課題解決推進力」が身についたと感じているので、後輩もその力を身につけることができるように、アドバイスや環境作りを続けて関わっていきたいなと思います。

半田　僕は、入学当初は全然主体性がなく、やりたいことがわかりませんでした。でも、人の縁に恵まれ、グリークラブや学部の友人、先生方に出会い、やってみたいと思う軸ができてきました。同志社大学に育てられ、今は、恩返しをしたいという思いが生まれてきています。社会に出たら、人の当たり前の生活を支えられる人物を目指して、そのために何ができるのか考え、周りと協力して頑張っていきたいと思っています。

小原　周りに支えられるのも大事な力です。新島は、鎖国の時代に日本を飛び出し、まさに型にはまらない生き方を体現していますが、渡米して帰国し、同志社を設立する過程で多くの人に助けられています。自分の考えを示すと同時に、「手伝ってください」と伝え、同じ目的のために歩みを進めていく。それができる人であってほしいですね。新島の生き様は、いつの時代にも変わらない、同志社が求める人物像だと思います。世の中は、皆さんを型にはめようとするでしょうが、既存の価値観にとらわれず、大胆に違うものを提案する「倜儻不羈」の気概をもった人物になってほしい。それこそが同志社のユニークさであると思います。

▼▲▼

小林　同志社大学を目指す人に伝えたいことはありますか。

小原　京都には非常に長い歴史と伝統があり、京都で学ぶことは、皆さんの人生にとってかけがえのない経験です。全国の学生に京都で学んでほしいと思いますね。そして、同志社大学には多様性がありますので、必ず大学の中で自分が本当に学びたいものを見つけることができるはずです。入学前に、自分が何を勉強したいか、はっきりと決まっている人はそんなに多くないでしょう。しかし同志社大学を信頼していただければ、きっと出会うことができます。一人ひとりの学生を大切にしたい教職員がお待ちしています。

同志社

TOPICS

同志社を知る

01 新たな大学の「知」のシンボル 新図書館

主体的な学びを促し知の創造と活用を実現する新図書館

※画像はイメージであり、今後変更の可能性があります。

「同志社創立150周年記念事業(大学建設事業)」の一環として、今出川校地図書館の建替工事が進んでいます。

2026年秋に竣工予定の新図書館の外観は、豊かな緑に囲まれたキャンパスに現存する赤煉瓦の重要文化財建築物などとの調和を考慮した「同志社らしい」意匠を踏襲。建物の外からガラス越しにキューブ型の書架が見える独創的なデザインで学習者を館内に誘い、同志社の「歴史」と「知」の集積を象徴する新たなランドマークとなります。

館内は地下1階から地上3階まで、開放感あふれる吹抜けの空間(Knowledge Court)になっており、中央に集約した蔵書(Book Stacks)を取り囲むように閲覧席を配置。壁面の大きな窓から自然光を採り入れることで、地下まで明るく感じられる、居心地の良い閲覧空間を実現します。読書や自学習に没頭したり、リラックスした息抜きの時間を過ごしたりと幅広い利用目的に対応するスペースを備え、一人ひとりの学生たちの主体的な学びを促す学習・研究環境の提供を目指します。

02 新たなスポーツ交流拠点「スポーツ・コンプレックス」

誰もが気軽に立ち寄りスポーツを楽しめる、オープンな環境を構築

※画像はイメージであり、今後変更の可能性があります。

多様なスポーツ施設を備える京田辺校地に、新たな交流拠点「スポーツ・コンプレックス」が誕生します。エントランス広場となるウェルネスコートを中心に、デイヴィス記念館、新アリーナ、多目的コートの各施設を連携させ、幅広くスポーツを楽しめる複合空間となります。

縦34m× 横59mの新アリーナ(2026年春完成予定)は、各種公式競技用コートを数多く確保できる広々とした空間で、2階に観覧席を設置。館外からも活動内容を垣間見ることができるオープンな構造にダイバーシティデザインを取り入れ、誰もが気軽に立ち寄って体を動かせる環境になります。

また、縦16m×横28mの多目的コート(2027年春完成予定)は、正課・課外の学生活動に加え、地域住民が大学主催のスポーツ活動に参加しやすくなるよう整備。ラウンジやミーティングスペースも設置し、スポーツを通した産官学連携の推進など、様々なニーズに対応します。

03 DO Weekから始まる新たな学び

ICTを活用して2週分をオンデマンドに。主体的な学びを推進する学年暦を採用

従来は15週の教室での対面授業を基本としていましたが、ICTを活用したオンデマンド授業を効果的に取り入れ、13週の対面授業と2週分のオンデマンド授業からなる「13+2」の新しい学年暦を2024年度から導入しています。

学期始めの1週間は「Doshisha Opening Week（DO Week）」と位置付け、オリエンテーションと並行して初回のオンデマンド授業を実施します。この授業では、授業の目的や講義の内容、受講することで身に付く力などを説明します。これにより学生は興味関心のある科目を的確に選択することができ、学習のモチベーションアップにつなげます。

2回目のオンデマンド授業は履修科目によって実施時期が異なり、授業期間2週目以降に、対面授業のフォローアップや期末試験終了後の解説・講評など、学びの定着を狙って随時配信されます。またオンデマンド授業は「時間に縛られない」というメリットに加え、繰り返し何度も見返すことができるため習熟度の高まりを期待できます。

授業期間が短縮されることで、夏期や春期の休暇期間が長くなります。この期間を利用してフィールドワークや各種実習、インターンシップ、ボランティア活動など、主体的な学びの機会が広がります。特に海外留学プログラムは新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、今後さらに活発になることが予想され、より充実した学びの体験になることが期待できます。

新学年暦の導入により、学生はそれぞれの興味や目標にあわせた、より深く、より積極的な学びのかたちを実現できます。

［新たな学年暦のイメージ］

授業1週目

DO Week

履修科目登録
オリエンテーション
＋
オンデマンド授業

授業2～14週目

通常の
教室での授業

期末試験

筆記試験・
レポート試験
など

長期休暇

自分だけの
学びの機会
海外留学、フィールドワーク、各種実習、インターンシップ、ボランティア活動など

授業2週目以降随時

オンデマンド
授業
授業の補完、
総括や期末試験の
解説・講評など

科目の性質により、オンデマンド授業を行わず、全て教室等で授業を実施したりする科目もあります。また、全てオンデマンド授業で実施する科目もあります。

DO Weekから
始まる新たな学び

05 同志社データサイエンス・AI教育プログラム

デジタル社会で生きる必須の教養を獲得できるDDASHで学ぶ

デジタル社会の基礎知識とも言われる「数理・データサイエンス・AI」に関して、文系・理系を問わずすべての学生が履修できるプログラム「同志社データサイエンス・AI教育プログラム（DDASHディーダッシュ）」を開設しています。

DDASHは初めてデータサイエンスを学ぶ人も習得できる「リテラシーレベル」から、データサイエンスを発展的に学び、AIを活用し課題解決につなげる能力を修得し、専門分野にデータサイエンスを応用するための専門性を獲得する「応用基礎レベル」。さらに「応用基礎レベル」の学びに加えて、各学部で開設している90科目もの学部専門科目を選択科目とし、学部の専門性

04 | 同志社イノベーション・ゲートウェイ

アントレプレナーシップを育む新たな教育プログラムが始動

2025年度にスタートした「同志社イノベーション・ゲートウェイ(DIG)」は、複雑化する現代社会において既存の枠組みにとらわれず、新たな価値を創造できる人材の育成を目指すプログラムです。文系・理系を問わず全学部の学生を対象とし、創造性、柔軟な発想、新しいアイデアに挑戦する姿勢を育むことを目的としています。

プログラムは4つの科目群で構成され、イノベーション創出に必要な「マインドセット」「情報収集・探索能力」「創造性・社会課題発見・自己理解」「協働力・課題解決能力・コミュニケーション能力」という多角的な視点とスキルを磨くことができます。例えば「アントレプレナーシップ論」では、著名な起業家を講師として招き、挑戦から成功までのリアルな経験談を通して起業の意義や方法論を学びます。他にも自然科学、データサイエンス、ライフデザインといった幅広い分野の科目から構成され、履修生は興味や目標に応じて独自に学びを深めることができます。修了条件は各科目群から2単位以上、合計8単位以上を取得することです。必要単位を満たすと学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」が発行され、就職や進学時のスキル証明として活用できます。

Doshisha Innovation Gateway

［4つの科目群］

- A マインドセット
- B 情報収集・探索能力
- C 創造性・社会課題発見・自己理解
- D 協働力・課題解決能力・コミュニケーション能力

さらにDIGではコミュニケーションツールを活用した履修生のための専用コミュニティを設置。学生たちが挑戦やアイデアを共有し、多様な意見を取り入れながら互いに高め合う場となっています。学部やクラスを超えた交流・情報交換を活発に行うことでイノベーション実現につながる柔軟な思考を育てます。

学生一人ひとりが自身の可能性を追求し、創造性を発揮しながら挑戦を続け、未来の社会を切り開く力を育むプログラムを通じて、同志社大学全体にイノベーション文化を浸透させることを目指します。

を活かして体系的に学べる「データサイエンス・AI副専攻」の3段階で習得できるプログラムとなっています。

これまで受講した学生からは、「データサイエンスについて何も知らなかったが、DDASHで学ぶことでデータの見方が変わった」「データの裏側にある事柄が理解できるようになった」などの声があり、データサイエンスに関してはもちろん、自身が学ぶ専門分野への考察が深くなり、視野が広がることも期待できます。

履修者は、初心者向け動画プログラミング学習サービス「paizaラーニング」を無料で利用することができるなど、授業をより理解するための自学自習用コンテンツも充実しています。

また、デジタル環境や社会の変化に合わせ、科目の更新も積極的に行っています。

各プログラムの必要単位を満たし、希望する者には学習歴のデジタル証明である「オープンバッジ」が発行され、就職活動や学内外でのスキルの証明に活用できます。デジタル化が進む現代社会では、あらゆる分野でデータやAIの利活用は必須で、今後さらに重要度が増していくことは確実です。DDASHは新しい時代を切り開く多くの学生に学んでほしいこれからの社会の教養です。

Introduction of
Doshisha University
Faculties

「学び」を知る

同志社大学学部紹介

同志社大学は14学部がそろう総合大学。
2万5000人を超える学生たちが、
幅広い教養と高度な専門性を身につけるため、
日々、「学び」を続けています。

学部・学科 INDEX

学部	掲載ページ	学科(1学年定員)	特色	学びのキーワード
神学部 主たる校地…今出川	▶P.036	神学科(63)	1.キリスト教、ユダヤ教、イスラーム教の3つの一神教を学ぶ世界有数の教育環境 2.「文明の共存」を目指して、国際的に活躍できる人物を養成	●自由度の高いカリキュラム ●一神教 ●文明の共存 ●グローバルな視点 ●弱者へのまなざし
文学部 主たる校地…今出川	▶P.038	英文学科(315) 哲学科(70) 美学芸術学科(70) 文化史学科(125) 国文学科(125)	1.日本文化伝統の地、京都で本物の文化に触れ、生きた学びを体感 2.少人数教育による専門教育と総合的学際的な教養教育	●教養 ●リベラルアーツ ●温故知新の学び ●多様性 ●留学
社会学部 主たる校地…今出川	▶P.040	社会学科(90) 社会福祉学科(98) メディア学科(88) 産業関係学科(87) 教育文化学科(79)	1.人間と社会の関わりを焦点に、社会現象を理論的に解明 2.現場の体験を重視した実践的な教育、フィールドワークと実習が充実	●社会福祉 ●地域社会と国際社会 ●メディアとジャーナリズム ●働き方改革 ●教育文化学
法学部 主たる校地…今出川	▶P.042	法律学科(683) 政治学科(210)	1.企業法務、ジャーナリストなど将来の専門キャリアのための実践的教育を展開 2.大学院との提携による高度な専門教育を展開	●What,Why,How to～ ●リーガルマインド ●思想・制度・過程 ●紛争解決 ●グローバル化と秩序変動
経済学部 主たる校地…今出川	▶P.044	経済学科(893)	1.経済学への理解を深め、論理的思考や政策立案能力を養成 2.充実した歴史・文化・思想・地域・環境・情報教育により社会で活躍できる人物を養成	●経済学的思考 ●課題発見力・解決力 ●情報処理能力 ●アクティブラーニング ●幅広い研究分野
商学部 主たる校地…今出川	▶P.046	商学科(893)	1.公認会計士、税理士などの合格者数は全国トップレベル 2.さまざまな分野の実務家による実践的な授業を展開	●マーケティング ●経営戦略 ●国際ビジネス ●情報・統計分析 ●管理会計
政策学部 主たる校地…今出川	▶P.048	政策学科(420)	1.自ら問題を発見し、解決できる能力を育成 2.多角的な視点で、政策課題を学ぶ専門教育を展開	●課題発見力・解決力 ●国内外でのフィールドワーク ●学際性 ●起業 ●公共性と市民意識
グローバル地域文化学部 主たる校地…今出川	▶P.050	グローバル地域文化学科(190)	1.「言語」「地域」「ディシプリン」「トピック／イシュー」という4つの軸を組み合わせたカリキュラム 2.複数の言語運用の能力を基礎に、グローバルな諸問題や地域の歴史・文化・課題に関する学際的な知識を身につけることで、自ら問題を批判的に考察する方法を学ぶ	●複数言語を習得する ●G(グローバル)とR(地域)をつなぐ ●人々の哀しみに感応する ●希望ある共生社会を構想する
文化情報学部 主たる校地…京田辺	▶P.052	文化情報学科(294)	1.人間の営みである「文化」を分析し、新たな見方を発見 2.高度なデータ分析能力を修得し、情報を使いこなせる能力を育成	●文化によって人間を理解する ●データサイエンス ●文理融合 ●論理的思考力 ●探究型カリキュラム
理工学部 主たる校地…京田辺	▶P.054	インテリジェント情報工学科(83)情報システムデザイン学科(83) 電気工学科(80)電子工学科(86) 機械システム工学科(96)機械理工学科(70) 機能分子・生命化学科(83)化学システム創成工学科(83) 環境システム学科(51)数理システム学科(41)	1.次世代の技術革新に対応するため、理工学の基礎を徹底的に教育 2.世界トップレベルの施設を完備し、大学院進学率は50%以上	●人間のための科学技術 ●先端科学技術センター ●社会人基礎力 ●ALL DOSHISHA共修プログラム ●産官学連携
生命医科学部 主たる校地…京田辺	▶P.056	医工学科(100) 医情報学科(100) 医生命システム学科(65)	1.工学と医学の融合分野における先端科学領域で活躍するエンジニアや研究者を育成 2.工学、医学、基礎生物学など多様な学問との融合的教育研究	●医工融合による先端技術開発 ●電気・情報・自然科学と生命現象 ●生命機能・疾病の医科学的探究 ●学際研究 ●専門性と実践力
スポーツ健康科学部 主たる校地…京田辺	▶P.058	スポーツ健康科学科(221)	1.人々の健康増進、スポーツの社会的発展に貢献できる人材を育成 2.学内外の研究・医療機関と連携し、充実した研究環境を提供	●QOL(生活の質)向上 ●フレキシブルな科目選択 ●健康・予防医学 ●スポーツマーケティング ●中学・高校の保健体育
心理学部 主たる校地…京田辺	▶P.060	心理学科(158)	1.3つの履修コースによる体系的で専門性の高い教育を展開 2.伝統の少人数教育のもと実験・実習の充実、社会にリンクするプロジェクト型教育などにより実践的問題解決能力を育成	●こころのメカニズム ●カウンセリング ●行動の科学 ●感情とパーソナリティー ●発達と教育
グローバル・コミュニケーション学部 主たる校地…京田辺	▶P.062	グローバル・コミュニケーション学科(158)	1.卓越した実践的外国語運用能力を育成 1年間のStudy Abroadが必修(英語コース、中国語コース) 2.グローバル社会でfacilitator、negotiator、administratorとして活躍できる人物を育成	●コミュニケーション ●異文化理解 ●外国語運用能力 ●グローバル社会 ●多文化共生

(注1) 神戸親和大学通信教育部と「小学校教諭免許状(一種)取得プログラム」を、佛教大学教育学部(通信教育課程)と「小学校教諭免許状(一種・二種)取得プログラム」を提携している。このプログラムを履修することで、本学在学中に中学校または高等学校教諭一種免許状とともに、小学校教諭免許状を取得することが可能。(グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科中国語コース、日本語コースを除く)※プログラム履修料は、別途必要

	設立年	取得できる免許・資格	関連のある主な資格	卒業後の主たる進路	専任教員数(注4)	学生数(注4)
	1875年同志社創立以来の神学研究機関	●小学校教諭(注1)●中学校教諭一種(宗教)●高等学校教諭一種(宗教)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など	牧師 など	●教育・福祉●牧師●大手企業(メーカー、金融、サービス、商社など)●国際機関●国家・地方公務員●大学院進学	16	280 男子 135 女子 145
	1875年同志社創立以来の英文学科をはじめ、5学科で構成	●小学校教諭(注1)●中学校教諭一種(英語、国語、社会)●高等学校教諭一種(英語、国語、地理歴史、公民)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など(注2)	考古学技師 など (注3)	●教育・福祉●大手企業(金融、出版、サービスなど)●国家・地方公務員●博物館学芸員●図書館司書●大学院進学	68	3,037 男子 1,248 女子 1,789
	2005年度開設。社会、社会福祉、メディア、産業関係、教育文化の5学科で構成	●小学校教諭(注1)●中学校教諭一種(社会)●高等学校教諭一種(地理歴史、公民、福祉)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など(注2)	社会調査士、社会福祉士、精神保健福祉士 など (注3)	●教育・福祉●国家・地方公務員●シンクタンク●大手企業(マスコミ、サービス、銀行、保険、証券など)	48	1,935 男子 812 女子 1,123
	1891年開校の政法学校政治科が前身	●小学校教諭(注1)●中学校教諭一種(社会)●高等学校教諭一種(地理歴史、公民)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など	弁護士、裁判官、検察官、公認会計士、税理士、司法書士、行政書士、宅地建物取引士、社会保険労務士 など	●弁護士、裁判官、検察官●国家・地方公務員●ジャーナリスト●大手企業(金融、流通、メーカーなど)	61	3,642 男子 2,039 女子 1,603
	1891年開校の政法学校理財科が前身	●小学校教諭(注1)●中学校教諭一種(社会)●高等学校教諭一種(地理歴史、公民)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など	公認会計士、税理士、中小企業診断士、ITパスポート、基本情報技術者、ネットワークスペシャリスト など	●大手企業(金融、メーカー、流通、マスコミなど)●シンクタンク、コンサルティング●国家・地方公務員●公認会計士、税理士	50	3,706 男子 2,476 女子 1,230
	1922年開校の専門学校高等商業部が前身	●小学校教諭(注1)●中学校教諭一種(社会)●高等学校教諭一種(地理歴史、公民、商業)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など	公認会計士、税理士、中小企業診断士、証券アナリスト、ファイナンシャル・プランナー など	●公認会計士、税理士●大手企業(銀行、保険、証券、コンサルティング、メーカー、流通など)●企業経営者●国家・地方公務員	55	3,699 男子 2,062 女子 1,637
	2004年度開設。政治・行政学、法律学、経済学、組織、経営の4領域を社会科学横断的に学べる学部	●小学校教諭(注1)●中学校教諭一種(社会)●高等学校教諭一種(公民)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など	公認会計士、税理士、中小企業診断士、行政書士、宅地建物取引士、社会保険労務士 など	●大手企業(メーカー、金融、サービス、商社、マスコミ)●国家・地方公務員●コンサルティング●企業経営者●公認会計士、税理士●大学院進学	35	1,809 男子 869 女子 940
	2013年度開設。ヨーロッパ、アジア・太平洋、アメリカの3コース	●小学校教諭(注1)●中学校教諭一種(社会)●高等学校教諭一種(地理歴史)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など	TOEFL®テスト、TOEIC®テスト、実用英語技能検定(英検)、IELTS™、ドイツ語技能検定試験、Goethe-Zertifikat、実用フランス語技能検定試験、DELF/DALF、中国語検定試験、HSK、スペイン語技能検定、DELE、ロシア語能力検定試験、「ハングル」能力検定試験、韓国語能力試験 など	●海外展開している企業(メーカー、商社、旅行、マスコミなど)●国家・地方公務員●国際的な公共サービス(空港、航空)●国内外の大学院進学	57	847 男子 278 女子 569
	2005年度開設。文理融合の学部	●小学校教諭(注1)●高等学校教諭一種(情報)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など	社会調査士、情報処理技術者 など	●大手企業(銀行、商社などの情報分析)●システムエンジニア●シンクタンク●博物館学芸員●大学院進学	27	1,290 男子 708 女子 582
	1890年開校のハリス理化学校が前身。2008年度改組再編	●小学校教諭(注1)●中学校教諭一種(数学、理科)●高等学校教諭一種(数学、理科、情報)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など(注2)	電気主任技術者、電気工事士、陸上無線技術士、弁理士 など (注3)	●大手企業(通信、電子部品、半導体、機械、電気、自動車、化学などの技術・研究部門)●大学院進学●国際機関●国家・地方公務員	108	3,324 男子 2,721 女子 603
	2008年度開設。工学・医学・理学の融合的なフィールドにおいて「生命」を対象とした先端的な教育研究を行う	●小学校教諭(注1)●中学校教諭一種(数学、理科)●高等学校教諭一種(数学、理科)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など(注2)	弁理士、技術士、情報処理技術者 など	●大手企業(医療機器、自動車、機械、電気・電子機器、製薬、情報通信、化学など)●大学院進学●企業・公的研究機関の研究・開発職●教育・福祉	39	1,062 男子 625 女子 437
	2008年度開設。多角的かつ科学的な視点でスポーツと健康の関係について学修する	●小学校教諭(注1)●中学校教諭一種(保健体育)●高等学校教諭一種(保健体育)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など	健康運動指導士、各種スポーツ指導者資格、障がい者スポーツ指導員 など	●大手企業(医療、健康、食品、スポーツ関連)●中学・高等学校保健体育教員●スポーツ振興の自治体職員●プロスポーツマネジメント●大学院進学	24	935 男子 603 女子 332
	2009年度開設。1927年開設の文学部哲学科心理学専攻が前身。専門的な講義および少人数クラスにおける演習・実習を通じて、高度な知識と技能を身につける	●小学校教諭(注1)●中学校教諭一種(社会)●高等学校教諭一種(公民)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など	認定心理士、認定心理士(心理調査)、公認心理師 など	●大手企業(メーカー、サービス、金融、商社、マスコミ)●教育・医療・福祉●国家・地方公務員●大学院進学	18	650 男子 216 女子 434
	2011年度開設。高度な外国語運用能力とともに、幅広い教養、異文化理解力を養う	●小学校教諭(注1)●中学校教諭一種(英語)●高等学校教諭一種(英語)●図書館司書●学校図書館司書教諭●博物館学芸員 など ※中国語コース、日本語コースには、教職課程および学校図書館司書教諭課程は設置されていません。	TOEFL®テスト、TOEIC®テスト、IELTS™、実用英語技能検定(英検)、国際連合公用語英語検定試験(国連英検)、中国語検定試験、HSK、J.TEST実用日本語検定、BJTビジネス日本語能力テスト、ドイツ語技能検定試験、Goethe-Zertifikat、実用フランス語技能検定試験、DELF/DALF など	●大手企業(メーカー、流通・小売、情報通信・IT、航空・旅行など)●国家・地方公務員●国際機関●大学院進学	27	637 男子 209 女子 428

(注2) 取得できる教員免許の教科は学科によって異なる　　(注4) 教員数、学生数は2025年5月1日現在
(注3) 関連のある資格は学科によって異なる

School of Theology

神学部

神学科

キリスト教、ユダヤ教、イスラーム教という3つの一神教を学ぶ神学部。宗教を深く理解することで人間の精神性を学び、世界中のさまざまな問題へのアプローチを考えます。卒業生は宗教についての専門的な知見を活かして、多様化の進む現代社会でグローバルに活躍しています。

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
聖書や宗教に興味があったから。自由度の高いカリキュラムにも魅力を感じた

受験時に工夫したことは？
関心のある学部・学科を絞り込み、得意科目を活かせる入試方式を選択

役に立った参考書・書籍は？
『現代文キーワード読解』(Z会出版)。用語解説が詳細で小論文対策にもなった

いま、何を学んでいますか？
教育や福祉を中心としたキリスト教の社会実践について学んでいます

この大学の魅力は？
学部専門科目のほかに、さまざまな教育プログラムが用意されていること

大学でお気に入りの場所は？
神学館3階の教室。太陽光が差し込み、落ち着いた雰囲気の中で勉強できます

卒業後、何をする？
大学院に進学してキリスト教と現代社会の諸問題について学びを深める予定

受験生へのメッセージを
受験勉強で得られる気づきを大切にしてください。息抜きも忘れずに

NIRAZUKA Shunta

神学科3年次生

韮塚俊太

高校時代に聖書を読んでキリスト教に関心を持ちました。特に自身は(旧約)聖書の中の詩編や箴言の言葉に感銘を受け、不安な受験期の心の支えになりました。現在は教育や福祉などキリスト教の社会実践について学びつつ、アウグスティヌスの神学思想を意欲的に学んでいます。もともと別の宗教を信仰していた彼が、いかにしてキリスト者となり、キリスト教神学において重要な思想を主張するようになっていったのか。その足跡を辿ることで、聖書やキリスト教に対する理解が深まっていると感じています。また、宗教科の教師を目指して教職免許の取得にも挑戦しています。卒業後は大学院に進学し、キリスト教の視点から現代社会の諸問題について学びを深めるつもりです。

もっと 知りたい！

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

神学部
オリジナル
パンフレット

同志社建学の精神を受け継いだ自由な学びと社会実践

01
3つの一神教を学び国際情勢を理解する

テロや戦争、難民といった現代の諸問題だけではなく、政治や経済に至るまで、「いま世界で何が起きているのか」を理解するうえで、その背景にある宗教について学ぶことは有効なアプローチになります。キリスト教、ユダヤ教、イスラーム教を信仰している人々は世界人口の55%に上るともいわれています。同志社大学神学部は、これら3つの一神教を本格的に学べる世界でも稀有な研究・教育機関であり、宗教を学ぶことでグローバルな視点を養います。

02
関心や目標に応じてカリキュラムを自由に設計できる

創立者・新島襄は、型にはまらず自分の頭で考え、自分で判断することができる人間を同志社で育てようと考えました。建学の精神が息づく神学部では「自由」を学びのキーワードとしています。必修はキリスト教、ユダヤ教、イスラーム教の基礎を知る「神学入門」1科目のみ。3つの宗教を幅広く学ぶ、1つの宗教に特化して学ぶ、関連した歴史、芸術、哲学を学ぶ、他学部の設置科目を多数履修するなど、自らの関心や将来像に応じて自由に学びを設計できます。

03
少人数ならではの対話型教育

1学年あたりの定員は、全学部の中でもっとも少ない63人。学生と教員の距離が近く、アットホームな雰囲気の中での対話型の教育を重視しています。また、カリキュラムの自由度が高いため、一人ひとりの志向に合った授業を探すためのガイダンスをきめ細やかに行っています。学生間のつながりも強く、お互いに勉強や進路の相談をしやすいのも特長です。「自分の居場所」を見つけやすい環境が整っていますので、安心して勉学に集中することができます。

04
弱者へのまなざしを忘れず、差別や格差など足元の問題に取り組む「地の塩」プロジェクト

元来、神学と福祉は切り離せません。東日本大震災の被災地におけるボランティア活動、日雇い労働者・野宿者支援、ホスピスでのケアなど、神学部には社会福祉の活動に深く関わってきた伝統があります。様々な人々に寄り添い、差別や格差など社会や地域の問題に取り組む――。宗教者はもちろん、企業人も利潤の追求だけではなく社会貢献の責任が問われる時代において、こうした社会実践の経験は社会に出てからも役立つはずです。

「止揚学園」での交流のひととき

「愛隣デイサービスセンター」での学び

TOPICS

新カリキュラム

2025年度より新カリキュラムが導入されました。これまでの神学部の自由な学びを活かしつつ、科目間の連関を意識しながらより体系的で柔軟な学びが可能になります。

古典語を含む多彩な言語科目

現代語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語、イタリア語)のほかに、神学部独自の科目である聖書ヘブライ語、現代ヘブライ語、新約ギリシア語、アラム語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語も学べます。これらの言語は、一神教を深く学ぶうえで重要な役割を果たします。

Faculty of Letters

文学部

| 英文学科　| 哲学科　| 美学芸術学科　| 文化史学科　| 国文学科

英文学科、哲学科、美学芸術学科、文化史学科、国文学科の5つを擁する文学部。文学部を教養化、学際化する近年の潮流にはあえて乗らず、それぞれの学科の専門性を高めることで学びの「核」を育てます。国際主義を掲げ、海外への留学生も多数輩出しています。

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
もともと興味があった英語を専門的に学び、真の語学力を養うため

受験時に工夫したことは？
自分の得意と苦手を把握し、勉強時間の割き方などに優先順位をつけました

役に立った参考書・書籍は？
『TOEIC® L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』（TEX加藤著／朝日新聞出版）

いま、何を学んでいますか？
第二言語習得における効果的な外国語学習法について

この大学の魅力は？
向上心にあふれた学生と、その熱量をうけとめてくれる先生がいるところ

大学でお気に入りの場所は？
良心館のラーニング・コモンズ。窓から見える四季折々の風景もポイントです

卒業後、何をする？
京都府の行政に関わる公務員に。歴史と文化の街に語学力で貢献できたら

受験生へのメッセージを
自分が熱中できることを見つけて、気負わず信念を持って突き進んでください

HADANO Narumi

英文学科4年次生

肌野成美

子どもの頃から英語が好きでしたが、日本語を母語とする私たちにとって、英語習得は本当に難しいものです。「なぜこんなに大変なの？」という疑問から、大学入学後は英語学と英語教育の二つの軸で学んできました。今は25人の被験者を対象に英語学習の効果を調べているのですが、母語や各国の文化はもちろん、学力や経験によってもさまざまな差が生じます。その複雑さこそが、この「第二言語習得理論」の面白いところ。まだ新しい分野なので英語の文献が多く、研究を進めることは語学力向上にもなります。留学生の友達と接するのも生きた学びになっているし、大学生活のいろいろなことが相乗効果を生んでいる実感があります。

もっと 知りたい！

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

文学部
オリジナル
パンフレット

文学、言語、哲学、芸術、歴史など過去の積み重ねから自分がどうあるべきかを問う

01
古くからの教養を学び、未来を展望する力を培う「温故知新」の学び

本学部の歴史は1875年に誕生した同志社英学校にまでさかのぼることができます。本学部ではリベラルアーツの伝統のもと、先人たちが長きにわたって築き上げてきた教養を学び、文化の意味を現代の視点から問い直します。こうした温故知新の学びは、その時々の流行に惑わされることなく、未来を展望することのできる力を培います。数えきれないほど多くの有形、無形の文化が今なお息づく京都の街を舞台に、幅広い教養を身につけ、学びを深めましょう。

02
専門分野を核としてさまざまな知識を有機的につなげる

多くの大学において文学部を学際化する傾向がみられる中、同志社大学文学部は各学科の専門性を高めていくという選択をしました。それぞれの専門分野の深い知識を習得することで、それを「核」として、学生が自らの興味に応じ、さまざまな知識を有機的につなげることができると考えるからです。本学部には英文学科、哲学科、美学芸術学科、文化史学科、国文学科の5学科があり、入学時から学科に分かれ、専門性の高い教育を受けられます。

03
意見を交わして学びを深める少人数制教育

1年次から10～20名で行う演習科目が展開されます。アカデミックな文章の書き方や文献の検索方法など、大学での学習に必要なことがらを学んだうえで、専門的な学びへ。3年次からはゼミに所属して、一人ひとりの研究テーマを追究します。4年次には担当教員の指導のもと、学びの集大成として卒業論文を執筆します。教員と学生が少人数で向かい合い、意見を交わして学びを深める―。大学教育の真髄がここにあります。

04
国際主義と多様性真にグローバルな視点を培う

文学部生は積極的に留学に挑戦しており、海外の協定校への派遣学生のうち、多くを文学部生が占めています。一方で、海外からの留学生も多く、日本人学生にとって大きな刺激になっています。単にコミュニケーションツールとして外国語を習得するだけでなく、体系的な学問として語学や文学を学ぶこと。そして、留学や国際交流を通じて未知の文化や価値観に触れること。これらによって、真に世界に通じる「ものの見方」を身につけることができます。

TOPICS

複眼的視座を養う副専攻制度

所属する学科での学びに加え、他学科の講義や演習を履修する「学科型副専攻」、学科の枠を超えて人文学総合・メディア文化・アジア文化・国際専修という4つのテーマを学ぶ「横断型副専攻」、科学分野で起こる社会問題を正しく読み解き、解説できる力を養う「サイエンスコミュニケーター養成副専攻」を展開しています。

就職先はさまざま教員、学芸員司書を目指す道も

文学部の学びは特定の職業に直結するものではありません。だからこそ、学んだ教養を活かしてさまざまな職種を選ぶことができます。卒業後の進路は金融や流通、マスコミ、メーカーといった一般企業、公務員など多岐にわたります。また、文学部では教員、学芸員、司書の免許が取得可能で、それらを目指す学生も多くいます。

Faculty of Social Studies

社会学部

| 社会学科　| 社会福祉学科　| メディア学科　| 産業関係学科　| 教育文化学科

社会学科、社会福祉学科、メディア学科、産業関係学科、教育文化学科の5学科体制で、社会学部は人間社会の「不思議」に迫ります。現代の世相を鑑み、外国語教育や情報教育も重視。少人数制の手厚い指導と実践を通じ、愛を持って課題解決に挑む力を培います。

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
テレビなど旧来のメディアが今後どうなるのか、専門的に学びたかったから

受験時に工夫したことは？
内部推薦だったので、定期テストにはしっかり取り組むようにしていました

役に立った参考書・書籍は？
『チャンクで英単語』(三省堂)。発音記号や例文もあり覚えやすかった

いま、何を学んでいますか？
実際のテレビ番組を参考に、取材・編集・発信のスキルを学んでいます

この大学の魅力は？
のびのびと自由な環境で、新しいことに挑戦する機会を与えてくれるところ

大学でお気に入りの場所は？
デイヴィス記念館。バスケットボール部で毎日利用しており、思い出が多い

卒業後、何をする？
仲間と協力して、人を笑顔にできるものの制作を目指したいです

受験生へのメッセージを
どの学科も学びがあるので、あまりイメージで決めつけずに選んでみては

SEKO Aoi

メディア学科3年次生

世古愛生

小さいときからバラエティ番組が好きなテレビっ子でした。この学科を選んだのは、「SNSや動画サービスが全盛の時代、テレビはどうなっていくのだろう」と思ったから。現在はジャーナリズムのゼミに所属して、ドキュメンタリー映像を制作しています。作り手としての実践を通じて多くの発見があり、また先生に「メディアには国家権力を監視する役割がある」と聞いたことから、テレビの見方も変わってきました。私は内部推薦で進学しました。同志社は本当に個性を尊重する気風にあふれています。先輩にも相談して決めた専攻ですが、聞いていたとおりの自由な雰囲気がとてもいい。自分に合った選択ができたなと思っています。

もっと 知りたい！

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

社会学部
オリジナル
パンフレット

弱者に寄り添ってきた伝統のもと人と人との関わり合いを見つめ、共に生きていく社会を創造する

01
建学の精神から続く弱者へのまなざし

社会学部は2005年に文学部から独立する形で誕生しましたが、それぞれの学科には古い歴史があります。なかでも社会福祉学科は1931年に日本の大学では初めての社会事業学専攻として創設されました。創立者・新島襄は単に知識や技術を授けるだけではなく、良心を手腕にそれらを運用する人物を育てることを同志社の建学の精神としました。それに基づき、弱者に寄り添う社会福祉の実践者や教育研究者を育成してきたのが社会福祉学科の歴史であり、学部全体にその伝統は受け継がれています。

02
人と社会を見つめる5つの個性的な学科

人と社会の関係性や、社会のしくみについて幅広く研究する「社会学科」、高齢者、障がい者、いじめや不登校で悩む人など、社会で生活するうえで困っている人々に必要な施策や活動を考察し実践する「社会福祉学科」、新聞、テレビ、SNS、アニメなどあらゆるメディアを研究対象とする「メディア学科」、よりよい働き方や雇用のあり方について考える「産業関係学科」、学校だけではなく社会のあらゆる場における人間形成の理念と具体的方法について研究する「教育文化学科」の5学科を設置しています。

03
フィールドワークで現場の声に耳を傾け、実証的な調査研究を行う

社会学を学ぶためには、講義を聴いたり文献を読解したりするだけでなく、教室を出て、企業や学校、地域などで行うフィールドワークが欠かせません。インタビュー調査やアンケート調査で現場の声を聞き、データを集めるといった実証的な調査研究を行い、それをもとに理論化することが社会学の手法です。また、社会学部には公的機関や福祉施設、企業で行われる現場実習、海外での調査実習など実践的なプログラムも豊富に用意されています。

04
興味や関心を広げていく副専攻制度

幅広く社会問題に目を向け、問題を明確にしたうえで解決する力を培うために、本学部では副専攻制度を導入しています。所属学科の学びを主専攻としつつ、残り4学科に「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」を加えた7分野から副専攻を選べます。これらの副専攻を修了すると、卒業時に修了証明が発行されます。主専攻でまず軸足を定めて深く探究し、そこからさらに自分の興味や関心を広げていける。それが社会学部の副専攻制度の特色です。

TOPICS

ハワイの実践例を学ぶ「国際社会福祉実習」

国際的な視野を持つソーシャルワーカーの育成を目的とした国際社会福祉実習ではハワイを訪問。先住民や移民のための社会福祉施設やNPOを訪れ、多文化社会ならではの支援方法を実践例から学修。貧困とホームレス、薬物乱用といった問題に対するユニークな取り組みについても学ぶほか、ハワイ大学では社会福祉の授業に参加します。

多文化共生社会を体感「異文化体験実習」

異文化体験実習では、多文化共生社会として知られているカナダへ。日系移民のライフヒストリー・インタビュー、日本語学校での教育実践、英語話者がフランス語で教育を受ける幼稚園・小学校の訪問などを通して、多文化共生社会特有の教育文化を肌で感じ、世界的な視野に立って日本の未来の教育について考えます。

Faculty of Law

法学部

法律学科　政治学科

同志社大学法学部は、法曹輩出数全国トップクラスの実績を維持してきました。法律学科には4つの「履修モデル」を、政治学科には選べる「コース制」を用意。専門知識とリーガルマインドの双方を高いレベルで身に付け、よりよい解決を行う人材を育てます。

MORISHITA Yu

法律学科4年次生

森下 優

現在の法律では罪を犯した18歳と19歳は「特定少年」となります。彼らに極刑を科すのは妥当なのか、別の適当な処遇はあるのか。難しい判断ですが、こうしたことが今の学びのテーマです。検察側と弁護側に分かれて模擬裁判を行うのですが、僕自身、最初は「ひどい」「かわいそう」といった感情が先行してしまい、よく先生に叱られました。おかげで今は議論の正しいあり方がわかってきて、過去の判例や法律を根拠にする重要性も理解できるようになりました。ここで得たものは実社会でも必ず役に立つと思うし、僕にとって大学生活は言うことなしのすばらしいものでした。頼れる友達や先生と出会えたことも大きな財産です。

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
検察官を扱ったドラマが好きで、法律を勉強してみたいと思ったから

受験時に工夫したことは？
過去問対策を入念にすること、「有意義なサボり」でリフレッシュすること

役に立った参考書・書籍は？
『DUO3.0』（アイシーピー）。文章で英単語を学習する形式が好きでした

いま、何を学んでいますか？
少年に対する刑法のあり方について、演習授業で学んでいます

この大学の魅力は？
学びに集中できる環境、自由度の高さ、建物の美しさ、素敵な先生や友達も

大学でお気に入りの場所は？
明徳館1階のラウンジにあるソファと、ハリス理化学館前の静かなベンチ

卒業後、何をする？
大学で学んだ論理的表現力を活かして、証券会社で営業を担当します

受験生へのメッセージを
日々を大切に励んでください。最高のキャンパスライフを僕が保証します

もっと 知りたい！

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

法学部
オリジナル
パンフレット

高度な専門知識と リーガルマインドを身につけて 多様なキャリアを実現する

01
履修科目を自由に組み合わせてキャリア形成に活かす

法学部では専門的な科目の履修に先立ち、入門科目と基礎科目を履修します。その上で法律学科は展開科目、政治学科は発展科目を履修することで体系的に学修できます。展開・発展科目はさまざまな科目から自由に選択できますが、目指す進路に直結する専門知識を効率的に修得するためのガイドラインとして、履修モデルやコースも用意。これを参考に、各自の目標と関心に合った履修科目を組み合わせることで、自分らしいキャリアへの道が開けます。

02
大学院との連携を重視 早期卒業、飛び入学制度も

即戦力のスキルや、ワンランク上の専門性を養うべく、大学院との連携を重視しています。学部に在籍しながら大学院の科目を受講できるほか、3年間で学部を卒業して大学院に進学する「早期卒業」制度や、4年次を飛び越えて進学する「飛び入学」制度もあります。また、成績優秀な学部在学生向けには、筆記試験なしで進学する「特別選抜入学試験」制度も。大学院進学率が高いのも法学部の特徴で、5～6年間の高度な教育によって実社会で活躍できる力を養います。

03
グローバル化の最前線に挑戦する実務家を育てる

グローバル化の進展に伴い、社会問題や紛争の解決が国境を越えることが増え、法律や政治を手腕に活躍する実務家にも、国際的な視点が求められています。法学部では、海外提携大学と同志社大学にそれぞれ一定期間修学し両大学の学位を取得できるダブル・ディグリープログラムや海外の大学へ留学する単位互換制度、サマープログラムを学部独自に実施しており、留学制度が充実しています。また、正課科目でも模擬裁判などの国際大会出場を目指す特殊講義などを開講しており、グローバルな学びを展開しています。

04
現代政治、歴史・思想、国際関係の3コースで最新の政治学を学ぶ

政治学科は、2年次の秋から3つのコースに分かれます。政党、選挙、行政、地方自治、有権者の政治意識などを学び、現代政治のメカニズムを理解する「現代政治コース」。日本・アジア・ヨーロッパの政治に関する歴史と思想の大きな流れを理解する「歴史・思想コース」。安全保障・国際機構・国際政治経済の知識を深め、アメリカ・ヨーロッパ・中国・東南アジア・アフリカなどの政治を総合的に把握する「国際関係コース」。それぞれのコースには、最新の政治学研究に基づいた専門的な学びがあります。

TOPICS

法曹養成プログラムで基礎的能力を身につけ、学内外の法科大学院へ

法学部では、法曹養成プログラム（法曹コース）を設置しています。法律学科の学生で本プログラムを修了見込みの者は、連携先の同志社大学と神戸大学の法科大学院はもちろん、その他の大学の法科大学院が実施する特別選抜入試を受験することができます。法曹養成プログラム向けの早期卒業制度もあり、最短5年で司法試験の受験資格を得ることができます。2023年度は28名が本プログラムを修了し、学内外の法科大学院に進学しています。

学びと実務を結ぶ企業法務プログラムと実務家連続講義

法律学科の「企業法務プログラム」では、企業の法務関連部門でのインターンシップを行う「リーガル・フィールドワーク」を正課科目として開設。実務の場で法務関連の課題を追究し、「生きた法律」を体験できます。政治学科では、新聞社の現場の記者による講義を実施。第一線で活躍する実務家の話を聞くことで、現場の理解につながります。

Faculty of Economics

経済学部

経済学科

社会のさまざまな問題を「理論」「政策」「歴史」の観点から分析し、解決への道を探ります。それらを通じて、論理的思考力・政策立案能力を養い、社会の中で力を発揮できる人物を育みます。伝統文化が息づく古都ならではの経済学を学べるのも魅力。

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
文系の視点で数学に触れられる経済学を、京都の大学で学びたかったから

受験時に工夫したことは？
通学電車などの時間を活用したことと、基礎を重視し丁寧に繰り返したこと

役に立った参考書・書籍は？
『英単語ターゲット1900』(旺文社)、『初めから始める数学B』(マセマ出版社)

いま、何を学んでいますか？
「京都で100年続く老舗ベーカリーの共通項」を調べるフィールドワーク

この大学の魅力は？
魅力的で「濃い」人が多く刺激をもらえること、歴史と活気のある便利な立地

大学でお気に入りの場所は？
寧静館の自習室。勉強はもちろん、集中して作業を進めることができるため

卒業後、何をする？
全国農業協同組合連合会(JA)の職員として日本の農業を支えます

受験生へのメッセージを
追い詰められて視野が狭くなっていませんか？家族や友達にも頼ってみよう

SUGIYAMA Takumi

経済学科4年次生

杉山卓巳

僕は静岡県出身。修学旅行で訪れた京都が忘れられず、学部横断的に経済を学べる同志社大学を選びました。現在は「京都の老舗と職人」がテーマのゼミに所属し、地域のベーカリーに通ってパン職人への取材を重ねています。ミクロやマクロといった数字だけでなく、文化の面からも経済を考えるのは、まさに僕が求めていた学びでした。グループワークとフィールドワークがメインのゼミなので、研究は多くの人と交流しながら進めることになります。こうした経験の中で対人力が鍛えられたこと、実家が農家で食に興味が強かったことなどが、卒業後の進路決定にも影響しました。一生に関わる視点を養うことができたと感じています。

もっと 知りたい！

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

経済学部
オリジナル
パンフレット

経済学的思考を身につけ、広く社会のために行動しうる自治自立の人物を養成する

01

系統的・段階的学習で経済学の基礎を身につける

入学後はまず大学での学修を進めるために必要な技能を学びながら、経済現象や経済学の基本的な知識を修得します。併せて、日本経済の現状や課題などをテーマに経済学の基礎的な考え方や今後の行方などを考察し、さまざまな見解に触れ、柔軟な思考と経済学的な見方で世の中を捉える姿勢を養っていきます。また、情報技術の進歩に対応するため、データから正しいエビデンス（証拠）を得るのに必要な統計学、計量経済学などのデータ分析が学べる科目も数多くあります。

02

世の中のあらゆることが自分の研究のテーマに

金融や財政、SDGsの諸問題からコンサートや美術館、マンガ・アニメなどの文化活動まで、研究対象は無限に広がります。経済学的なものの考え方、論理的思考を身につけた後、自分の好きなことをテーマに研究を進められることが本学部の魅力のひとつです。自身が考える小さな疑問、ニュースで報道されている深刻な問題、さらには子どもたちを笑顔にする方法も経済学を学ぶことで解決の糸口を見つけられるかもしれません。

03

少人数教育とゼミで最先端の経済を知る

1年次の秋学期から履修することのできる「エコノミクス・ワークショップ（プライマリ・アドバンスト）」では、少人数で最先端のトピックスを探求することができます。テーマは毎年見直され、「行動経済学と共同体メカニズム研究の基礎と応用」「京都と日本の食文化」「脱成長・ジェンダー・ベーシックインカム」など多岐にわたり、興味があれば何科目でも履修が可能です。ゼミは2年次の秋学期から始まり、関心のあるトピックの専門性を深めていきます。

04

STUDY&ACTIONで学びの幅をさらに広げる

本学部は授業やゼミなどのSTUDY（正課）のほか、ACTION（課外活動）も充実しています。「学生プロジェクト」は学生たちがチームを組み、半年～1年をかけて自分たちが設定した問題の解決に取り組みます。「不動産有効活用についての提言」「京都市のオーバーツーリズムを解消しよう」など、そのテーマは多岐にわたります。そのほか、「ビジネスアイデア大会」「ディベート大会」など多くの学びの場を提供しています。

TOPICS

海外インターンシップ

海外に拠点を持つ企業の協力のもと、海外で約2週間のインターンシップを体験できます。言語も文化も異なる国での就業体験を通して、コミュニケーション力や任務遂行力を鍛えることができます。渡航費・滞在費を含めて10万円以下の自己負担で参加することができます。海外で働く未来を一足先に体験することで卒業後の進路選択の具体化、多様化を図ることのできるプログラムです。

「いま」を知るための充実した科目

情報系科目はゼミを含め20科目以上あり、基本的なITリテラシーのほか、社会人としても通用する実践的ITスキル、AIの活用法なども学べます。ほか、金融業界やファッション業界、ものづくりなどの最前線で活躍しているビジネスリーダーによる講義を通じて、ビジネスの現場を知ることができる科目も設置しています。

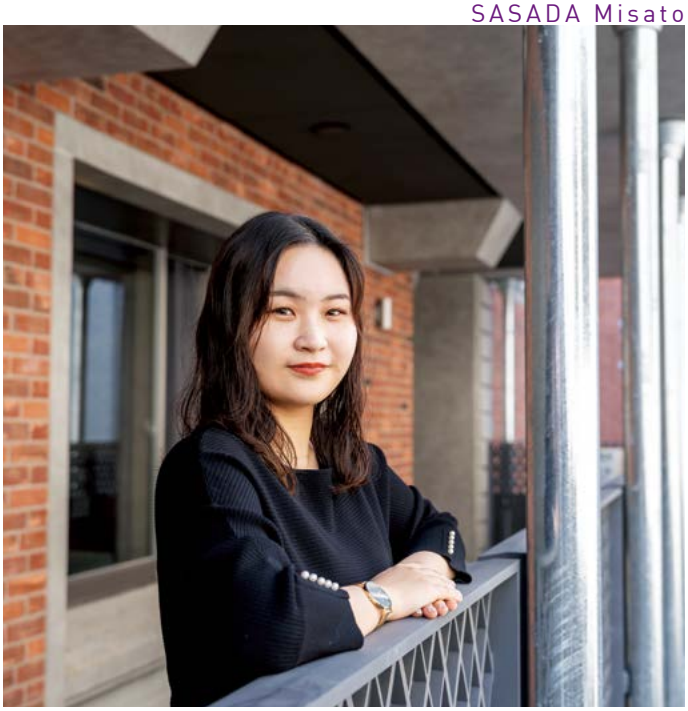
Faculty of Commerce

商学部

商学科

2022年に創立100周年を迎えた商学部では、一貫して「ビジネスについての十分な専門的知識をもつとともに、幅広い見識をもった人材」の育成を目指してきました。養うのは良心に基づく冷静な判断力。複雑さを増す現代社会でも、その重要性は変わりません。

SASADA Misato



商学科3年次生

笹田実里

コンビニによく行く私は、モノが売れる仕組みを作りたいと思って商学部を選びました。ヒット商品の開発などにも興味があり、主学系には商業・金融を選択。ただし所属する商学総合コースでは2つの学系を学べるので、副学系として簿記や会計も勉強することにしました。インターンも会計系企業で経験したのですが、そこでITと会計を究めて働く人たちに出会い、「こんな風になりたい」と思ったのです。以前は店に並ぶ商品だけで商学を捉えていましたが、大学の学びで関心が広がり、課題を解決して企業をよくしたいという夢ができました。今は会計に欠かせないITを行動経済学と絡めて調査し、将来に向けて知識を深めています。

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
モノが売れる仕組みを作りたいと思って商学部を選びました

受験時に工夫したことは？
勉強と趣味でメリハリをつけ、明るい未来を想像して頑張り続けました

役に立った参考書・書籍は？
『システム英単語』(霜康司・刀祢 雅彦著／駿台文庫)など

いま、何を学んでいますか？
ChatGPTなどAIが社会に与える影響を、行動経済学の見地から分析しています

この大学の魅力は？
インターンシップ・プログラムなど、実践的で質の高い授業が多いところです

大学でお気に入りの場所は？
多様な学生が行き交う良心館前のベンチ。ここでよく考え事をしています

卒業後、何をする？
基幹業務システムを扱う企業への就職を目指しています。憧れは敏腕営業です

受験生へのメッセージを
「頑張ってよかった」と思えるよう、夢に向かってワクワクしながら挑戦を

＼もっと 知りたい！／

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

商学部
オリジナル
パンフレット

ビジネストレンドの先を見通し、国際舞台で活躍できる人物の輩出を目指す

01
5つの学系と2つのコースで幅広い学びを実現

商学に関する専門科目は「経済・歴史」「商業・金融」「貿易・国際」「企業・経営」「簿記・会計」の5つの学系に分類されています。コースは「商学総合コース」「フレックス複合コース」の2種類あり、「商学総合コース」は5つの学系から主学系と副学系の2つを選択し、専門領域を総合的・体系的に学びます。「フレックス複合コース」には特定の分野をより重点的に学ぶ「専門特化型」と副専攻の選択科目の幅が広い「副専攻型」の2つがあります。

2つのコースの違いについて

02
「現場」に近い学びを展開する多彩なゼミ

少人数クラスのゼミは教員との距離も近く、密度の濃い研究が行われています。そのテーマは、経営、マーケティング、国際電子商取引、観光、会計、金融、経済など多方面にわたります。その内容も、マーケティングを例にすると「ケーススタディー（事例を使った分析）による研究」「他大学の学生と交流しながら卒業論文を発表する」「企業から持ち込まれた課題についてマーケティングの手法を用いて解決策を探る」など実務現場に役立つ視点を重視しています。

03
グローバル・ビジネスを肌で体感する留学制度と海外研修プログラム

同志社大学の派遣留学制度のほかに学部独自に韓国、マレーシア、台湾、タイ、ドイツの大学と提携しており、学生の派遣を行っています。また、海外研修プログラム科目として「海外ビジネスⅡ」を設置しており、実際に海外に行って現地の日系企業や商業施設などの見学や現地スタッフとの交流を通じて、海外ビジネス、および、日本企業の海外進出の現状について学びます。

04
正課科目と課外講座で資格取得をサポート

本学部では「簿記学」「会計学」「ファイナンシャルプランナー基礎・応用・実践」など、資格試験に関連する多くの科目を卒業単位に算入される正課科目に組み入れています。また、各種資格試験講座を課外講座として開講しており、「公認会計士入門講座」「税理士入門講座」「日本商工会議所簿記検定対策講座」「中小企業診断士入門講座」など資格試験にチャレンジするためのバックアップ体制を整えるとともに、資格取得のための自習室も完備しています。

TOPICS

リアルなビジネスを実感する講座を用意

企業やビジネスに関して幅広く学べる授業として、企業の経営者や実務者を招き、ビジネスの現場のリアルを学ぶリレー形式の講座が用意されています。

5年一貫教育プログラム

このプログラムは学部4年次に生まれる時間的余裕を大学院へのステップとして活用することで、5年で修士学位の取得を目指すものです。学部から大学院へと継続的に指導を受けることで、幅広い視野と深い専門知識を修得し、国内外の企業・産業が直面する諸課題を理解・分析できる高度な専門知識を有する人物を育成します。

Faculty of Policy Studies

政策学部

政策学科

政策立案には幅広い知識と広い視野が欠かせません。政策学部では、政治や行政はもちろん、法律、経済、組織や国際社会といった多様な視点で、社会を見る目を醸成。「現代社会に光を見つけること」を学びの目的に掲げ、複雑な社会に対応する人材を育成します。

SASAHARA Yuma

政策学科4年次生

佐々原悠馬

入学前から地方創生に取り組むと決め、在学中も積極的に自分から行動していました。ゼミ活動にも力を入れ、大学院でしか授業がない教授に猛アタックして指導を受けたり、東京都環境局の若者アンバサダーを務めたり。地方と都市が互いに求めていることは何か、それが重なる部分はどこか――こうしたことを考えるのは僕の一生の課題です。3年次の3月に香川県のさぬき広島という島に移住し、今はカフェ経営やNPO職員などをかけ持ちしながら、島の関係人口を増やす活動をしています。同志社や他大の仲間、高校生など、この半年で約70人の若者が島を訪ねてくれました。好きなことをやっているだけなので、僕にとってはどんなことも失敗ではありません。

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
地方創生について、基礎から専門的な学びまで深く研究できると思ったから

受験時に工夫したことは？
指定校推薦だったので、定期テストのほか生徒会や部活動にも注力しました

役に立った参考書・書籍は？
『ぼくらは地方で幸せを見つける』（ポプラ社）。地域づくりを学ぶきっかけに

いま、何を学んでいますか？
農山漁村のサステナブルな地域づくりについて。離島に移住して実践中です

この大学の魅力は？
思いに応えてくれる教授や仲間と出会い、やりたいことを思い切り実現できる

大学でお気に入りの場所は？
烏丸キャンパスのラウンジ。静かで集中できるし、四季の景色に癒されます

卒業後、何をする？
最終目標は、出身地の丸亀市でこれまでにない地域おこし革命を起こすこと

受験生へのメッセージを
合格は夢を叶えるための第一歩！ぜひ華の大学生活を謳歌してください

＼もっと 知りたい！／

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

政策学部
オリジナル
パンフレット

倜儻不羈の精神で新しいアイデアを打ち出し社会にイノベーションを起こす

01
実社会の諸問題を題材に「政策」を研究

国際機関や国、自治体、民間企業、NPOなどさまざまな組織の問題発見から解決までのプロセス＝「政策」が研究の対象。社会で実際に起こるリアルな状況を想定しながら理論的かつ体系的に政策を学び、政治・行政、経済、法律、組織、国際社会などの具体的な知識や技術を身につけます。創立者・新島襄の言葉「倜儻不羈」（独立心が旺盛で常軌では律しがたい自由な精神）を胸に、新しいアイデアで社会にイノベーションを起こす人物の育成を目指します。

02
学問の手法を身につけ専門的かつ実践的な学びへ

1年次から2年次春学期にかけては、情報へのアクセス方法やレポートの作成方法、定量分析・定性分析のスキルなど、大学で学ぶために必要な手法や知識と、社会科学全般の基礎知識を身につけます。2年次秋学期以降は、多様な科目群の中から自身の問題意識やキャリアイメージに合った科目を選択。特に演習（卒業研究プロジェクト）では、社会の現場に出て学ぶ「フィールドワーク」を通じて各自のテーマを実践的に深く追究します。

03
仲間たちと切磋琢磨し現場で汗を流しながら学びを深めるPBL

政策学部では徹底した少人数教育やアクティブラーニングを重視しています。「プロジェクトベースドラーニング（PBL）」では、少人数のチームごとに課題を設定。国内外の多種多様なフィールドに行き、公的機関や民間企業、ＮＰＯ・ＮＧＯなどとともに課題解決に挑みます。こうした実践を通して物事を多角的にとらえる思考力を深めるとともに、グループワークにおけるチームビルディングや、自分の意見を的確に伝えるプレゼンテーションの能力を磨きます。

04
2年半のゼミ活動で未来につながる力を身につける

2年次秋学期からは大多数の学生がゼミに所属します。「公共政策」「コミュニティ創造」「観光振興」「福祉行政」「スポーツ政策」「家族社会学」「金融」など、ゼミのテーマはさまざま。各ゼミでは4～5人程度のチームに分かれて政策立案コンテストやディベート大会への参加、自治体職員と協働した実際の政策づくり、国内外でのフィールドワークなどに取り組みます。ゼミ活動は自分の可能性を広げるチャンス。将来の目標に向けて、未来につながる力を身につけましょう。

TOPICS

政策等立案コンテストに多くのゼミ生が参加

国内最大級の新事業提案コンテスト「キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）大阪」で奨励賞受賞。柔軟な発想や創造力と若者の視点による新たな政策を募る「たつの市地域創生アイデアコンテスト」で6年連続最優秀賞受賞。都市が抱える課題を解決するための政策について研究発表が行われる、「京都から発信する政策研究交流大会」で大学コンソーシアム京都理事長賞と優秀賞を受賞。その他にも、関西広域連合協議会大学生等との意見交換会（政策コンペ）など、各種大会で多数の受賞を果たしており、ゼミ活動を通じた取組みが高く評価されています。

グローバルに活動する海外フィールドワーク

バルカン半島で国際政治の現場を体感する、カンボジアで子どもたちに学校教育についてヒアリング調査を行う…。政策学部では多様な海外フィールドワークを積極的に行っています。行先はアメリカ、デンマーク、フィジー、フランスなどゼミによってさまざま。大学を飛び出して、現地でしか経験できない人々との交流や調査を通じ、ゼミでの学びを更に深めます。

Faculty of Global and Regional Studies

グローバル地域文化学部

学部のコンセプトは「人々の哀しみに感応しつつ世界の諸問題を研究し、希望ある共生社会を構想する」。学生は複数の言語や歴史、文化、課題を広く学び、「それぞれの関心からG（グローバル）とR（地域）をつなぐ」ことを目指します。

グローバル地域文化学科

TANAKA Miyu

グローバル地域文化学科4年次生

田中美有

2年次に旅した徳島県で阿波和紙職人の方と出会い、日本の伝統工芸が直面する課題を知りました。世界の工芸事情を知るべくイタリアやフランスにも赴き、地域とグローバルの視点を行き来しながら、学部の目指す学びを実現していると感じています。「工芸」といわれているものには、その地域の民族性や風土が反映されていて、背景となる文化を理解しなければ本当の価値を知ることはできません。先行研究もなく苦戦していますが、やりたいことを尊重してくださる先生の力も借りながら取り組んでいます。漠然と「モノの価値」と考えていたものを批判的かつアカデミックに言語化していくのは難しいですが、面白く、やりがいも大きな研究です。

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
ドラマで見たフランスの景色に感動。語学以外のことも幅広く学ぼうと考えて

受験時に工夫したことは？
試験時間を意識する、ミスを分析し復習する、食事は家族としっかり食べる

役に立った参考書・書籍は？
同志社大学の赤本（教学社）、『世界史B一問一答』（東進ブックス）

いま、何を学んでいますか？
日本の伝統工芸の価値について。他国の影響などグローバルな視点で研究中

この大学の魅力は？
多様なバックグラウンドの人に出会えること、実践的な授業が多いところ

大学でお気に入りの場所は？
授業でよく使う志高館。こぢんまりとして居心地がよく、国際色も豊かです

卒業後、何をする？
日本の伝統工芸が抱える経済的な課題の解決に寄与できる仕事に就く予定

受験生へのメッセージを
自分を信じて挑戦すれば、きっとチャンスにつながるはず

もっと 知りたい！

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

グローバル地域
文化学部
オリジナル
パンフレット

人々の哀しみに感応しつつ世界の諸問題を研究し、希望ある共生社会を構想する

01
地域の理解を糸口に グローバルな諸問題を 追求する

ヨーロッパ、アジア・太平洋、アメリカの3つのコースのいずれかに属し、地域の歴史・文化・課題に関する学際的な知識を身につけ、自ら問題を批判的に考察する方法を学びます。歴史認識、移民・難民、紛争、環境問題、ジェンダーといったグローバルな問題を考察したり、「他者とは何か」といった主題に多様なアプローチを通じて迫るなど、学際的でコース横断的な授業を多彩に用意しています。

02
複数の外国語を 身につける

地域をより深く理解するのに必要な語学力を身につけるための、質・量ともに充実した外国語のカリキュラムを用意。ネイティヴ教員をはじめ経験豊富な教員が、外国語の運用能力を効果的に高める授業を提供します。英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、コリア語、インドネシア語、イタリア語、ポルトガル語、トルコ語、アラビア語の12言語のうち、英語を含む2つの言語の習得を目指しますが、意欲に応じてそれ以上の習得も可能です。

03
セミナーによる少人数教育

本学部では、「言語」「地域」「ディシプリン」「トピック/イシュー」という4つの軸を組み合わせたカリキュラムを実施。学問の方法に触れる導入セミナー、地域文化研究の方法を学ぶ入門セミナー、各ディシプリンのアプローチを学ぶ教養セミナー、原書・原語で学ぶセミナー、卒業論文へつなげる発展セミナー・専門セミナーなど、すべての年次に少人数セミナーを配置し、4年間の学びを段階的に積み上げていきます。

04
GとRをつなぐ体験的な学び

多様な背景を持つ他者や文化と出逢う方法として、グローバル地域文化学部では体験的な学びを重視しています。従来の海外留学プログラムに加え、2022年度より、国内でグローバルな体験ができるフィールドワークやプロジェクト型の科目を提供しています。

TOPICS

学部の理念

地球規模の問題はどこか遠い話ではなく、まさしく隣人との関係性のうちにもひそんでいます。すぐそばの隣人と、まだ見ぬ世界の果ての他者と、自己自身の拠って立つ足場とをつないで思考できる想像力。人々の哀しみに感応し、他者と共になにごとかを知ろうとする「良心ある知性」。その実現の困難を理解しつつ、それでもなお希望ある共生社会を構想する高い志。こうしたものこそが、本学部での学びの課題となります。

Faculty of Culture and Information Science

文化情報学部

文化情報学科

文化とは、人間が創り出した人間の本質を表すものです。つまり文化を理解することは、人間そのものを理解することにつながります。文化情報学部は、芸術や言語、社会、経済、歴史、心理などの人間の営みを文化と捉え、文化現象をデータサイエンスによって分析・解析することで、これまでの手法では見えなかった事実を探っていく、文理融合型の学部です。

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
人間が創り上げたさまざまな文化について、幅広く学べる点に魅力を感じたから

受験時に工夫したことは？
指定校推薦での受験を目指して、毎回の定期テストを大切にしていました

役に立った参考書・書籍は？
『英単語ターゲット1900』(旺文社)。苦手だった英語も成長できました

いま、何を学んでいますか？
アニメ主題歌の音域に着目して「歌詞と旋律の融合研究」に取り組んでいます

この大学の魅力は？
学びや学生生活を全面的にサポートしてくれる体制が整っていること

大学でお気に入りの場所は？
交隣館前のベンチ。芝生や校舎を一望でき、一息つきたいときにぴったり

卒業後、何をする？
リユース企業に就職。さまざまなモノの橋渡しをしてSDGsの実現に貢献したい

受験生へのメッセージを
自分の心を大切にして、積み重ねてきた努力を信じて最後まで頑張ってください

TANABE Natsuki

文化情報学科3年次生
田辺夏輝

幼い頃から人と話すことが好きなのに、緊張してしまう性格でした。漠然と言語やコミュニケーションに興味を抱き、その仕組みを知りたいと思うようになりました。所属する言語資源研究室では、言語を中心に幅広い視点で「文化」への理解を深めます。現在は卒業研究に向けた模擬実践研究として、アニメ主題歌の音域と歌詞の関係について探究。先行研究の調査とデータサイエンスによる分析を通して、「高音域パートに使われる歌詞にはどのような傾向があるのか？」といったことを探っています。文系・理系の知識を融合させ、学びを自由に組み立てられることが文化情報学部の魅力。常に新たな発見があるので「自分が本当に学びたいこと」が必ず見つかります。

もっと 知りたい！

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

文化情報学部
オリジナル
パンフレット

人間を理解するために文化研究の方法を学ぶとともに汎用的な知識・技能を身につける

01
文理の垣根を越えて多様な文化研究の方法を学ぶ

本学部は文系・理系の垣根を越えた「文化情報学」の学びのため、文化に関わる多彩な科目を配置した「文化科学系科目群」、統計科学・数理科学・計算機科学に関する科目を体系的に配置した「データ科学系科目群」、学融合的な知見や最先端の研究動向を扱う「先端・融合系科目群」を提供しています。また、文化情報学に関する教養を身に付けるため「文化情報学トピックス」など文化に関する教養科目を設置するほか、現代の「読み書きそろばん」と言われる「数理・AI・データサイエンス」のリテラシーレベルプログラムであるDDASH-L（全学共通プログラム）を必修としています。これらを経て、3年次秋学期からは多様なテーマを揃えた研究室に所属し、これまでの学びを発展・融合させた独自性の高い研究へと展開していきます。

02
議論を通じて学ぶ文化情報学の理念

1年次では「文化情報学とは何か」について学生同士の議論による探究（「文化情報学1」）、上級生の研究発表やキャリアビジョンの紹介に関する聴講・議論（「文化情報学2」）を行い、本学部における学びについての理解を深めます。さらに2年次では各回複数の教員が文化情報学の最先端の研究を紹介し、融合の可能性について学生を交えて議論します（「文化情報学3、4」）。この議論を通じて、学生は異分野融合がもたらす革新的な知の創出のための思考法を養うとともに、文化情報学の理念について思考を巡らせます。

03
学生と教員とが同じ目標を共有する探究型の学び

3年次では、異分野の教員同士で担当する探究型演習授業において、これまでに学んだ文化現象の知識やデータ科学のスキルを活用し、グループで協働して問題を発見・解決する力を養います（「ジョイント・リサーチ」）。秋学期からは研究室に所属し、先行研究の調査や課題の整理を行い、研究テーマを絞り込んでいきます（「リサーチ・セミナー」）。4年次では、学びの集大成として、教員から指導を受けつつ、時には議論を交わしながら、学生主体の研究活動を実践します（「リサーチ・プロジェクトⅠ、Ⅱ」）。こうした研究活動を通じて、学生は、確かなデータ源・情報源を基にした学問的探究の態度と能力を習得することができます。

04
リサーチ・プロジェクトを通じ、データサイエンスの実践的手法と深い思考力を身につける

本学部には、さまざまなテーマの研究室があり、興味をもった文化現象をデータサイエンスの手法を用いて分析・解析しています。そのような活動を通じて、単なる知識としてのデータサイエンスではなく、実践的なデータサイエンスの手法を身につけるとともに、分析結果に基づく深い思考力を培うことができるのです。例えば、人文情報学研究室では、学芸・思想をデータサイエンスの射程に入れた学際的研究を促進し、伝統音楽の特徴をAI技術と結びつけて音楽文化の伝播・変遷を示すモデル構築を行っています。また、データ駆動科学研究室では、物理学でしばしば登場する考え方を応用し、一見異なるテーマに対して同じ方法で挑めないかを模索しながら研究に取り組んでいます。

TOPICS

国際レベルの論理的思考力を養う教育プログラム

文学部との共同事業として、主に1、2年次生を対象とした「論理的思考教育プログラム」を開発しています。これまで日本の大学で教えられることが少なかった論理的思考のための技術と知識を育成する多彩な内容となっており、同志社大学の伝統である良心教育に則り、論理的思考を社会のために正しく用いる力を養います。

伝統文化から現代文化まで古今の多彩な文化に触れる

「文化」を科学する文化情報学部において、実際に「文化に触れる」ことは極めて重要です。「文化情報学トピックス」では、伝統文化、現代文化などを取り上げ、伝承者をはじめとする第一線の講師が、文化に関わる技能や伝承について解説する科目や、現代において「文化」を考えることの意味について考える科目を複数設置しています。

Faculty of Science and Engineering

理工学部

| インテリジェント情報工学科 | 電気工学科 | 機械システム工学科 | 機能分子・生命化学科
| 環境システム学科 | 情報システムデザイン学科 | 電子工学科
| 機械理工学科 | 化学システム創成工学科 | 数理システム学科

理工学は近年より一層高度化が進んでいます。多様な10学科を擁する理工学部では「優れた知識や技術は、正しい良心のもとで扱われるべきである」という新島襄の言葉に基づき、知徳を兼ね備えた世界平和の構築と人々の幸せに貢献できる学生を育成します。

AKAMATSU Kyoka

機能分子・生命化学科4年次生

赤松杏香

化学に興味を持ったのは、中学生のとき。理科でやった化学実験で、結晶ができたり、色が変わったりなど、目に見える変化が楽しかったんです。現在所属している分子生命科学研究室での研究もその楽しさは変わりません。私が取り組んでいるのは、より環境への負荷が少なくメタノールを製造するための研究。原料であるメタンからメタノールを製造するのに、現在は莫大なエネルギーが必要ですが、温和な条件下での製造が可能になれば環境への負荷が少なくなります。そのため、自然界に存在する金属酵素の構造に着想を得て、その構造を模倣した金属錯体の合成を日々行っています。まだまだ納得のいく錯体の合成ができていないので、追求していきたいです。

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
中学生で経験した化学実験が楽しく、化学系の研究職に就きたいと考えたから

受験時に工夫したことは？
毎日To Doリストをつくって一日の目標を立てて取り組んでいました

役に立った参考書・書籍は？
化学の総合資料集。過去に出題されていた内容はすべてふせんでチェック！

いま、何を学んでいますか？
メタノールの酸化を触媒する金属錯体に関する研究

この大学の魅力は？
先生や先輩から直接アドバイスをもらってディスカッションできる関係性

大学でお気に入りの場所は？
同じ実験室で過ごす仲間が集まる研究室。研究の話も、他愛ない会話も楽しい

卒業後、何をする？
大学院に進学し、メタンの酸化を触媒する錯体の開発を続けます

受験生へのメッセージを
化学に興味があれば、幅広い研究分野から必ず興味のある分野が見つかります！

もっと 知りたい！

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

理工学部
オリジナル
パンフレット

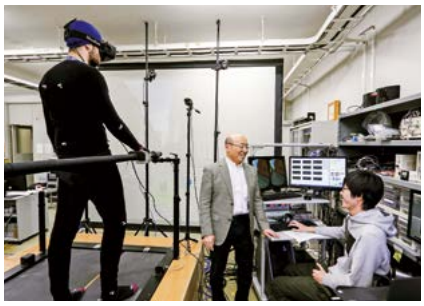
世界平和と社会貢献を実現し 科学技術の革新を創出する 専門知識を持つ人物を輩出

01
科学・工学の基礎と応用の理論を十分に習得する

社会の変化や技術革新に対応するには、理工学の基礎を身につける必要があります。1年次からそれぞれの分野で基礎となる科目を設置し、演習や実験を繰り返すことで基礎理論が身につくカリキュラムを導入。集めた情報や技術を自ら創造し、科学技術の発展に寄与できる応用理論も徹底的に学びます。先端的な研究課題に取り組み、理工学に必要なものの見方、問題発見・解決方法を会得した人物を育成します。

02
世界トップレベルの設備を持つ先端科学技術センター

文化・学術・研究の一大集積地である「関西文化学術研究都市」に位置し、学部棟だけでなく機械実習工場や各種実験棟など、最先端の高度な実験施設・設備を完備しています。京田辺校地の周囲には企業や研究者、学術研究施設が集まり、イノベーションを創造する拠点として、理想的な教育・研究環境を実現しています。世界トップレベルの先端科学技術センターも併設し、毎年、50%以上の学生が大学院に進学しています。



03
豊かな未来社会を実現するため「少人数教育」で学ぶ

ハードウェア、人工知能、高度な情報処理技術、電力、電子回路、資源・エネルギーの有効活用、数値シミュレーション……。変化する科学技術を柔軟に学べる10学科には、専門科目や自然科学系・人文科学系などの幅広い科目が用意され、個性を尊重した多角的な視野を養う力を伸ばします。「基礎学力」を重視し、学生一人ひとりの能力を大切にしながら、ものづくりの興味を育てて社会で活かすことができる人物育成のために、少人数教育を徹底しています。

04
世界的視野で専門分野を学ぶダブルディグリー制度

学部間協定により、世界トップレベルの大学で専門分野を学べます。視野を広げる「短期留学」や専門知識を磨く「長期留学」だけでなく、所定の条件を満たしてプログラムを修了すると、本学と派遣校双方の大学から修士学位または博士学位を同時に取得できるダブルディグリー制度も充実。学費免除や奨学金など、留学への手厚いサポートも。優れた研究者を目指して自らの専門分野を深く探究でき、国際化を見据えた学びは今後のキャリア形成に役立ちます。

TOPICS

ALL DOSHISHAと産官学連携

身体・生命、先端技術、情報を中心とする本学部では、実験や実習に重点を置き、生命医科学部ならびにスポーツ健康科学部との教育・研究の連携も積極的に図っています。また、理工系関連企業や研究機関、地方自治体などの学外の機関とも連携し、激変する技術革新に対応する人物の育成に力を注ぎます。

国際交流プログラムで多様な価値観を育てる

理工学部生しか受講できない科目「Academic English for Science1 ～ 4」の授業は外国人講師らを中心としてすべて英語で実施され、レポートの執筆もすべて英語です。「語学レッスン」は、理工学研究科国際科学技術コース(ISTC)の外国人留学生から母国語のレッスンを受けられる制度で、希望留学先の言語が学べます。

Faculty of Life and Medical Sciences

生命医科学部

| 医工学科　| 医情報学科　| 医生命システム学科

現代の先進医療にはテクノロジーとサイエンスの密接な連携が必須。生命医科学部ではこれまでの工学研究で培った知識とノウハウをもとに、医学や基礎生物学などを融合させることで、多角的に医療とヒトに貢献できるエンジニアや研究者を育てます。

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
医療機器の開発に興味があり、医学と工学の融合分野を学びたかったから

受験時に工夫したことは？
生活リズムや食事に気をつけ、しっかりと睡眠をとるようにしました

役に立った参考書・書籍は？
『生物[生物基礎・生物] 基礎問題精講』(旺文社)。解説がとても丁寧です

いま、何を学んでいますか？
コウモリの「音で世界を見る能力」に関する研究と、その工学的応用の検討

この大学の魅力は？
多様なバックグラウンドを持つ人たちから、常に新たな学びを得られること

大学でお気に入りの場所は？
ラーネッド記念図書館と、カフェ・レストランのアマーク・ド・パラディ・ラッテ

卒業後、何をする？
大学院に進学し、コウモリの高度なセンシングメカニズムをより深く研究

受験生へのメッセージを
苦しいときは一人でため込まず、周りの人たちを頼ることも大切です！

TAKAHASHI Kako

医情報学科4年次生

高橋果己

患者の負担を軽減する医療機器の開発に興味を持ったのは、小学生のとき。内視鏡検査を受けた祖父が、とても辛そうな表情をしているのを見たことがきっかけです。所属する脳神経構造工学研究室では、コウモリのエコーロケーション(反響定位)について研究しています。コウモリは自ら発する超音波の反響音をもとに、暗闇の中でも餌や障害物の位置を把握できます。そのメカニズムを解明し、視覚情報に頼らず周囲の環境を把握できれば、視覚障害者のための支援デバイスや災害時の救助ロボットの開発など、さまざまな分野への応用が期待できます。卒業後は大学院に進学し、生物の優れたセンシング能力に関する研究と工学的応用の方法を模索していきます。

もっと 知りたい！

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

生命医科学部
オリジナル
パンフレット

「工学」と「医学」の融合で人体の秘密を解き明かし人類社会への新たな価値を生み出す

医工学科

専門性と実践力の涵養

講義、実験実習科目、卒業研究を通じて、機械工学と医学に関わる専門分野で活躍できる人材の育成を目指したカリキュラムを提供しています。学部卒業者の多くが進学する大学院までの一貫した教育により、高度な専門性や次世代の先端技術を生み出せる能力の養成に努めています。また、医工学科では、全ての講義・実験実習科目が基礎学力の向上とスキルの修得に向けて明確に位置付けられており、カリキュラムを通して実践力を養うことができます。

卓越した研究力と就職力

医工学科では、基礎研究だけに留まらず、社会や人の生活に貢献できる研究に主眼を置いています。先端研究を通して専門性を深化させるだけでなく、学会参加や、大学・企業との共同研究を通じて、就職後においても即戦力として活躍できる能力が身につきます。

医工学科の研究力は、科学研究費補助事業（科研費）の採択実績からも裏付けられています。採択率は学内でも高い水準を維持しており、先端研究に携わった卒業生は、技術者・研究者として、社会から非常に高い評価を受けて活躍しています。

また、数々の日本トップメーカーへの就職事例があり、大学で習得する能力と、就職後に必要となる能力をシームレスに繋げる、高い「研究力」と「就職力」を特色とする学科となっています。

医生命システム学科

医療に貢献する人物養成

ヒトは病気になりやすい半面、驚くべき回復力を秘めています。医生命システム学科では、こうしたヒトが持つ高度な機能を、医学・生命科学領域のあらゆる角度から探究し、病気の原因解明や治療、予防法、そして健康増進を目指した研究を進めていきます。これらの学びを通じて、ヒトの健康を基礎医学から支える人物の育成を目指しています。

多彩な教員とカリキュラム

医生命システム学科の教員には医師や薬剤師も多数在籍しており、分子生物学などの生命科学だけでなく、基礎医学や薬学分野といった専門科目、さらに問題解決能力の向上を目指した多くの実習など幅広いカリキュラムが用意されています。卒業研究では、新たな研究結果、発見が得られる興奮をじかに感じることができます。

高い就職と進学実績

医生命システム学科の卒業生は、医薬品をはじめ、食品、化粧品などの企業において、医学と生命科学の幅広く高度な知識、研究力を持った専門家として活躍しています。また、大学院へ進学し、より高度な研究に挑む学生も多くいます。医生命システム学科をより詳しく知りたい方は、ぜひ学科webサイトにアクセスしてみてください。

医情報学科

ヒトや生物の情報に関する知識と技術を幅広く学ぶ

ヒトや生物の情報に関する知識や技術を広く身につけることができるのが、医情報学科です。卒業論文作成時には、下記の研究室に所属して、幅広い分野で最先端の研究を行います。

- ヒューマンインフォマティクス研究室：情報工学
- 超音波エレクトロニクス・生体計測研究室：生命医工学・医用電子工学
- 脳神経行動工学研究室：神経行動学・生物音響工学
- 生体情報研究室：有機化学・分析化学
- 生命物理科学研究室：物理学
- 数理統計科学研究室：統計学

AI・データサイエンスの先を行く

医情報学科では、AI・データサイエンスの知識と技術をヒトの理解とウェルビーイングのために使えるエンジニアを育みます。

研究トピック

高齢者の歩行や動作をロボットでサポートする、超音波診断装置やMRIなど体内を可視化する技術を用いて生体情報を詳細に得る、タンパク質を創薬標的にしてアルツハイマー病予防に挑戦するなど、生命医科学部では最先端の研究を数多く進めています。医学・生命科学のみならず、工学・情報・化学などを含めた幅広い多角的な学びにより、工学と医学の融合から新たな価値を創造します。

TOPICS

医科大学・医療機関との連携による研究・教育体制

京都大学、京都府立医科大学との研究交流に関する協定だけでなく、国立研究機関やソルボンヌ大学、ウィーン工科大学、チェコ工科大学ほか世界有数の大学と連携。生命科学・医学分野における研究環境の充実に取り組んでいます。また、科学と社会の架け橋になるヒトを育てる「サイエンスコミュニケーター養成副専攻」を開設しています。

高い就職実績を誇り大学院への進学も多い

医療機器メーカーだけでなく、医薬品・化粧品メーカーや電気・電子系の企業、情報・通信系の企業など、日本のトップメーカーへの就職実績があります。卒業生の多くは、大学の演習や講義での学びを活かし、研究や開発など幅広い分野で活躍しています。より高度な学習や研究テーマに挑みたいと、大学院へ進学する学生が多いのも特徴です。生命医科学部における教育・研究を通して、将来にわたり、社会に貢献できる高い能力が身につきます。

Faculty of Health and Sports Science

スポーツ健康科学部

スポーツ健康科学科

現代社会において「健康増進・生活充実・老化防止」に大きく関わるスポーツ・運動。「スポーツ」と「健康」「QOLの向上」を視野に入れながら、社会環境に関する知見や理論など多角的な視野を会得し、社会に幅広く貢献できる人材を養成します。

MATSUNO Kahoko

スポーツ健康科学科3年次生

松野佳穂子

小学生から現在まで、バスケットボールを続けています。将来もスポーツに携わる仕事がしたいと考え、ビジネスや国際的な分野からもスポーツを学べる同志社大学に進学しました。3年次の夏には授業の一環でドイツに行き、幼稚園や学校現場でどのようにスポーツが取り入れられているのかを視察。スポーツに力を入れている幼稚園では室内に遊具が設置されていたり、曜日ごとにスポーツのプログラムが組まれていたりしました。日本とドイツのスポーツ事情を比較して学べたことは大きな収穫でした。将来は地元の千葉に戻って公務員として働き、大学で学んだスポーツのさまざまな側面を地域社会の解決策として取り入れたいです。

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
スポーツを、ビジネスや国際的な観点からも学びたいと思ったから

受験時に工夫したことは？
AO入試だったので、出願書類作成のために自分と向き合い続けた

役に立った参考書・書籍は？
部活をやっていて時間がなかったので隙間時間に動画学習教材を使っていた

いま、何を学んでいますか？
女性のスポーツ人口を増やすための研究。企業と合同で研究を進めています

この大学の魅力は？
充実の学習環境。3年次生の夏にドイツに行き、スポーツ事情を学んだ

大学でお気に入りの場所は？
京田辺キャンパスにあるカフェ、アマーク。抹茶パフェがおすすめです

卒業後、何をする？
地元の千葉県に戻って公務員として働き、スポーツに関わる部署で貢献したい

受験生へのメッセージを
人によって得意分野はさまざま。得意なことを生かしてがんばってください！

もっと 知りたい！

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

スポーツ健康科学部
オリジナル
パンフレット

QOLの向上と健康や予防医学に多方面から科学的にアプローチし健康とスポーツに貢献する人材を

01
3つの学問領域を横断的かつ複合的に学習する

身体の構造・機能を基礎にした健康・体力維持・増進を学び、スポーツ・運動を通じた健康づくりの意義を学ぶ「健康科学領域」、競技力向上のためのトレーニング法や生涯スポーツにつながる運動習慣の獲得方法を学修する「トレーニング科学領域」、スポーツを取り巻く社会環境の整備・充実やスポーツビジネスについて学ぶ「スポーツ・マネジメント領域」の3つを多角的に考察します。人間の健康増進とスポーツの発展に向けた分野を体系的に履修できます。

02
少人数での指導体制と各年次の特色ある学びが専門家の第一歩を支える

1年次に必修科目として少人数制のファースト・イヤー・セミナーを設置し、専門分野の教員から、きめ細やかな指導が受けられます。2年次は約20人のグループに分かれ、異なったテーマでの実験実習を毎週実施します。トレーニング法やテーピングなどの実践に加え、自然・社会科学の実験・分析手法が身につきます。3年次は各ゼミにおいて専門領域の学びを深め、研究テーマを確立。研究技法の能力を身につけて、4年次には大学での学びの集大成として卒業論文を完成させます。

03
総合大学のメリットを生かし他学部の専門科目を共通化充実した学習環境に

本学部の科目に加えて、生命医科学部や心理学部などと専門科目の一部を共通化しています。医学・健康科学関連項目の強化だけでなく、さらに他学部の関連科目も選択できるなど、学習環境が充実しています。遺伝子を解析し、それが人の健康やスポーツにどう関わっていくのか……「ミクロからマクロまで」を考えられるのが本学部の特徴です。他学部の科目も含め、横断的にスポーツを学ぶことができ、学生同士でも良い刺激になっています。

04
最先端のキャンパスで学び将来の就職にも役立つさまざまな資格が取得可能

スポーツ栄養・生化学や、スポーツ心理学、バイオメカニクス、運動負荷試験、統計調査実施法など、全員が受講する「基礎実習」をより深化し充実させるため、教育研究棟には最先端の実験設備や機器が設置されています。また、教員免許状（中学校および高等学校の一種免許状の保健体育）のほか、特定のカリキュラムを習得すれば健康運動指導士の試験受験資格や日本スポーツ協会公認スポーツ指導者受験資格を取得できるのも、本学部の魅力のひとつです。

TOPICS

世界のスポーツ事情に触れ幅広い知見が身につく

「スポーツ健康科学特殊講義S」を設置し、1週間程度の海外生活を通じて現地のスポーツ事情に触れ、国内では得ることのできない幅広い知見を身につけます。本学教員が引率するので、安心して参加できます。また、ドイツやスペインほか、海外の大学と学部間協定を結んでおり、長期も含めた多様な留学機会もあります。

文理融合かつ多角的に「スポーツ」を追究する

競技力を高めるために、人体のしくみなどの生理学や遺伝子に関する分子生物学を学んだり、速く走るために動作解析をしたりしてトレーニング法を構築するなど、物理的・科学的な検証はもちろんのこと、日本のスポーツを今後世界に普及させていくための政策やビジネスを模索する社会学も学べます。理論と実践の両面が学べる文理融合も学部の特徴です。

Faculty of Psychology

心理学部

心理学科

90年以上の歴史を持つ同志社大学の心理学研究。「基礎研究を行う者は常に臨床・応用に眼を向け、臨床・応用の分野で実践を行う者は常に基礎研究に眼を向ける」という伝統のもと、基礎と応用の両方をバランスよく修得することを目指します。実験設備も充実。

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
心理学のおかげで学習が進んだ経験があり、もっと深く知りたいと思ったこと

受験時に工夫したことは？
家から学校まで片道2時間の道のりは必ず予習・復習に使っていた

役に立った参考書・書籍は？
授業で配られたプリント。社会系の課題は問題文から丸暗記していた

いま、何を学んでいますか？
社会心理学。社会で偏見や差別などが起こる仕組みについて研究したい

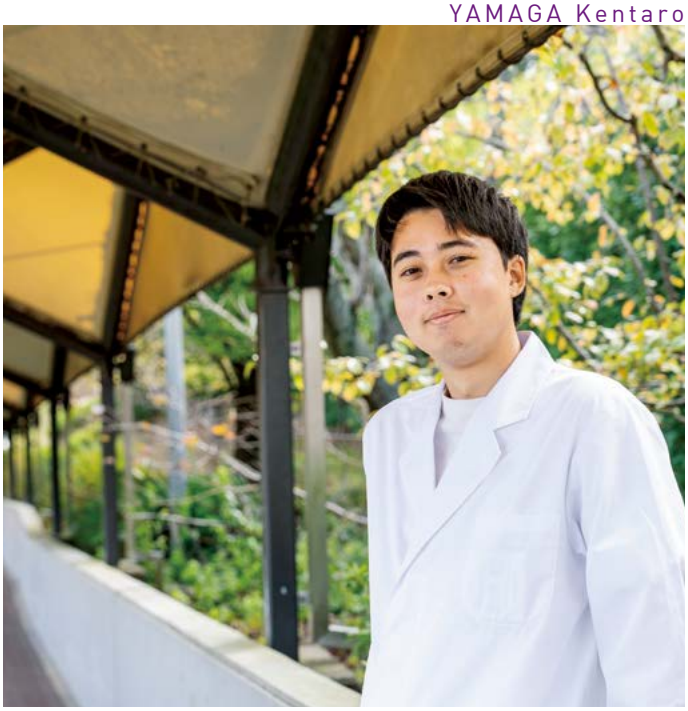
この大学の魅力は？
広大な敷地面積。研究設備もスポーツ設備もそろっていて充実しています

大学でお気に入りの場所は？
所属している自動車部のガレージ。整備や競技の練習に打ち込んでいます

卒業後、何をする？
大学院に進み、マイノリティー研究に取り組みたいです

受験生へのメッセージを
同志社に行きたい絶対的な理由を見つけると、モチベーションになるはず！

YAMAGA Kentaro



心理学科4年次生

山家剣太郎

3年次の夏から1年間、大学の留学制度を使ってアメリカの大学で学びました。そこでは社会心理学の授業をとっていたのですが、日本ではあまり学ぶことのできない人権や差別について学びました。ちょうど日本でトランスジェンダーの話題が多く取り上げられていた時期だったのですが、日本のソーシャルメディアで散見される意見が、まさにアメリカで学んでいた差別的発言に該当するものでした。どうしてそういった意見が出るのか気になり、留学先で出会った友人と論文を読んだり討論をしたりして、考えを深めました。日本では差別に関する心理的研究がまだまだ少ない。アメリカで学んだことを日本での研究でも進めていきたいです。

もっと 知りたい！

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

心理学部
オリジナル
パンフレット

現代社会の課題に対応するため基礎研究力と応用力を兼ね備えた人の心と行動に迫る人物を育成する

01
伝統の少人数教育で きめ細やかな指導を実現

1年次のファーストイヤーセミナーから4年次の演習（ゼミ科目）まで、全学年で少人数科目を設置しています。そのため学生と教職員の距離が自然と近くなり、きめ細やかな指導を実現しているほか、学生同士もしっかりと向き合って学ぶ機会が設けられています。これにより、高いコミュニケーション能力に加え、共に問題の解決を目指す協働性が養われます。

02
実験・実習を中心とした カリキュラム

実験・実習施設には最新機器が設置されており、体系的な専門知識の教育や、統計解析ソフトの訓練などを通じて、目的に合わせた実験・調査の専門スキルを身につけ、研究を進めていきます。また、心理学の現場を肌で知るため、学外での研修やボランティア活動も積極的に取り入れています。これらの実践的、体験的学習を通じて、人の心に寄り添いつつ、社会の問題を解決していく総合的な人間力を育てていきます。

03
心理職初の国家資格 「公認心理師」ほか 資格取得サポートも充実

公認心理師とは、保健医療、福祉、教育などの分野において心理学に関する専門的知識や技術をもって、支援を必要とする人の心理状態を観察・分析し、相談・指導したり、その関係者に助言をしたりする専門職です。2017年に施行された公認心理師法に基づき、同志社大学心理学部、および同大学院心理学研究科では、受験資格を得られる教育体制を構築しています。また、心理学を専門とする民間資格などについても、学生の多様な要望に対応できる環境を整えています。

04
自由に履修できる 3つの専門コース

学生の視野を広げるため、心と行動の神経・生理的な基盤と行動そのもののメカニズムを学習する「神経・行動心理学コース」、心の問題の解決を目指す「臨床・社会心理学コース」、生涯発達的な視点から心の発達と教育に関するメカニズムとその支援の専門知識を学ぶ「発達・教育心理学コース」の3つを設置しています。卒業までにすべてのコースから3科目以上履修することが求められ、1つのコースから6科目以上履修するとコース修了認定が受けられます。

TOPICS

ようこそ、心理学部へ

「ようこそ、心理学部へ　同志社大学心理学部編（筑摩書房）」は、実際の講義を再現する内容です。定番のテーマや興味深いトピックスが取り上げられています。各講義の内容は心理学の基礎知識がなくても理解できます。

さあ、心理学部の大学生がどんなことを勉強しているのか、体験してみましょう。

学部オリジナルサイトでも紹介しています
アクセスはページ上部のQRコードから

実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター

近年、日本においても「実証に基づく心理・社会的トリートメント」（Empirically Supported Treatments：EST）の開発やその普及が重要視されています。本センターは、より本格的な開発・普及を推進するため、特に西日本における中心的な役割を担うことを目的としています。

Faculty of Global Communications

グローバル・コミュニケーション学部

同志社大学創立以来の教育理念である「国際主義」に基づき、現代のグローバル社会に対応する人物の育成を目指します。英語、中国語、日本語（留学生を対象）の3つのコースで、実践的な外国語運用方法に加え、言語の背景となる文化・社会について深く学びます。

グローバル・コミュニケーション学科

Q&A

この学部に入ったきっかけは？
4年間じっくりと、英語に浸れる環境があると感じたから

受験時に工夫したことは？
受験のために勉強するのではなく、いつも「楽しく学ぶ」ことを意識していました

役に立った参考書・書籍は？
『必携英単語LEAP』（数研出版）。語源や派生語など解説が充実している

いま、何を学んでいますか？
映画学のゼミに所属して、メディアの諸問題について幅広く学んでいます

この大学の魅力は？
国籍を問わず多種多様な人と出会えること。留学生と交流する機会も豊富

大学でお気に入りの場所は？
ラーネッド記念図書館。勉強に集中する環境が整っていて外観もお気に入りです

卒業後、何をする？
英語力とコミュニケーション能力を生かして、世界を舞台に活躍したい！

受験生へのメッセージを
理想の自分をイメージし、自らの可能性を信じて頑張ってください！

KUSUMOTO Haruka

グローバル・コミュニケーション学科英語コース3年次生

楠本陽加

映画や音楽を通して英語や海外の文化に興味を持ち、留学が必修科目になっていて大好きな英語を4年間じっくりと学べるこの学部（コース）に進学しました。2年次に約1年間のイギリス留学（Study Abroad）を経験し、現在は所属ゼミで映画に関する諸問題について学んでいます。例えばアニメを実写化するときに、登場人物のキャスティングは作品のオリジナリティを大切にすべきか、多様性を重視すべきかで意見が分かれます。正解のないテーマなので議論はいつも白熱。日々、切磋琢磨して高め合う仲間との議論は新たな気づきが多く、広い視野が身につきます。集大成となる卒業研究では、映画におけるポリティカルコレクトネスについて深く掘り下げたいと考えています。

もっと 知りたい！

インタビュー
ロングバージョンはココ！

大学案内
WEBサイト

学部オリジナル
サイト

グローバル・
コミュニケーション
学部オリジナル
パンフレット

理論と実践をバランスよく学び グローバル社会の担い手となる 人物を社会に送り出す

01
徹底した少人数教育で学生たちの成長をサポート

本学部が育成する人物は単に外国語を流暢に話す人ではなく、幅広い教養と洞察力を持ち、互いを結び、心を通わせることのできる人です。少人数クラスを編成し、教員のきめ細やかな指導で、社会の人と人をつなぐ【facilitator】、人と交渉する【negotiator】、人をまとめる【administrator】として社会で活躍するための思考力や国際感覚を磨いていきます。

02
英語・中国語コースで必修となるStudy Abroad

言葉の力を磨き、異なる文化への理解を深めるため、英語・中国語コースではStudy Abroad（留学）が必修となっています。英語コースでは2年次にアメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドにある14校の提携大学のいずれかで学びます。所定の英語レベルをクリアすれば、その大学の正課科目を受講することも可能です。中国語コースでは2年次の秋学期から3年次の春学期にかけて、中国と台湾にある4校の提携大学のいずれかで1年間の留学を行います。

03
教養と実践のバランスがとれたカリキュラムを採用

コミュニケーションは、理論だけを学んでも実践が伴わなければ意味がなく、その逆もまたしかりです。教養としては、コミュニケーションを言語、社会、文化のそれぞれの側面から考察する学際的な講義のほか、関心のあるテーマを深く掘り下げる演習があります。実践としては、外国語のスキル系科目に加え、4年間の学びの集大成として、3つのコースの学生が互いに協力して文化交流や国際問題に関するプロジェクトに取り組むSeminar Projectがあります。

04
キーワードは「分かち合い」「学びの共同体」の構築

コミュニケーションの語源はラテン語のcommunicareで、「分かち合う」という意味です。この学部の魅力はカリキュラムだけではなく、異なる背景を持つ学生たちが互いに刺激を与え合い、高め合っていく「学びの共同体」としての環境が、正課科目・課外活動を問わず整っていることです。世界の分断が広がる現在、人と人をつなぎ、共に分かち合うことのできるコミュニケーション能力がより一層必要とされています。

TOPICS

互いの文化の壁を越えるタンデム・パートナー制度

英語・中国語コースの学生と日本語コースの留学生がペアになり、互いの母語や得意な言語で相手の外国語学習をサポートする制度です。英語・中国語・日本語のほか、留学生の母語であるコリア語やベトナム語を勉強するペアもあり、海外からの留学生が約2割を占める本学部ならではの制度です。

専門分野以外のボーダレスな学びを提供

英語・中国語コースの学生は、他コースの講義系選択科目から6単位まで、日本語コースの学生は英語・中国語コースの講義系選択科目からそれぞれ6単位、合計12単位まで、卒業単位として算入できます。コースの枠を越えて他コースの講義科目を履修することで、専門分野を越えた広い視野と教養を養っていきます。また、日本語コースの伝統文化や現代社会の演習・ワークショップ系科目の一部は、英語・中国語コースの学生も聴講が可能です。

The Institute for the Liberal Arts (ILA)

国際教育インスティテュート

真のグローバルスタンダードへ

幅広い学際的教養を育み、国際社会に貢献できるコミュニケーション能力を培う同志社大学独自のプログラム

同志社大学は教育理念として、「キリスト教主義」「自由主義」と並び「国際主義」を掲げています。「国際教育インスティテュート(ILA)」は、2011年に開設された「国際主義」をより深化させた同志社大学オリジナルの教育課程です。授業はすべて英語で行い、国際的に活躍するために必要な幅広い学際的教養、および国際的コミュニケーション能力を身につけた人物の育成を目指します。

「国際教養コース」は外国人留学生や帰国子女の日本人学生が主な対象で、ILAが独自の入試を実施して、入学者を選抜します。これまで50以上の国・地域の学生が入学し、学位(学士)を取得しています。

履修分野は「日本の社会・文化(Japanese Society and Global Culture)」「日本の経済・ビジネス(Japanese Business and the Global Economy)」「日本の法・政策と国際協力(Japanese Politics and Global Studies)」の3つからひとつ選択しますが、他分野の科目も選択可能で、自分の興味に合わせて幅広い分野を学ぶリベラルアーツ教育を実施します。

「国際専修コース」は同志社大学の学部に所属している学生がILA科目を履修し、ともに授業を受けるもの。日本にいながら、多様なバックグラウンドを持つ学生たちとの学びを通じてグローバルな感覚を身につけることが可能です。

授業は少人数のディスカッション形式が中心で、教員と学生がパートナーシップを築き、一緒に知識を深めていきます。ディスカッションを円滑に行うためには、事前に課題を調べ、自分の意見を持つことが大切になります。この授業を通じて、自ら疑問を設定できるクリティカル・リテラシーを育んでいきます。

ILAオリジナル
サイト

ILAオリジナル
パンフレット

[学士課程のリベラルアーツプログラム]

国際教養コース

The Liberal Arts Program

point 1

外国人留学生・帰国子女の日本人学生が主な対象
（国内高校卒業者もOK）

point 2

ILAが独自の入試を実施
（入学時期は4月・9月）

point 3

ILA科目のみで学位[学士（国際教養）]を取得

国際教養コース在籍者の国籍等

特色

ILAのカリキュラムに基づいて、英語で行われる授業を4年間履修することで学士（国際教養）を取得することができます。専門教育ではなくオールラウンドな高等教育を目指しているため、特定の分野に偏るのではなく、さまざまな分野に関心を抱かせるシステムです。

所属（学部・学科）は、出願時の希望と入学試験により、合格時に大学が指定しますが、カリキュラムや学位の種類は所属にかかわらず共通です。

カリキュラム

重点的に履修する分野を分かりやすくするため、所属と関連づけて「Japanese Society and Global Culture」「Japanese Business and the Global Economy」「Japanese Politics and Global Studies」の3つのコンセントレーション（分野）を設定していますが、複数のコンセントレーションの科目も学ぶことができます。

Japanese Society and Global Culture Concentration
文学部・社会学部

Japanese Business and the Global Economy Concentration
経済学部・商学部

Japanese Politics and Global Studies Concentration
法学部・政策学部

これまでの卒業生の進路先内訳

大学院進学	就職・起業
30%	70%

[異文化交流で相互理解を深めよう！]

国際専修コース

文学部／社会学部／法学部／経済学部／商学部／政策学部

The International Specialization Program

point 1

学部ごとに選考された日本人学生を対象

point 2

世界各国の留学生とともに学べる

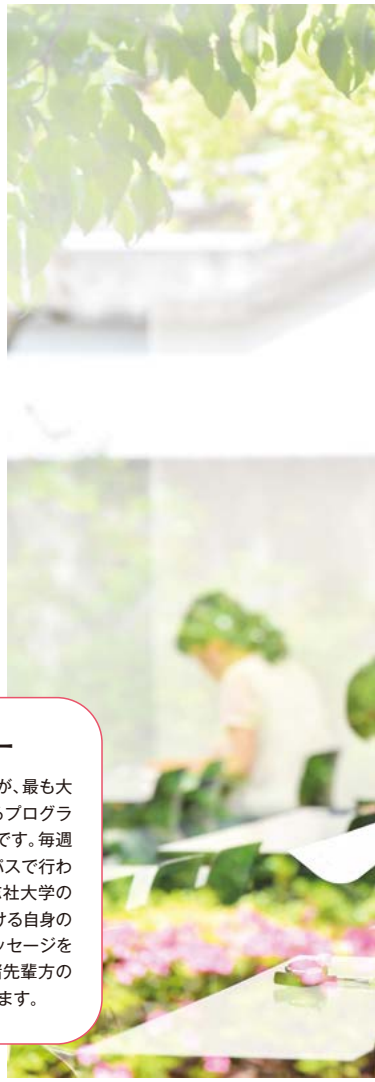
特色

所属学部のカリキュラムに基づき、学部科目に加えてILA科目も履修することができます。

対象者の選考方法は学部により異なりますので、詳細は志望学部へお問い合わせください。

4Years
同志社大学での学び
CAMPUS LIFE

※本特集は4年間のモデルケースです。それぞれの制度やイベントの詳細は各サイトなどを確認してください。



入学前

オープンキャンパス

オープンキャンパスは入試や大学での学びについて知ることができる機会です。実際にキャンパス内を歩き、大学での4年間を想像してみてください。

学部入試情報サイト

1 First-year 入学・イベント参加

チャペル・アワー

「キリスト教主義」の大学である本学が、最も大切な時間として学生に提供しているプログラムの1つがチャペル・アワー（礼拝）です。毎週3～4回、今出川・京田辺両キャンパスで行われており、「キリスト教・聖書」「同志社大学の建学の精神・歴史・人物」「人生における自身の経験や考え」などをテーマにしたメッセージを通じて、様々な分野の方や本学の諸先輩方の貴重な人生経験に触れることができます。

クラブ・サークル勧誘活動

4月 入学式／クラブ・サークル勧誘活動

入学式以降、学友団（大学公認のクラブ・サークルを統括する学生組織）が指揮を執り、両校地で多くのクラブ・サークルが勧誘活動を行います。体育系や文化系など様々なクラブ・サークルの中から、自分に合った団体を見つけましょう。クラブ・サークルを含む課外活動は、みなさんに多くの気付きを与え、社会に出るために必要なスキルや考え方を学ぶ機会となります。

入学式後、いよいよ大学生活がスタートします

「良心教育」の伝統は、現在も同志社大学に受け継がれています

Doshisha Spirit Week

毎年、春・秋学期開催のDoshisha Spirit Weekは、「同志社を学び、知る」イベントです。チャペル・アワー（礼拝）のほか、建学の精神や創立者新島襄についての講演、同志社大学應援團の演舞、キャンパスめぐりなど、さまざまな企画をとおして、母校と創立者への理解を深め、同志社人としてのアイデンティティを高める期間となっています。

5月 同立戦

同立戦とは同志社大学と立命館大学の運動部などによる対戦のことです。その歴史は1930年の硬式野球部の対戦まで遡ります。春季（5月）と秋季（10月）の対戦前には前夜祭が行われるなど、「伝統の一戦」は大いに盛り上がります。

硬式野球部の「同立戦」の様子

課外活動情報

7月 期末試験

同志社大学は春学期と秋学期の2学期制です。春学期の期末試験は通常は7月中旬から。今出川・京田辺の両校地とも、試験前は図書館やラーニング・コモンズが通常より賑わいます。試験後は、9月上旬頃まで夏期休暇に入ります。

8月 クラブ・サークル合宿

同志社大学では約250のクラブ・サークルが活動しており、この時期には、各団体がスキルアップや団体内の交流を深めることを目的に各地で合宿を行います。自分たちで目標を立て、合宿地を選んで、スケジュールを立てる。これも学生による自主活動の醍醐味です。

9月 秋学期開始

夏の暑さが徐々に和らぐころに秋学期が始まります。大学生活にも慣れてきたころですので、改めて自身の今後の「学び」など、将来へ向けての準備について考えてみましょう。スポーツフェスティバルや大学祭など、イベントも多く、あっという間に日々が過ぎていきます。

11月 同志社クローバー祭／同志社EVE

京田辺校地では、学生、教職員、京田辺市民の交流の場として同志社クローバー祭（10月下旬または11月上旬）が開催されます。今出川校地では、同志社創立記念日（11月29日）を祝う行事として「学生の自主管理・自主運営」と「団体の活動の発露の場」という活動理念のもと、同志社EVEが開催されます。いずれもテント出店、教室出店、ステージでのパフォーマンスなど、見所が盛りだくさんです。

京田辺キャンパスのラーネッド記念図書館

同志社クローバー祭での花火

京田辺校地で行われたクローバー祭の様子

今出川校地で行われた同志社EVEの様子

奨学金情報

奨学金

平澤りさ子さん

商学部を選んだのは「フレックス複合コース」という公認会計士の資格取得に集中できるコースがあるから。奨学金の制度を利用して専門学校にも通うことができましたし、アルバイトをせず、試験勉強に集中できました。大学では社会の現場の話を聞くこともでき、公認会計士の在り方や考え方など、知識や知見などを広く知ることができました。あらゆるジャンルを広く学べ、いろんな人と触れ合えるのが同志社大学の魅力です。

上野暖登さん

新島塾というプログラムで約2年間学び、さまざまな問題について議論しました。この経験を通じて、勉強するのはよりよく生きるためだと認識を新たにしました。大学では育英奨学金を利用し、学術書や洋書など関心のある分野の書籍を購入することができ、より深い学びの日々を過ごせました。卒業後はメディアで仕事をし、格差の問題など社会の課題について伝え、よりよい社会の実現に寄与したいと考えています。

2 Second-year
プログラム参加・世界を広げる

新島塾

4月 新島塾入塾

新島塾とは同志社大学独自のリーダー養成教育プログラムで、選抜を経て2年次から1.5年間プログラムに参加します。学部の垣根を越えた対話・討論を通じて、複合的視点で考察するなどリーダーに必要な素養を身に付けます。

新島塾合宿プログラムの様子

7月 祇園祭

祇園祭は平安時代の869年、多数の死者を出した疫病の退散を祈って66本の矛を神泉苑に立て、神輿を担いで参集したのが起源といわれています。古都・京都には、長い歴史を感じさせる行事、神社仏閣がいまも残り、「学び」の対象にもなっています。

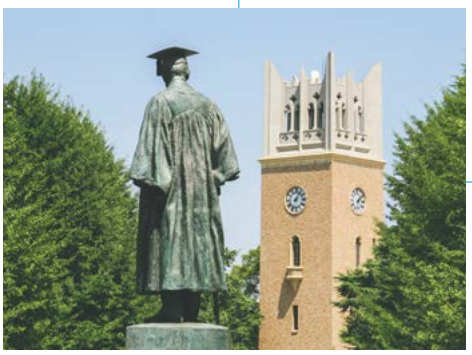
日本三大祭のひとつにも数えられる祇園祭。山鉾巡行は1カ月にわたって行われる祭のメインイベント

他大学との連携

早稲田大学との学部学生交流はそれぞれの学生を1年間、または半年間の派遣・受け入れを行い、単位を認定する制度です。ほか、同志社女子大学との単位互換制度のほか、京都を中心に約50の大学・短期大学が提供する科目を学ぶ「大学コンソーシアム京都単位互換」制度などもあります。

他大学との連携

早稲田大学との学生交流ほか多様な制度を用意しています



8月 寒梅館夏祭り／五山送り火

小学生や地域の方々を対象にした夏祭りを寒梅館で開催します。また、お盆のころに行われる五山送り火は、京都の夏の風物詩となっています。

「左大文字」の送り火は今出川校地の建物から見えることも

多彩な海外留学制度

国際主義を教育理念の一つとして掲げる同志社大学は、留学や国際交流を重視しています。海外協定大学への派遣留学生制度（6カ月～1年間）のほか、ドイツのテュービンゲン大学内にある同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで学ぶEUキャンパスプログラム（約5カ月）など、短期（約1カ月）から長期まで多様なプログラムを用意しています。

留学制度紹介

EUキャンパスプログラム

留学

上野 茜さん

EUキャンパスプログラムと派遣留学（ドイツ）に参加しました。前者では語学力向上や海外を知ること、後者ではローカルに生活することを目標にしました。派遣留学の際は、学問に集中するだけでなく学生オーケストラに参加し、ドイツという「外国」が他者でなくなり自己に内面化していくのを感じました。留学は大変なこともたくさんありますが、今後の学問やキャリア等人生に作用する経験を得て自分を大きく変え成長させることができる機会です。

11月↓12月 クリスマス・イルミネーション点灯式／同志社京田辺アドベント礼拝

京都の冬の風物詩として広く親しまれているクリスマスツリー点灯式は、毎年両校地で行われ、多くの人が集います。2019年度まで開催された「同志社京田辺クリスマス燭火讃美礼拝」に代わり、2023年度より新たに「同志社京田辺アドベント礼拝」が行われています。地域の方々と学生、教職員がともに作りあげる大切な行事として揺るぎないものとなっていくことが期待されます。

今出川キャンパス ツリー点灯式

ピアサポーター

ピアサポーター

吉村 翼さん

京都にあることに加え、国際色豊かな大学に進みたくて同志社大学を選びました。入学後、ピアサポーターという留学生の学生生活のお手伝いをするパートナーに登録して活動しました。最初は担当している留学生との一対一の関係だったのですが、どんどん人の輪が広がり、世界の文化や考え方を知る良い機会になりました。同志社大学は何かを得るために挑戦する機会が数多く与えられ、行動を起こせば必ず面白いことが起きる大学です。

3 Third-year 進路選択・力をつける

4月 インターンシッププログラム

3年次生から就職活動への準備も本格化していきます。同志社大学では、1～2年次生向けのキャリア体感プログラムや3年次生向けの同志社オリジナルインターンシップのほか、正課科目として企業と連携した「キャリア形成とインターンシップ」などを設置。就職活動に活かせる教育プログラムが充実しています。

函館キャンプ

変革の時代に青年期を過ごした新島襄は、諸外国に触れたことがきっかけで国禁を犯して脱国します。脱国当時21歳だった新島襄の思いや生き方に触れながら、多様な参加者と脱国の地、北海道函館市を訪れることで、同志社で学ぶことの意味や自分自身を見つめ直すこと、そして新しいことにチャレンジする意志や夢を言語化することを目的にプログラムを開催しています。

普段とは異なる環境で、学部や学年を超えた絆が得られます

函館キャンプ

10月 資格サポート

裁判官、検察官、弁護士、公認会計士、税理士、中小企業診断士などの資格取得をめざす学生のために、課外講座を開設しています。また、教職免許の資格取得をめざす学生のために、両校地に教員養成サポート室を設けています。教員採用試験対策講座、集団面接練習会、模擬授業練習会のほか、個別指導も実施しています。

※教職、博物館学芸員、図書館司書、学校図書館司書教諭、学校司書の資格サポートは免許資格課程センターまで。教職免許等の資格取得は1年次生から計画的に履修することをおすすめします。

免許資格課程センター

11月 ホームカミングデー

ホームカミングデーは、卒業生に友人や教職員との旧交を温めてもらうほか、同志社大学の「いま」を知ってもらう日で、毎年11月に開催されます。在学生による催しもあり、多くの卒業生が今出川キャンパスを訪れます。

ホームカミングデー

当日は多数の卒業生が集まり、旧交を温めます

3月 就職活動

就職活動が本格化する時期です。キャリアセンターでは、企業情報提供のほか、自分のキャリアについてなど就職に関する疑問、困りごとなどをサポートする体制が整っています。

キャリアセンター

就職関連プログラムも豊富にそろっています

4 Fourth-year 就職・大学院進学

5月 教育実習

教職免許の取得を目指す学生の多くは、4年次生の5～6月に2～3週間の教育実習を行います。自身の母校で実習を行うのが一般的です。

11月 同志社大学 外国語honors

外国語honors制度（外国語科目成績優秀者表彰制度）は、高度な外国語運用能力と国際的な視野と見識を備えた人材の育成を目標に、外国語について優秀な成績を修めた学生を表彰する制度で、受賞者には学長表彰と成績証明書への記載を行います。ほかにグローバルに活躍できる人材育成のため「グローバル・リベラルアーツ副専攻」も用意しています。

同志社大学
外国語honors

12月→1月 卒業論文

学部、ゼミによって異なりますが、4年次生の12月～1月が卒業論文の提出期限です。論文作成は、4年間の学びの集大成となります。

2月 同志社大学 育英賞表彰式

同志社大学育英賞は、勉学意欲旺盛で、学術、文化・芸術、スポーツ、社会活動において優れた成果をあげ、かつ学業、人物ともに優秀な学部学生を表彰し、奨学金を給付するものです。毎年約100人の学生が受賞しています。

3月 卒業式

4年間の大学生活はこの日が最終日です。学生それぞれが、新たな場所へと旅立っていきます。

留学・国際交流

スマートフォンから
海外留学制度紹介動画が
視聴できます。

海外留学プログラム

同志社大学では、
幕末の鎖国が続く最中に海を渡った
創立者・新島襄の精神が今も生きています。
留学や国際交流を重視し、
できるだけ多くの学生が参加できるよう、
学生の目標やレベルに合わせ、
多彩なプログラムを実施。
奨学金などの支援体制も充実しています。

派遣可能大学数
37カ国・地域 **174**大学
（2025年3月31日現在）

2024年度中に同志社大学の
留学プログラムにより留学した学生数
※留学を卒業の要件として定めている学部も含む 約**1,100**名

同志社大学で学ぶ
留学生数
（2024年5月1日現在）
74カ国・地域 約**1,375**名

［短期］サマープログラム・スプリングプログラム

長期休暇中に、集中的に語学を学びます。

長期休暇を利用して海外で語学研修を行うプログラムです。本学での事前授業と留学先での研修によって集中的に外国語運用能力を高めるとともに、研修先の国の文化・社会への理解を深め、国際的な視野を養います。

サマープログラム

	研修校・研修地	募集人数	研修期間
英語	コーク・カレッジ大学〔アイルランド〕	約15名	8月初旬～9月初旬
	カリフォルニア大学 サンディエゴ校〔アメリカ〕	約20名	8月初旬～9月初旬
	カリフォルニア大学 デービス校〔アメリカ〕	約25名	8月初旬～9月初旬
	ケンブリッジ大学〔イギリス〕	約34名	8月初旬～8月下旬
	ヨーク大学〔イギリス〕	約24名	8月初旬～9月初旬
	ディーキン大学〔オーストラリア〕	約20名	8月初旬～9月中旬
	ゲルフ大学〔カナダ〕	約25名	8月初旬～8月下旬
	トンプソン・リバーズ大学〔カナダ〕	約25名	8月初旬～8月下旬
	オークランド大学〔ニュージーランド〕	約30名	8月初旬～9月初旬
初修	マルティン・ルター大学〔ドイツ〕	約20名	8月初旬～8月下旬
	フランシュ＝コンテ大学〔フランス〕	約20名	8月初旬～9月初旬
	北京大学〔中国〕	約20名	8月初旬～8月下旬
	ラス・アメリカス大学〔メキシコ〕	約20名	8月初旬～9月初旬
	サンクトペテルブルク 経済大学〔ロシア〕	約20名	8月中旬～9月初旬
	延世大学〔韓国〕	約20名	8月初旬～8月下旬

スプリングプログラム

	研修校・研修地	募集人数	研修期間
英語	カリフォルニア大学アーバイン校〔アメリカ〕	約19名	2月中旬～3月中旬
	ヨーク大学〔イギリス〕	約24名	2月中旬～3月下旬
	ホーソン・メルボルン英語学校〔オーストラリア〕	約25名	2月中旬～3月中旬
	オークランド大学〔ニュージーランド〕	約20名	2月上旬～3月上旬
	オタゴ大学〔ニュージーランド〕	約25名	2月中旬～3月下旬
初修	フライブルク大学〔ドイツ〕	約20名	3月初旬～3月下旬
	CAVILAM-Alliance Française （クレルモン・フェラン大学監修）〔フランス〕	約20名	2月中旬～3月中旬
	華東師範大学〔中国〕	約20名	2月下旬～3月中旬
	サラマンカ大学〔スペイン〕	約20名	2月下旬～3月中旬
	慶熙大学〔韓国〕	約20名	3月初旬～3月下旬

※「初修」は英語以外の外国語によるプログラムとなります。
※サマープログラム・スプリングプログラム・セメスタープログラムの内容（研修校・研修期間等）は変更となる可能性があります。
※サマープログラム・ロシア語（サンクトペテルブルク経済大学）は隔年で実施しており、最終実施は2018年度です。

［短期］海外フィールドワーク科目

国際教養教育院が提供する海外フィールドワーク科目は、語学研修ではなく海外での現地研修を通して多様な価値観を学び、国際的な教養を身につけることを目的としています。現地研修に先立って本学で事前授業を受け、帰国後には報告・総括を行います。

Freshman “Go Global” Program

研修校・研修地	募集人数	研修期間
日系企業、学校施設等〔ベトナム〕	約25名	3月上旬～3月中旬
同志社大学テュービンゲンEUキャンパス、 日系企業等〔ドイツ、ベルギー、フランス〕	約25名	2月下旬～3月上旬

Mid-college “Be Strong” Program

研修校・研修地	募集人数	研修期間
政府関係機関、学校施設等〔アメリカ〕	約15名	8月中旬～8月下旬

[中期]セメスタープログラム(英語)

約4カ月間の滞在で、じっくり英語を学びます。

秋学期1セメスターのうち約4カ月間、海外で英語研修を行う留学プログラムです。春学期の事前授業で、研修先の国・地域の文化・社会や歴史への理解を深め、秋学期に外国語教育に定評のある海外の教育機関で集中的に英語研修を受け、英語の運用能力を高めます。じっくり英語を学びたい方、長期留学を目指す方に人気のあるプログラムです。

セメスタープログラム(英語)

研修校・研修地	募集人数	研修期間
ディーキン大学〔オーストラリア〕	約30名	8月中旬～12月中旬
ハワイ大学マノア校〔アメリカ〕	約30名	8月下旬～12月下旬

[中期]EUキャンパスプログラム

約5カ月間、ドイツの同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで学びます。

ドイツのテュービンゲン大学内に設置した「同志社大学テュービンゲンEUキャンパス」で開講する教育プログラムです。

春学期には、ドイツ語の運用能力向上を主目的とした「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」、秋学期には、英語でドイツやヨーロッパへの学びを深める「ヨーロピアン・スタディーズEUキャンパスプログラム」を開講しています。

プログラム	募集人数	研修期間
ドイツ語・異文化理解 EUキャンパスプログラム	約15名	3月初旬～8月初旬
ヨーロピアン・スタディーズ EUキャンパスプログラム	約15名	9月初旬～1月下旬(最長)

[長期]外国協定大学派遣留学生制度

6カ月～1年間で異文化理解と交流を深めます。

同志社大学は、37カ国(地域) 174大学(2025年3月31日現在)と学生交換協定を締結しています。外国協定大学派遣留学生制度はこれらの協定校に半年間または1年間留学するプログラムで、現在300名以上を海外の協定大学へ派遣することが可能です。所属学部にかかわらず出願でき、留学中も同志社大学に在学することになり、4年間で卒業することも可能です(留学先大学の授業料は原則として免除)。留学先では現地の学生と同様に専門科目を履修できます。

▶ 各プログラム詳細

▶ 海外留学ロードマップ

留学を支えるさまざまなサポート

奨学金制度

本学では「同志社大学外国派遣留学促進のための奨学金」を設けています。短期・中期の留学プログラムや長期の派遣留学により留学する学生が対象です。この奨学金制度によって留学費用の負担を減らし留学への道を開くサポートをしています。

語学力向上

本学では、正課科目以外にも、課外で各種語学試験の対策講座を開講しています。また、学内でTOEFL ITP®テストを年間7回実施している他、留学申請を目指して外部語学試験を受験した場合に受験料の半額を補助する等、学生の語学力向上を支援しています。

留学相談

留学に関する豊富な知識を持った留学コーディネーターをラーニング・コモンズ(今出川)または国際課(京田辺)に配置しています。留学にあたって、どこから取り組めば良いのか、費用や準備のことなど、あらゆる疑問・質問や不安に対して適切なアドバイスを行っています。

アーモスト大学への派遣留学生制度

アーモスト大学への派遣留学生制度は、「新島スカラー」(同志社の創立者・新島襄を記念してアーモスト大学が1954年に設立)、「同志社新島スカラー」(寄付金の一部を利用して同志社が1984年に設立)の2種類があり、隔年で実施されますので、事実上毎年1名をアーモスト大学に派遣するもので、アーモスト大学の3年生に正規学生として編入する制度です。応募資格は同志社大学または同志社女子大学の3年次または4年次在学生、同大学院博士課程(前期課程)在学生、修士課程在学生、専門職学位課程在学生です。留学期間は2年間となっており、アーモスト大学の学位(BA)が取得できます。また、その間の授業料、寮費、食費、学生活動費相当額の奨学金が支給されます。

奨学金制度

詳しい出願期間、出願方法に関しては、
本学webサイトの「奨学金」の
ページをご確認ください。

安心して学ぶために

同志社大学では、経済的な理由により修学困難な学生が安心して学業に専念できるよう、大学独自の奨学金制度や日本学生支援機構奨学金、民間・地方公共団体奨学金など、多種多様な奨学金制度により支援を行っています。

現在、本学学部生の4人に1人が何らかの奨学金を受給しています。また、大学院生のための奨学金制度※も充実しています。

※詳細は別冊子『同志社大学大学院案内2026』を参照してください。

同志社大学奨学金制度一覧

入学前に募集する奨学金

名称	種類	金額	対象		採用(※1)[出願]	出願期間	採否決定	備考
			家計基準(※2)	成績基準				
民間団体奨学金(入学前募集)	給付または貸与	各奨学団体により異なる	学業・人物ともに優秀で、経済的な理由により修学が困難な者		19	2月上旬～2月下旬	5月中旬～	返還:貸与の場合は各奨学団体により異なるが卒業後10～15年以内

入学後に募集する奨学金

高等教育の修学支援新制度(※2)

名称	種類	金額	対象		採用(※1)[出願]	出願期間	採否決定	備考
			家計基準	成績基準				
日本学生支援機構給付奨学金	給付	給付額、減免額は世帯収入により異なる 詳しくは、本学webサイトの「奨学金」のページを参照	詳細は文部科学省、日本学生支援機構のwebサイト、本学webサイトの「奨学金」のページを参照	1年次:次のいずれかに該当する者 ①高校等の評定平均値が3.5以上 ②入学試験の成績が上位1/2以上 ③高校卒業程度認定試験合格者 ④学修の意欲等が確認できる(※3) 2年次以上:次のいずれかの該当者 ①GPA(平均成績)等が学部・学科上位1/2以上 ②修得単位数が標準単位数以上で、かつ学修の意欲等が確認できる(※3)	332 [463]	4月上旬～5月上旬(予定) 9月中旬～10月中旬(予定) 家計が急変した場合は随時対応	7月上旬(予定) 12月(予定)	他に国籍・在留資格等に関する要件、大学等に進学するまでの期間等に関する要件あり。 給付期間(もしくは授業料減免期間):標準修業年限まで。ただし継続にあたり毎年学業成績・学修意欲、経済状況についての審査あり。 本制度による支援を受ける者は、日本学生支援機構貸与奨学金(第一種)の貸与金額が制限される場合がある。
授業料等減免	授業料等減免							

大学独自の奨学金

名称	種類	金額	対象		採用(※1)[出願]	出願期間	採否決定	備考
			家計基準	成績基準				
同志社大学奨学金	給付	神、文、社会、法、経済、商、政策、グローバル地域文化学部:年額300,000円 文化情報、スポーツ健康科学部:年額320,000円 理工、生命医科学部:年額430,000円 心理、グローバル・コミュニケーション学部:年額340,000円	2024年度採用実績 本人と生計維持者の支給額算定基準額の合計が154,500円未満であること(※4)	1年次:入学をもって基準を満たす 2年次以上:学部・学科上位1/3以内かつ所定単位数以上を修得	191 [272]	8月～9月中旬(予定)	11月中旬(予定)	給付期間:1カ年限り(毎年出願可) 外国人留学生は出願不可 「高等教育の修学支援新制度」との併給には条件があります
同志社大学修学特別支援奨学金	給付	年額200,000円	災害・病気または不慮の事故等で家計支持者が死亡または後遺症により就労不能となった場合、災害等により住宅が半壊以上の被害を受け、家計が急変した場合。 日本学生支援機構第二種奨学金家計基準内であること。	1年次:所定単位数以上を修得 2年次以上:学部・学科上位2/3以内かつ所定単位数以上を修得	6 [6]	8月～9月中旬(予定)	11月中旬(予定)	給付期間:1カ年限り 出願:事由発生から1年以内であること
同志社大学育英奨学金	給付	年額300,000円	学術、文化、スポーツ活動等に優れた成果をあげ、かつ、学業、人物ともに優秀な者		100	公募及び学部推薦(学部により異なる)	1月中旬(予定)	給付期間:1カ年限り(毎年出願可)
同志社大学寄付奨学金	給付	年額100,000円	学部長等に推薦された学力・人物ともに優秀な者		16	公募はしない	5月下旬(予定)	給付期間:1カ年限り(推薦制)
同志社大学短期貸付金	貸与(無利子)	①一般貸付 30,000円以内 ②特別貸付 100,000円以内	やむを得ない事情で、一時的に生活費支弁が困難になった者		①0 ②0	緊急の場合随時対応		返還:一般貸付の返還は3カ月以内、特別貸付は10カ月以内の月賦による

学外の機関等による奨学金

名称	種類	金額	対象		採用(※1)[出願]	出願期間	採否決定	備考
			家計基準	成績基準				
日本学生支援機構第一種奨学金	貸与(無利子)	月額20,000～64,000円 ※入学年度により異なる	日本学生支援機構のwebサイトを参照	1年次:高校成績評定平均値3.5以上 2年次以上:学部・学科上位1/3以内かつ所定単位数以上を修得	一種 132 二種 351 [492]	4月上旬～5月上旬(予定) 9月中旬～10月中旬(予定) 家計が急変した場合は随時対応	7月上旬(予定) 12月上旬(予定)	標準修業年限まで貸与 外国人留学生は出願不可 第二種奨学金の金利の種類は、利率固定方式、利率見直し方式がある。利率の上限は3%。
日本学生支援機構第二種奨学金	貸与(有利子)	月額20,000～120,000円 ※入学年度により異なる		1年次:入学をもって基準を満たす 2年次以上:所定単位数以上を修得				
同志社校友会奨学金	給付	年額300,000円	成績優秀かつ経済的支援を必要とする2年次生以上の者		50	公募はしない	2月下旬	1カ年限り(推薦制)
民間・地方公共団体奨学金	給付または貸与	各奨学団体により異なる	各奨学団体により異なる。学業・人物ともに優秀で、経済的な理由により修学が困難な者		106	大学推薦団体は8月～9月中旬 公募団体は3月下旬より随時		大学推薦団体分は同志社大学奨学金と同時に募集(民間団体奨学金のみの登録可)。

※1)採用者数[出願者数]は2024年度実績。同志社大学奨学金は採用人数に限度があるため基準内であっても採用されない場合があります。
※2)2025年度より多子世帯への支援が拡充されました。
※3)学修の意欲や目的、将来の人生設計等を学修計画書により確認します。
※4)支給額算定基準額＝課税標準額×6%－(市町村民税調整控除額＋市町村民税調整額)(100円未満切り捨て)

学生支援

キャンパスライフをサポート

「学生を丁重に扱いなさい」「学生の個性を伸ばしてあげなさい」と教職員に説いた創立者・新島襄の精神に則り、学生一人ひとりの生活や各自の成長を丁寧にサポートできる総合的な体制を整えています。

学生支援センター HP

課外プログラム

学生支援センターでは、学生生活をより充実したものにするため、さまざまなセミナー・プログラムを開催しています。セミナーやプログラムへの参加を通じた実体験や、色々な世代や考え方の人とのコミュニケーションにより、自身の考え方や価値観、視野を広げることができます。

函館キャンプ

創立者新島襄が1864年に国禁を犯して脱国した地、北海道函館市を3泊4日で訪れます。新島襄の生き方に触れ、人と人との触れ合いの中で自分自身を見つめ直します。

CLAP

演劇・音楽などのワークショップを学期ごとに行う体験型プログラム。ふだん挑戦する機会のない人でも観る立場から表現する立場へ。締めくくりには成果発表会を開催します。

WOT

寒梅館ハーディーホールにて、映画上映やコンサートなど多彩なイベントを開催します。

他にもプログラムを展開しています。詳しくはこちら

クラブ・サークル活動

同志社大学には160以上の公認団体(p84参照)と約90の登録団体があります。スポーツ系や文化系など幅広い選択肢の中から自分の興味に合わせて活動や団体を選ぶことができます。

D-Live(課外活動webサイト)

クラブ・サークル情報を中心として課外活動の「今」を配信します。試合やイベント、クラブ紹介などに加え、課外プログラムの映画・LIVE情報まで満載です。

詳しくはこちら

なんでも相談 学生支援課

困ったことがあった時や、どこに相談したらよいのかわからない時には、学生支援課でお話をお聞きしますので、気軽に相談してください。ご相談の内容により、学内外の専門部署の紹介・連携やアドバイスを行います。

障がい学生支援・SOGI相談

スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室

身体、精神・発達等に障がいのある学生が、学生生活を送る上で必要かつ適切な支援と機会を得られるよう、授業保障、情報保障を中心に様々な支援を行っています。また、多様な性的指向・性自認をもつ学生の相談を受けつけています。

修学における支援や、障がい学生をサポートするサポートスタッフ、ジェンダーやセクシュアリティに関する相談や質問がある方は、当室にお気軽にお越しください。

学生相談 カウンセリングセンター

充実した学生生活を送るためには、心身ともに健康であることが大切です。大学に入学したばかりの学生は、一人暮らしを始め自分で判断しなければならないことが増えるなど、これまでと比べて、環境が大きく変わります。それによって、色々な悩みが生じるかもしれません。そこで本学では、今出川・京田辺両校地に「カウンセリングセンター」を設け、学業や将来の進路、対人関係や健康などについて、学生生活を送る上での様々な相談や質問を受けつけています。専門のカウンセラーがお話をうかがい、必要に応じて学内の他部課や学外の機関を紹介することもできます。もちろん個人の秘密は厳守されるため、安心して相談してください。

相談内容(例)

- 修学に関すること
- 将来の進路に関すること
- 対人関係に関すること
- 心身の健康に関すること
- 生活全般に関すること
- 発達障がいに関すること

ボランティア支援 ボランティア支援室

ボランティア支援室では、ボランティア活動への参加を通じて、学生が市民社会の構成員であることの自覚を持つこと、社会のニーズや直面している問題を「自分ごと」として捉えられるようになることなど、様々な「気付き」を促すための支援に取り組んでいます。また、実社会において活躍する幅広い世代・分野の人々との交流を通じて、自己成長・自己発見することができるよう、学生のボランティア活動を全面的にバックアップします。

また、学生／大学と地域の連携・交流・つながりをさらに発展させることで、地域活性化や地域と大学の顔の見える関係づくりを目指します。

健康管理 保健センター

保健センターでは、心身ともに健康な学生生活が送れるようサポートしています。主に次のような業務を行っています。

❶**定期健康診断**
疾病の早期発見や健康の維持・促進を目的に、毎年1回実施しています。

❷**健康管理**
定期健康診断の結果を基に再検査、精密検査および診療を行っています。

❸**健康相談**
心身に関わること、薬、医療について様々な相談に対応しています。

❹**精神保健相談(予約制)**

❺**診療**
月～金曜日の午後、内科の診療を実施しています。

❻**「健康診断証明書」の交付**
奨学金、教育実習、進学、就職などに必要です。

❼**応急処置**
軽い怪我などの処置や、体調不良で静養を希望する場合に対応しています。

❽**救急**
学内での体調不良や痛み等による症状で自ら来所できない場合は看護師が出向きます。

生活支援

学生が安心して学生生活を送れるよう、健康面から住居に至るまで幅広い支援を展開。
あらゆる問題を解決するため、窓口での相談に応じています。

下　宿

本学学生の約4割が下宿生活をしています。新入生は講義を受ける校地の周辺地区に下宿するケースが多く見られますが、クラブ活動やアルバイトなどの関係から、両校地の中間点である宇治、城陽、伏見地区や通学に便利な地下鉄沿線に下宿している学生もいます。学生生活課では、修学援助の一環として経済的負担が少なくてすむアパート、一軒家(間借り)などの物件を業務委託により紹介しています。

学生教育研究災害傷害保険

学生の教育研究活動中の災害に対する傷害保険制度で、正課中・学校行事中はもちろん、課外活動中も含めた教育研究活動中のほとんどの傷害事故が補償の対象となっています。本学の正規学生については、大学が保険料を負担し、加入しています。また、特約により通学中の事故、学校施設間の移動中の事故についても補償の対象となっています。

健康関連の取り組み

本学の正規学生を対象に、歯科検診など、学生の健康に関する事業を実施しています。

アルバイト

アルバイトは、学費や留学費用、生活費、小遣いを工面するなど目的は人それぞれですが、同志社大学生以外の様々な世代の人と出会えたり、アルバイトを通して職業観をはぐくむ一助となるなど、貴重な社会勉強の機会といえます。本学学生は、学生アルバイト情報ネットワーク(https://baitonet.jp/doshisha/)から、いつでもどこでもアルバイト情報の検索が可能です。アルバイトをしてみようと考えている方は、学生の本分である学業が疎かになることのないよう十分注意の上、経験してみてください。

厚生施設紹介

クラブ、ゼミ合宿や保養、レクリエーションのための施設として、本学には同志社びわこリトリートセンターと晩晴草堂があります。

2000年秋、滋賀県大津市北小松にオープンした同志社びわこリトリートセンターは、創立125周年記念事業の一環として「キリスト教主義教育・国際交流」のための施設として建設されました。

晩晴草堂は山中湖畔にある徳富蘇峰ゆかりの建物です。自然環境に恵まれた別天地で、思い切りリフレッシュできる施設として、学生や教職員、卒業生に利用されています。

学生寮

同志社大学は、京都市内に複数の学生寮を用意しています。

継志寮は、2021年9月に開設した教育寮です。人種、性別、障がいの有無、文化等の様々な違いや背景を持つ学生が多様な価値観を理解し合い、その違いを新たな創造へと導く力を持つ人物の養成をコンセプトとしています。国内学生と留学生が生活を共にし、多文化共生、地域社会との異世代共生を実践します。寮生は全員Residential Learning Program (RLP)と呼ばれる、地域社会との関わり等を通した実践学習に参加します。

また、ドミトリー・アシスタント(DA)が寮生とともに居住しながら、寮の管理運営の補助にあたるとともに、RLPの関連業務を担います。

詳しくはこちら

継志寮
特設サイト

寮名	入寮資格	定員(人)	寮費(月額)※	寮食	住居形式
継志寮(けいしりょう)	本学学生 ＊在寮期間2年	160 (内訳) 男子フロア 80 女子フロア 80 ＊他に短期留学プログラム用 20	60,000円 ＊入寮時に入寮費として30,000円を徴収	なし	ユニット形式 5つの居室(個室)につき 1つのリビングを共用

※ 寮費には、住居費、水道料金、電気料金、インターネット使用料、寝具リース代が含まれます。

此春寮、松蔭寮は、舎費を低額に抑え、入寮選考では家計審査を実施するなど、学生の経済的支援のニーズにも応えられるようにしています。それぞれの寮の伝統や文化を尊重した運営を行っています。

寮名	入寮資格	定員(人)	舎費(月額)※1	寮食※2	住居形式
此春寮(ししゅんりょう)	本学学生(男子)	36	24,200円※3※4	朝・夕	2年間2人部屋　3年目から1人部屋
松蔭寮(しょういんりょう)	本学学生(女子)	72	28,400円※3※4	夕	2年間2人部屋　3年目から1人部屋

※1) 2025・2026年度の舎費です。
※2) 寮食は希望者の注文制。なお、各寮とも自炊設備もあります。
※3) 各個室にエアコンを設置しています。エアコンを含む居室の電気代を舎費とは別に徴収します。
※4) Wi-Fi環境を整備しており、利用料は舎費に含まれています。

未来への準備

「我が校の門をくぐりたるものは、政治家になるもよし、
宗教家になるもよし、実業家になるもよし、
教育家になるもよし、文学家になるもよし」
これは、創立者・新島襄の言葉です。
自分の進路、さらには自分の人生について判断し、決定を下すのは、
学生自身です。キャリアセンターは、学生が自らの力で
自分の将来について考え、決断し、
道を切り開いていくことができるよう、
学生一人ひとりに寄り添って誠実にサポートしています。

STEP 1
1年次〜2年次
・学生生活の目標設定をする
・社会への認識を深める

キャリア形成支援期

まずは正課・課外のプログラムを通じて、主体的な行動と社会倫理観の大切さを認識し、ライフプランニングや職業観の醸成、能力開発を目指すところからスタート。

- ▶ [正課科目]キャリア開発と学生生活
- ▶ [正課科目]労働市場の動向とキャリア形成
- ▶ [正課科目]公募型キャリア形成[プロジェクト科目]
- ▶ キャリア発見セミナー
- ▶ キャリアデザインセミナー
- ▶ 低年次向けワークショップ
- ▶ 2年次向けキャリアガイダンス
- ▶ 各学部でのキャリアガイダンス
- ▶ キャリア体感プログラム
- ▶ クローズアップ公務員
- ▶ TOEIC® L&R IPテスト
- ▶ TOEIC® L&R IPテスト対策講座

STEP 2
3年次春〜
・将来への目標設定をする
・見識を拡大する

就業体験支援期

STEP1で深めた認識を、実際の現場で体験するプログラムです。興味のある仕事や企業の業務の一端に触れることで、働くことへの意識を高めるとともに、自ら考え行動する力を養い、より明確な将来の目標設定を目指します。

- ▶ [正課科目]キャリア形成とインターンシップ
- ▶ 大学コンソーシアム京都を利用したインターンシップ(全学年対象)
- ▶ 公募型インターンシップ
- ▶ 同志社オリジナルインターンシップ・仕事研究プログラム
- ▶ キャリアガイダンス
- ▶ 自己分析セミナー
- ▶ 仕事研究セミナー
- ▶ 筆記試験対策セミナー
- ▶ エントリーシートセミナー・ワークショップ
- ▶ 面接セミナー・ワークショップ
- ▶ グループディスカッションセミナー・ワークショップ
- ▶ 企業セミナー
- ▶ 公務員講座ガイダンス
- ▶ 学内公務員講座(3年次春より開講)
- ▶ OB・OG交流会(全学年対象)

STEP 3
3年次秋〜4年次
・業界、企業、職種を知り、就職に向けた軸を明確にする

就職活動支援期

自分の目標達成に向けて具体的に行動する3年次秋から本格的な就職支援へと進みます。社会や仕事、自己を知るためのプログラムを通じて、それぞれの目標に合わせたサポートを行います。

- ▶ 就職ガイダンス
- ▶ 自己分析セミナー
- ▶ 仕事研究セミナー
- ▶ エントリーシートセミナー・ワークショップ
- ▶ 面接セミナー・ワークショップ
- ▶ グループディスカッションセミナー・ワークショップ
- ▶ 企業セミナー
- ▶ 学内企業説明会
- ▶ 企業採用選考会(4年次生対象)
- ▶ 筆記試験対策セミナー
- ▶ U・Iターンセミナー(全学年対象)
- ▶ 都道府県別U・Iターンセミナー(全学年対象)
- ▶ 公務員業務説明会/採用説明会(全学年対象)
- ▶ 公立学校教員業務説明会/採用説明会(全学年対象)
- ▶ OB・OG交流会(全学年対象)
- ▶ 内定者座談会(全学年対象)

1年次からのキャリア教育で
就職活動をきめ細かくバックアップ

1･2年次生のときから職業観醸成のためのプログラムを展開しています。「キャリア発見セミナー」「キャリア体感プログラム」では社会で働くことの意味を多角的に考えるきっかけとします。また、自分の将来設計を考える契機とすることを目的としてインターンシップや仕事体験などを全学部生を対象に実施しています。

就職活動のバックアップについても、綿密な年間スケジュールを組み、さまざまな催しを行っています。3年次生への進級時には第1回キャリアガイダンスを実施し、就職活動の具体的な準備をスタート。キャンパスで開催される各種セミナーや先輩たちの就職活動体験記を参考に、業界・企業研究を深めます。また、公務員・教員志望者のためのガイダンスやセミナー、講座を開催しています。

卒業生の就職活動体験談

細川滉平（ほそかわこうへい）

商学部
商学科

内定企業
阪急阪神HD

中学から同志社に通い、自由な気風に加え、さまざまなことにチャレンジできる環境で今後も学びたいと思い、同志社大学に進学しました。商学部を選択したのは、京都の基幹産業ともいえる観光業を学問として捉えようと考えたからです。卒業論文もオーバーツーリズムの傾向がある京都の観光客の心理を分析し、どう分散させるかをテーマにしました。

この業種を志望した理由ですが、子どもの頃から旅行をするのが好きで、大学の4年間でもいろいろなところに出かけました。そこで利用する交通機関はとても重要なインフラであり、その一員となり社会に貢献したいと思うようになりました。

就職活動ではキャリアセンターからさまざまな面でサポートがありました。特に面接に関しては、自分はしっかり話せると思い込んでいたのですが、いざ人前に出ると話せないということを知ることができ、何度も面接の練習をさせていただきました。おかげで自分の思いを伝えることができ、就職活動は少し長引いたのですが、第一志望の阪急阪神HDに決まりました。実は就職活動にあまりいいイメージを持っていなかったのですが、人を頼ることと、諦めないことを学びました。

小学校の卒業文集に鉄道関連の仕事をしたいと書いていたことを思い出し、その夢を実現し、これからは社会に貢献し、多くの人の夢を実現するお手伝いをしたいです。

卒業生の就職活動体験談

柴山雅由（しばやままさよし）

理工学研究科
情報工学専攻

内定企業
トヨタ自動車

医療と工学が融合した分野でいろいろなことが学べると思い、同志社大学生命医工学部を選びました。入学すると自由な雰囲気が満ちていて、「自分のやりたいことができる」と感じたのを今も覚えています。大学院では分野が違う情報工学科へ進学したのですが、その際もさまざまなサポートがあり、スムーズに希望した研究科に入ることができました。

学生時代は大学での学びだけではなく、アルバイトも印象に残っています。ティッシュ配りのアルバイトは対人関係を改善したいと思い始めました。受け取ってもらうために大切なのは、笑顔で明るくいること。これは就職活動でも役立ったかもしれません。また情報系の大学院に進学を決めたのは、プログラミングのアルバイトをしたのがきっかけです。

キャリアセンターでは面接などで先に結論を言うように指導を受け、2日に1度くらい足を運び、これまでの自分を見つめ直す作業を繰り返しました。これは将来の在り方を考えることにつながり、とても有意義な経験ができました。

将来は大学院の時に研究した、誰もがうまく、楽しく運転できる自動車を開発できればと考えています。自分は毎日楽しく生きていくことをモットーにして、何か始めるのにリスクはゼロだと考えています。やりたいことができる、そんな環境が同志社大学にはあります。志を高く持って同志社大学で学んでください。

学生一人ひとりとの個別面談のほか
自宅からでも見られるデータベースを完備

学生との個別面談もキャリアセンターの大きな役割です。各学生からの活動状況の報告や相談を受け、個々の状況に合わせて適切にアドバイスします。企業等での経験豊かなキャリアアドバイザーを配置し、本学で学んだ知識をどのように活かすか、社会でどのような自己実現を目指すか、一人ひとりの希望・特性にふさわしい就職実現を目指してサポートを行っています。

対面での相談だけでなく、オンラインや電話での相談にも対応しています。

就職活動に関する情報が氾濫する中、本学では企業の最新情報を収集・蓄積し、正確でタイムリーな情報を提供しています。企業情報についてはホームページからデジタルライブラリーを利用し、閲覧することができ、キャリアセンター内の資料コーナーでは公務員やU･Iターンなどの様々な情報を収集することができます。また、キャリアセンター独自の情報を提供するwebシステム「e-career」は就職活動の貴重なツールとなっています。

さまざまなキャリア支援

インターンシップ

学生のインターンシップへの関心は年々高まっており、企業・団体によっては採用選考以上の倍率となり選考が実施されることもあります。また、2023年度よりインターンシップの定義が変更され、企業は一定の基準を満たしたインターンシップで得た学生の情報を広報活動や採用選考活動に使用できるようになりました。これを受けて、人気の高い企業ではインターンシップの選考が激化する傾向にあります。

キャリアセンターでは、インターンシップの選考対策として、自己分析、エントリーシート、面接に関するセミナー等さまざまなプログラムを実施して学生を支援しています。

また、正課科目として「キャリア形成とインターンシップ」を設置し、業界、職種への理解を深める機会を提供しています。

※ 一部の学部では、異なる名称で開講しています。

卒業生の就職活動体験談

安福（やすふく）まい

政策学部
政策学科

内定企業
みずほフィナンシャルグループ

政治や行政を中心に幅広い分野を学べる政策学部で、「自分が本気で取り組めること」を見つけたいと思い同志社大学へ進学しました。社会問題について多様な視点から解決法を導き出す政策学部の学びは、とても実践的で、課題解決に必要な知識とスキルをバランスよく磨くことができました。特に「DX人材の育成」というテーマで政策立案コンテストに挑戦したゼミ活動は、課題発見から情報収集、ヒアリング調査、解決策の提案まで、一連のプロセスを通して視野の広がりを実感できました。

就職活動では「自分が成長できる環境」を重視しました。実際に働いている人の声を聞くため、さまざまな業種のインターンシップに参加。その中から金融業界を選んだのは、入社後も学ぶべきことがたくさんあり、自分の知識を顧客に還元できる点に魅力を感じたからです。

インターンシップやOB訪問に関する情報提供、エントリーシートの添削や面接練習など、キャリアセンターのサポートも積極的に活用しました。希望する企業に就職できたのは、活動段階に応じて、スタッフの皆さんの親身なサポートが受けられたおかげだと感謝しています。

卒業後は銀行で法人営業として働きますが、金融の専門知識に限らず、さまざまな分野に関心を持って学び続け、豊富な知識に基づいた提案内容で顧客から信頼される存在になりたいです。

就職支援拠点も整備

関西企業だけでなく、東京本社の企業への就職も多いため、東京と大阪に「東京サテライト・キャンパス」「大阪サテライト・キャンパス」を設置。パソコン利用、証明書の発行、就職情報誌の閲覧、活動中の休憩ができます。

公務員を目指す人への就職支援

官庁や自治体職員による公務員業務説明会（全学年参加可能）の開催や、公務員の採用情報やイベント情報等の提供を行っています。

また、公務員を目指すには採用試験科目の専門的な勉強が必要です。同志社大学では、大手予備校講師が学内に来て講義を行う学内公務員講座を実施しています。同志社大学生に合わせたオリジナルの内容で、外部予備校と比較して低価格で受講することができます。

Uターン・Iターン就職のサポート

地方への就職を目指す際に考えておくべきことや、就職活動の進め方等を説明する「U・Iターンセミナー」や、各都道府県・地域の担当者と交流ができる「都道府県別U・Iターンセミナー」を開催しています。また、各自治体主催のイベント情報の提供や、各自治体が実施している交通費補助等の支援制度に関する情報提供も行っています。

グローバルに活躍したい方へ

将来グローバルに活躍したい本学学生を対象に、キャリア形成を目的として「グローバルキャリアプログラム」（春学期実施・全学年参加可能）を開催しています。国際機関やさまざまな企業でグローバルに活躍されている社会人の方による講演会や、企業が求めるグローバル人材を理解するセミナーなどを通じて、有意義な学生生活を送るヒントを得ることができます。

また、外国人留学生を対象に、日本で就職するための心構えや就職活動の概要を紹介するガイダンスを開催し、早期から就職活動を始められるよう支援しています。

障がいや持病のある学生に対するキャリア支援

各種セミナーや低年次生も参加可能なインターンシップなど、学内外の各種機関と積極的に連携し、障がいや持病のある学生のキャリア形成につながる様々な情報や行事を提供しています。また、障がいのあるOB・OGの就職実績や、就活体験談などを参照できるほか、専門スタッフによる個別相談も実施しています。

就職実績

学部	業種別比率 ■メーカー ■流通 ■金融 ■マスコミ・情報通信 ■教育・学習支援 ■サービス ■公共・その他	就職先例
神学部	男子 23.1% 17.9% 15.4% 10.3% 0.0% 7.7% 25.6% 女子 22.8% 14.1% 8.8% 17.5% 3.5% 15.8% 17.5%	▸国家公務員(一般職) ▸滋賀県 ▸海上保安庁(海上保安大学校) ▸西日本電信電話 ▸日本旅行 ▸楽天グループ ▸富士通Japan ▸オムロン ▸京セラコミュニケーションシステム ▸TOTO
文学部	男子 21.2% 11.1% 9.4% 16.9% 7.9% 14.6% 18.9% 女子 20.5% 12.9% 10.3% 12.7% 6.1% 18.0% 19.5%	▸国家公務員(一般職) ▸地方公務員(東京都、京都府、京都市他) ▸教員(京都市、大阪府、大阪市他) ▸全日本空輸 ▸村田製作所 ▸京都銀行 ▸JTB ▸りそなグループ ▸日本通運 ▸日本アイ・ビー・エム
社会学部	男子 24.3% 6.0% 13.3% 17.8% 3.9% 16.4% 18.3% 女子 22.9% 9.8% 12.5% 12.5% 2.8% 17.3% 22.2%	▸京都銀行 ▸第一生命保険 ▸東京海上日動火災保険 ▸TIS ▸三井住友銀行 ▸京都府　警察(警察官・警察事務　等) ▸大阪市 ▸TOTO ▸りそなグループ ▸滋賀銀行
法学部	男子 26.1% 9.3% 16.2% 10.6% 1.5% 11.6% 24.7% 女子 21.4% 6.5% 19.3% 12.9% 2.0% 12.8% 25.1%	▸国家公務員(裁判所職員含) ▸地方公務員 ▸日本銀行 ▸各銀行 ▸各証券会社 ▸各保険会社 ▸各電力会社 ▸各ガス会社 ▸伊藤忠商事 ▸講談社
経済学部	男子 23.1% 9.1% 18.9% 19.3% 1.0% 14.6% 14.0% 女子 22.7% 8.6% 22.6% 12.4% 1.7% 16.0% 16.0%	▸三井住友信託銀行 ▸日本生命保険 ▸みずほ証券 ▸キーエンス ▸住友生命保険 ▸東京海上日動火災保険 ▸アクセンチュア ▸ニトリ ▸三井住友銀行 ▸西日本電信電話
商学部	男子 27.4% 8.9% 19.1% 14.8% 0.8% 16.9% 12.1% 女子 24.3% 12.9% 20.3% 13.0% 1.3% 14.5% 13.7%	▸東京海上日動火災保険 ▸三井住友銀行 ▸みずほフィナンシャルグループ ▸三井住友信託銀行 ▸京都銀行 ▸三菱UFJ銀行 ▸三井住友海上火災保険 ▸日本生命保険 ▸住友生命保険 ▸野村證券
政策学部	男子 24.7% 9.0% 14.3% 15.7% 0.6% 14.9% 20.8% 女子 25.2% 10.2% 19.8% 14.3% 1.6% 13.4% 15.5%	▸国家公務員(総合職・一般職・国税専門官 他) ▸地方公務員(都道府県・政令指定都市 他) ▸キリンホールディングス ▸花王 ▸トヨタ自動車 ▸博報堂 ▸伊藤忠商事 ▸パナソニック ▸島津製作所 ▸TOPPANホールディングス(凸版印刷)
グローバル地域文化学部	男子 26.5% 10.5% 6.8% 20.4% 3.1% 16.7% 16.0% 女子 29.2% 12.0% 8.1% 14.0% 4.6% 17.2% 14.9%	▸全日本空輸 ▸日本航空 ▸スカイマーク ▸アシアナ航空 ▸日本通運 ▸近鉄エクスプレス ▸東日本旅客鉄道 ▸JTB ▸三井物産 ▸伊藤忠商事
文化情報学部	男子 22.5% 8.1% 14.1% 27.8% 1.6% 12.4% 13.5% 女子 19.6% 9.8% 9.8% 27.1% 0.9% 19.4% 13.4%	▸日立製作所 ▸三菱電機 ▸富士電機 ▸オムロン ▸富士通 ▸パナソニック ▸ソニーグループ ▸キーエンス ▸京セラ ▸村田製作所
理工学部	男子 39.8% 4.1% 3.0% 25.2% 1.3% 14.3% 12.3% 女子 51.4% 7.4% 5.6% 15.8% 2.3% 9.6% 7.9%	〈情報系〉 ▸NTTデータ ▸トヨタ自動車 ▸日立製作所 ▸富士通 ▸サイバーエージェント 〈電気系〉 ▸村田製作所 ▸NTTドコモ ▸トヨタ自動車 ▸関西電力 ▸ダイキン工業
生命医科学部	男子 46.4% 7.1% 2.4% 17.3% 3.0% 12.5% 11.3% 女子 49.5% 8.4% 0.0% 22.4% 1.9% 11.2% 6.6%	〈医工学科〉 ▸トヨタ自動車 ▸パナソニック ▸日立製作所 ▸川崎重工業 ▸キヤノンメディカルシステムズ ▸三菱電機 ▸村田製作所 ▸ダイキン工業 ▸LIXIL ▸オリンパス
スポーツ健康科学部	男子 36.6% 11.7% 12.3% 8.7% 1.4% 13.7% 15.6% 女子 35.5% 13.7% 10.9% 6.0% 6.0% 15.9% 12.0%	▸アシックス ▸デサントジャパン ▸美津濃 ▸ナイキジャパン ▸東レ ▸ワコール ▸大塚製薬 ▸サントリーホールディングス ▸Mizkan Holdings ▸ヤクルト本社
心理学部	男子 28.2% 11.7% 8.7% 16.5% 1.9% 19.4% 13.6% 女子 24.4% 12.7% 9.3% 11.7% 1.5% 18.5% 21.9%	▸村田製作所 ▸京セラ ▸サッポロビール ▸小松製作所 ▸豊田自動織機 ▸ダイキン工業 ▸パナソニック ▸ニトリ ▸レンゴー ▸西日本高速道路
グローバル・コミュニケーション学部	男子 33.9% 15.7% 3.5% 17.4% 0.9% 15.6% 13.0% 女子 30.2% 14.0% 6.0% 12.1% 3.8% 20.7% 13.2%	▸キーエンス ▸ダイキン工業 ▸京セラ ▸村田製作所 ▸任天堂 ▸ニトリ ▸旭化成グループ ▸ジョンソン・エンド・ジョンソン ▸資生堂 ▸商船三井

- キッコーマン
- 味の素
- イオンリテール
- スズキ
- 阪急阪神エクスプレス
- 大和ハウス工業
- 北陸銀行
- みずほ証券
- あいおいニッセイ同和損害保険
- ネットワンシステムズ
- 時事通信社
- 京都大学
- 国立病院機構
- 洛和会ヘルスケアシステム
- SOMPO ケア

- ニトリ
- ルイ・ヴィトン　ジャパン
- 積水ハウス
- 日産自動車
- みずほフィナンシャルグループ
- リクルート
- NTT ドコモ
- 京セラ
- 共同通信社
- 日本放送協会
- 日本生命保険
- 西日本旅客鉄道
- パナソニック
- 読売新聞大阪本社
- ダイキン工業

- 村田製作所
- 日本政策金融公庫
- 日立製作所
- 国家公務員（一般職）　農林水産省
- GMO アドバートナーズ
- KDDI
- ヤマハ発動機
- 京都市教員
- 恩賜財団済生会京都府病院
- 寝屋川市社会福祉協議会
- 星野リゾートグループ
- 積水ハウス
- 東海旅客鉄道
- 日本マクドナルドホールディングス
- 朝日新聞社

- ソニーグループ
- トヨタ自動車
- リクルート
- NTT データ
- パナソニック
- デロイトトーマツコンサルティング
- キーエンス
- ニトリ
- 日立製作所
- 京セラ
- ダイキン工業
- 村田製作所
- 博報堂
- 日本航空
- 大塚製薬

- 大和ハウス工業
- みずほフィナンシャルグループ
- 楽天グループ
- オービック
- ベイカレント・コンサルティング
- 三菱電機
- 日本電気
- あいおいニッセイ同和損害保険
- 日本アイ・ビー・エム
- リクルート
- 村田製作所
- パナソニック
- ソフトバンク
- 国家公務員（一般職）
- 地方公務員

- パナソニック
- キーエンス
- 京セラ
- 花王
- 日本電気
- ソフトバンク
- ヤフー
- 楽天グループ
- NTT ドコモ
- 西日本旅客鉄道
- 西日本電信電話
- 監査法人（新日本・トーマツ・あずさ・PwC あらた）
- 国家公務員
- 地方公務員（京都府・京都市・大阪府・大阪市　他）
- Apple Japan

- 任天堂
- 東京海上日動火災保険
- 三井住友信託銀行
- 日本銀行
- ソニーミュージックグループ
- NTT データ
- オムロン
- 日立製作所
- アマゾン・ジャパン
- 楽天グループ
- 日本放送協会
- デロイトトーマツコンサルティング
- 関西電力
- 日本航空
- 三菱重工業

- 三菱UFJ銀行
- みずほフィナンシャルグループ
- 双日
- アクセンチュア
- デロイトトーマツアクト
- 東京電力HD
- トヨタ自動車
- 日本電気
- 富士フイルム
- 住友電気工業
- 日本放送協会
- 松竹
- 国家公務員（JICA、防衛省等）
- 地方公務員（京都府、東京都等）
- 図書館流通センター

- 東京エレクトロン
- トヨタ自動車
- スズキ
- ニコン
- NTT データ
- キリンホールディングス
- 味の素
- 良品計画
- コナミグループ
- 大林組
- 大和ハウス工業
- 積水ハウス
- クボタ
- ダイキン工業
- 地方公務員（大阪府、岐阜県 他）

〈機械系〉
- 三菱重工業
- トヨタ自動車
- 川崎重工業
- 日本製鉄
- 西日本旅客鉄道

〈化学系〉
- 三菱電機
- TOPPAN
- 京セラ
- コニカミノルタ
- ダイハツ工業

〈環境システム学科〉
- ダイキン工業
- 三菱電機
- 本田技研工業
- 西日本電信電話
- 東海旅客鉄道

〈数理システム学科〉
- 三菱UFJ銀行
- りそなグループ
- ゆうちょ銀行
- 三井住友信託銀行
- 関西電力

※半数以上の学生が本学大学院に進学しています。

〈医情報学科〉
- 日本アイ・ビー・エム
- NTT データ
- 日立製作所
- パナソニック
- 島津製作所
- アクセンチュア
- シスメックス
- トヨタ自動車
- 野村総合研究所
- ソニー

〈医生命システム学科〉
- 武田薬品工業
- 大塚製薬
- エーザイ
- 塩野義製薬
- 持田製薬
- 日本イーライリリー
- 森永乳業
- ロッテ
- ニプロ
- テルモ

※半数以上の学生が本学大学院に進学しています。

- オムロン
- キヤノン
- パナソニック
- トヨタ自動車
- 本田技研工業
- 博報堂
- 丸紅
- 三井住友銀行
- 三菱UFJ銀行
- 野村證券
- 日本生命保険
- 綜合警備保障
- 関西電力
- 全日本空輸
- 保健体育科教諭

- 京都銀行
- みずほ証券
- 東京海上日動火災保険
- 大阪ガス
- 森永乳業
- テレビ高知
- 星野リゾートグループ
- 大阪大学
- 社会福祉法人
- 法務省専門職員（矯正心理専門職）
- 法務省専門職員（法務教官）
- 国家公務員（一般職）
- 地方公務員
- 警視庁
- 各都道府県　警察

- ソフトバンク
- 楽天グループ
- アクセンチュア
- 日本アイ・ビー・エム
- リクルート
- 日本航空
- 東海旅客鉄道
- 星野リゾートグループ
- 大和証券
- 三井住友銀行
- 東京海上日動火災保険
- 日本放送協会
- 国家公務員
- 地方公務員
- 英語科教員

※2022年4月採用～2024年4月採用のデータです。　※統合があった会社については、統合前の各会社への就職者数も含めて算出しています。　※企業・団体名は2025年4月1日時点の名称を記載しています。

過去10年間に見る就職者数の上位30社（文科系・理工系別）

文科系

	企業・団体名	2024年4月採用	過去9年間	合計
1	国家公務員（一般職）	49	464	513
2	三井住友銀行	23	347	370
3	京都銀行	37	307	344
4	日本生命保険	26	297	323
5	みずほフィナンシャルグループ	31	291	322
6	東京海上日動火災保険	34	255	289
7	三菱UFJ銀行	3	263	266
8	りそなグループ	27	215	242
9	三井住友信託銀行	24	197	221
10	ニトリ	29	175	204
11	住友生命保険	16	180	196
12	京都市	10	185	195
13	滋賀銀行	17	172	189
13	楽天グループ	5	184	189
15	京都中央信用金庫	10	165	175
16	野村證券	10	163	173
17	明治安田生命保険	4	166	170
18	富士通	10	155	165
19	第一生命保険	12	151	163
19	三井住友海上火災保険	10	153	163
21	国税専門官	4	158	162
22	損害保険ジャパン	10	150	160
23	村田製作所	23	135	158
24	SMBC 日興証券	6	148	154
25	パナソニック	10	141	151
26	京都府	14	135	149
26	大和証券	11	138	149
28	日本郵便	2	144	146
29	関西みらい銀行	5	131	136
30	京セラ	14	117	131

理工系

	企業・団体名	2024年4月採用	過去9年間	合計
1	パナソニック	16	176	192
2	ダイキン工業	22	117	139
3	村田製作所	12	87	99
4	日立製作所	16	80	96
4	トヨタ自動車	13	83	96
6	NTT データ	10	79	89
7	三菱電機	10	73	83
8	富士通	11	69	80
9	京セラ	11	63	74
10	デンソー	8	65	73
11	本田技研工業	4	62	66
12	豊田自動織機	3	60	63
13	日産自動車	6	56	62
14	ローム	14	47	61
15	関西電力	7	53	60
15	川崎重工業	3	57	60
17	野村総合研究所	5	54	59
18	積水化学工業	5	46	51
19	クボタ	8	40	48
19	ダイハツ工業	4	44	48
21	小松製作所	5	42	47
21	メイテック	5	42	47
23	西日本電信電話	3	43	46
24	NTT ドコモ	7	37	44
25	TIS	2	41	43
26	日本電気	2	40	42
27	オリンパス	2	38	40
27	三菱自動車工業	2	38	40
29	シャープ	4	34	38
30	西日本旅客鉄道	5	32	37
30	マツダ	0	37	37

※統合があった会社については、統合前の各会社への就職者数も含めて算出しています。
※企業・団体名は2025年4月1日時点の名称を記載しています。

入学試験

本学の入学試験は、高等学校教育を尊重しつつ、大学教育を受けるにふさわしい能力と適性を備えた人物を公正かつ妥当に選抜することを目的としています。また、多様な学生を求めるため、一般選抜入学試験のほか、大学入学共通テストを利用する入学試験、総合型選抜や学校推薦型選抜、海外修学経験者（帰国生）入学試験、社会人特別選抜入学試験、さらに転入学・編入学試験、外国人留学生を選抜する試験などもあります。

試験の種類・入学試験要項などの入手方法

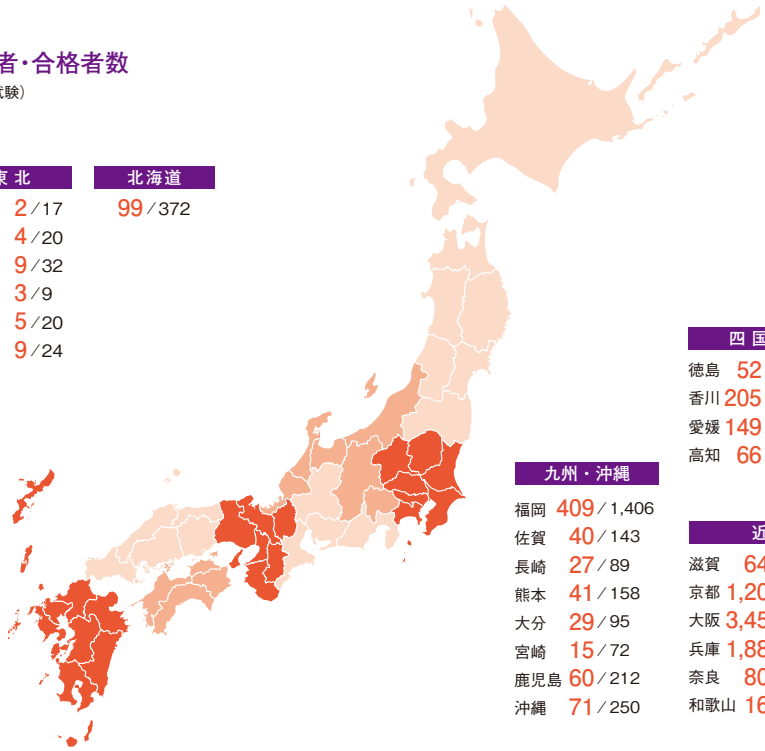
種類	要項発表	料金	入手方法	お問い合わせ先
一般選抜入学試験・大学入学共通テストを利用する入学試験	11月1日（予定）	無料	▶本学webサイトから申し込み ▶本学門衛所（受付）で入手 ▶同志社大学東京サテライト・キャンパス、大阪サテライト・キャンパスで入手	入学センター入学課 TEL：075-251-3210 FAX：075-251-3082 E-mail：ji-nyugk@mail.doshisha.ac.jp
総合型選抜 ・アドミッションズオフィス方式による入学者選抜（AO入試） ・自己推薦入学試験 学校推薦型選抜 ・推薦選抜入学試験	6月1日（予定）			
海外修学経験者（帰国生）入学試験	5月上旬（予定）			
社会人特別選抜入学試験	6月1日（予定）			
第2年次転入学・編入学試験 第3年次転入学・編入学試験				
国際教育インスティテュート入学試験	5月下旬（予定）	無料	▶webサイト「国際教育インスティテュート」からダウンロード ▶国際教育インスティテュート事務室で入手	国際教育インスティテュート事務室 TEL：075-251-3302 FAX：075-251-3304 E-mail：ji-ila@mail.doshisha.ac.jp URL：https://ila.doshisha.ac.jp/ila/en/
外国人留学生入学試験 学部	5月中旬（予定）		▶webサイト「同志社大学への留学を希望される方」からダウンロード ▶webサイト「同志社大学への留学を希望される方」から申し込み ▶国際センター留学生課で入手	国際センター留学生課 TEL：075-251-3257 FAX：075-251-3123 E-mail：ji-intad@mail.doshisha.ac.jp URL：https://intad.doshisha.ac.jp/intad/
外国人留学生入学試験 大学院	6月下旬（予定）			

各入学試験要項は
webでもご確認いただけます。

詳しくはこちら

▶ 都道府県別志願者・合格者数

（2025年度一般選抜入学試験）
合格者数/志願者数



北陸・甲信越

新潟	32／118
富山	89／223
石川	196／432
福井	121／314
山梨	21／140
長野	59／183

東 北

青森	2／17
岩手	4／20
宮城	9／32
秋田	3／9
山形	5／20
福島	9／24

北海道

99／372

東 海

岐阜	319／860
静岡	274／812
愛知	1,614／4,546
三重	236／764

関 東

茨城	44／186
栃木	27／73
群馬	12／54
埼玉	40／150
千葉	36／201
東京	211／792
神奈川	78／326

四 国

徳島	52／155
香川	205／608
愛媛	149／422
高知	66／210

中 国

鳥取	31／153
島根	18／67
岡山	285／725
広島	436／1,310
山口	56／251

九州・沖縄

福岡	409／1,406
佐賀	40／143
長崎	27／89
熊本	41／158
大分	29／95
宮崎	15／72
鹿児島	60／212
沖縄	71／250

近 畿

滋賀	646／1,848
京都	1,208／3,771
大阪	3,452／10,882
兵庫	1,883／5,770
奈良	806／2,651
和歌山	162／459

検定・その他
62／295

▶ 学部入試情報サイト

最新の入試情報、オープンキャンパスや入試説明会といったイベントに関するお知らせなど、受験生に役立つ情報をお届けしています。大学・学部紹介や入試説明、在学生による座談会等さまざまな動画の視聴や各種資料・要項の請求も可能です。

入学センター 入学課 TEL:075-251-3210

詳しくはこちら

▶ 大学入学準備講座

大学で必要とされる学習の質と量を示し、学部選択の参考としてもらうことを目的として、高校生を対象とした「大学入学準備講座」を開講しています。本学の教員が、それぞれの専門分野で扱う内容からテーマを選び、実際の大学の講義を体験していただきます（受講は無料です）。

対象：高校生（主に1・2年生）
日程：7月下旬～8月上旬（予定）　申込受付：7月初旬（予定）

学習支援・教育開発センター TEL:075-251-3277

詳しくはこちら

▶ キャンパスツアー

今出川 同志社の歴史と伝統に触れる

同志社大学の学生ガイドが、今出川キャンパスを案内します。重要文化財である明治建築の建物から、意外なエピソードを秘めた隠れた名所まで、多くの見どころが同志社大学の歴史と伝統を物語っています。

広報部広報課 TEL:075-251-3120

京田辺 恵まれた自然と最先端のキャンパスを見学

京田辺キャンパスは、790,000㎡の広大な敷地に最先端の研究・実験設備や体育施設を備えています。ツアーでは、設備の整った校舎やグラウンドをはじめ、キャンパス内に点在する遺跡群や貴重な出土物を展示する歴史資料館などを学生ガイドがご案内します。

京田辺校地総務課 TEL:0774-65-7007

詳しくはこちら

▶ わたしのサイエンスプロジェクト

中学1年生～高校3年生の主に女子生徒を対象に、同志社大学の施設などにてサイエンスキャンプを実施します。実験講義や工場見学、外国人女子留学生による“科学と英語”講座など、「理系の楽しさ」を実感できる体験型学習を提供しています。

対象：文理選択に迷う女子中高生（男子中高生も応募可）
日程：8月中下旬（予定）
場所：同志社大学　申込受付：6月中旬～7月中旬（予定）

わたしのサイエンスプロジェクト事務局（理工学部・理工学研究科事務室内）
TEL:0774-65-6212

詳しくはこちら

クラブ・サークル

仲間と出会い、人間力を磨く

クラブ・サークルは、自主的な活動を通じて
コミュニケーション力、チームワーク、
対人力、忍耐力、決断力など、
社会で必要とされる人間力を総合的に磨くとともに、
同志社人としてのアイデンティティを
高めるフィールドでもあり、
自治自立をうたう同志社教育の一翼を担っています。

▶ 課外活動団体リスト（公認団体）

体　育　会

体育会本部／スポーツアトム編集局

アーチェリー部／合気道部／アイスホッケー部／アメリカンフットボール部／バドミントン部／馬術部／バレーボール部／バスケットボール部／ボードセイリング部／ボクシング部／ボート部／ボウリング部／フェンシング部／フィギュアスケート部／ゴルフ部／ハンドボール部／居合道部／自動車部／自転車競技部／準硬式野球部／柔道部／カヌー部／空手道部／剣道部／航空部／硬式野球部／弓道部／軟式野球部／日本拳法部／ラグビー部／ラクロス部／レスリング部／陸上ホッケー部／陸上競技部／サッカー部／山岳部／射撃部／少林寺拳法部／ソフトボール部／ソフトテニス部／水泳部／スキー部／相撲部／スピードスケート部／体操競技部／卓球部／テニス部／ワンダーフォーゲル部／ヨット部／トライアスロン部／フットサル部

ス　ポ　ー　ツ　系　団　体

剣練会／卓球同好会／バスケットボールクラブINTENSITY／テコンドー部／拳友会／同志社プロレス同盟／Du&Do バドミントンハウス／硬式テニス同好会／軟式テニス同好会／ラグビー同好会H&T／サッカー同好会三ツ葉キッカーズ／ゴルフ同好会／アルティメットサークル同志社Magic／ハイキング同好会／山岳同好会／ルナティックス・スキークラブ／同志社サイクリングクラブ／ヨットクルージングクラブ／釣研究会（DAS）／FCブルーローバーズ／熱気球チーム

文　化　系　団　体

（準）…準公認団体

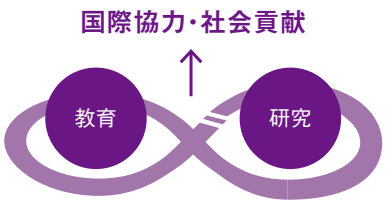
［人文科学研究ブロック］文学研究会／地学研究会／考古学研究会／京都研究会／歴史美術研究会／史跡同好会 ［自然科学研究ブロック］電気情報研究会／星の会／機械研究会／ロボット研究会／天文同好会／同志社大学DERCロケットサークル（準） ［社会科学研究ブロック］同法会／法学研究会／会計学研究会／政治学研究会 ［国際研究ブロック］E.S.S.／グッドサマリタンクラブ／国際経済商学学生協会（アイセック）／国際交流サークルDESA／国際居住研究会／KOREA文化研究会／模擬国連（MUN） ［伝統文化ブロック］茶道部／志清会／書道部／同志社競技かるた同好会 ［写真ブロック］フォトクラブ／カメラクラブ／写真同好会／卒業アルバム委員会 ［芸術ブロック］ART-SOZO／クラマ画会／neuf／陶芸サークル「土夢」／漫画研究会 ［映像ブロック］映画研究会／F.B.I. ［文化系1ブロック］同志社ミステリ研究会／模型研究会／将棋研究会／アニメーション・ヴォイス研究会／SF研究会 ［文化系2ブロック］鉄道同好会／ワーキングコーラス／ユース・ホステル・クラブ／同志社ヒーローショー同好会 ［軽音ブロック］Folk Song Society（F.S.S.）／軽音楽部／軽音楽研究会（I.P.C.）／ライラックレインボーズ／サザン・マウンテン・ミュージック研究会（S.M.M.A.）／とんがりぼうし／フォーク・アライブ・クラブ（F・A・C） ［器楽ブロック］ギタークラブ／交響楽団／マンドリンクラブ／ピアノ研究会／ハンドベル・クワイア ［合唱ブロック］学生混声合唱団C.C.D.／グリークラブ／混声合唱団こまくさ／コールフリューゲル／リーダークランツ／One Voices／同志社学生聖歌隊／同志社ウィメンズクワイア～コールメイプル（準） ［演劇ブロック］第三劇場／演劇集団Q／同志社小劇場／喜劇研究会 ［伝統芸能ブロック］雅楽会／邦楽部／能楽部金剛会／能楽部観世会／能楽部宝生会／能楽部狂言会 ［応援団］指導部／吹奏楽部／チアリーダー部 ［メディアブロック］学生放送局／学生新聞局／学生テレビ局／広告研究会add's ［表現ブロック］マジック＆ジャグリングサークルHocus-Pocus／よさこいサークルよさ朗／Meahula Nohealani／タップダンスサークルShimSham／Soul2Soul

DOSHISHA

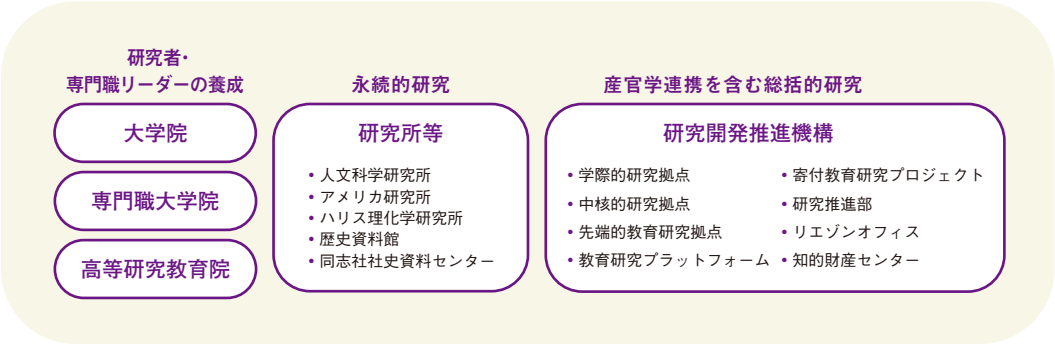
研　究

同志社大学の研究体制［教育とのダイナミズムを形成する］

本学では多彩な教育と最先端の研究のダイナミズムの中で、
新たな世界観、生き方、多様性を創出し、
社会に貢献することができる総合的な人間力を育んでいます。
今出川、京田辺の両校地では濃密に集結する
各分野の最先端研究に触れることができます。



教育と研究のダイナミズム



▶大学院

近年、高度専門職養成の場として社会的役割が増してきている大学院。標準修業年限２年の博士課程（前期課程）および修士課程と、標準修業年限３年の博士課程（後期課程）、標準修業年限５年の一貫制博士課程があります。

大学院一覧
詳しくはこちら

大学院の学びをサポートする制度

- **奨学金制度**…同志社大学大学院奨学金など利用しやすい奨学金制度が用意されています。
- **外国協定大学派遣留学生制度**…外国協定校の大学・大学院に留学できる制度です。留学先大学の授業料は原則として免除されます。
- **関西四大学大学院単位互換制度**…関西大学、関西学院大学、立命館大学での大学院授業科目が履修できる制度です。
- **研修生制度**…修士学位を得た後、さらに高度に能力を高めたいと希望し、許可されれば、研修生として修学を許可する制度を設けています。
- **研究生制度**…博士課程後期課程に６年間、または一貫制博士課程に８年間在学した者が、希望し、許可されれば、研究生として研究指導を受けることができる制度を設けています。
- **長期履修学生制度**…事情により、定められた年限で履修・修了が難しい学生に限り、標準修業年限を超えて履修することを認める制度です（詳しくは各研究科事務室にお問い合わせください）。
- **同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクトについて**…

本学は、国立研究開発法人科学技術振興機構の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の支援を受けて、選抜された博士課程後期課程の学生に対し、研究活動に専念できる環境の整備とキャリア形成に資する各種プログラムの提供を一体的に行う「同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト」を設けています。

このプロジェクトでは、毎年度12月頃に支援対象学生を公募し、次年度に入学予定の博士課程後期課程の学生（一貫制博士課程の場合は次年度に第３年次になる学生）から、自由で挑戦的・融合的な研究に意欲的に取り組む支援対象学生を選抜します。支援対象学生は、博士課程後期課程の第１年次から第３年次（一貫制博士課程の場合は第３年次から第５年次）までプロジェクトの支援を受けることができます。

詳しくはこちら

▶専門職大学院

専門職大学院は、専門分野の高度な知識や技能を持つ専門職として、社会で実務的に活躍するための学びを目的としています。本学では司法とビジネスに関する専門職課程を設けています。

司法研究科（法科大学院）

同志社の法学教育・良心教育の歴史を受け継ぎ、社会のニーズに対応する力を備えた法曹を養成します。司法試験に備える基本七法を、習熟度別クラス編成によりきめ細かく指導しています。高度の専門能力を涵養する展開・先端科目も手厚く指導し、特に、段階的に学び、実地研修を加えた外国法教育、渉外法務分野のカリキュラム・留学支援体制は高く評価されています。法学部との連携により早期卒業を活用した法曹養成についても先駆者の実績を誇り、京都大学法科大学院との連携事業も年々拡充しています。

ビジネス研究科（ビジネススクール）

ビジネス研究科のミッションは、「同志社大学建学の精神である良心教育と京都に育まれた伝統と革新の知恵に基づき、人間の尊厳を尊重し、企業や組織の成長を担えるリーダーシップを備えた人物を養成する」というものです。

ビジネス研究科には、社会人を対象としたビジネス専攻（専門職学位課程）と、英語で学位を取得できるグローバル経営研究専攻（修士課程）があります。ビジネス専攻では、幅広い専門分野をカバーし、大阪での受講も可能です。グローバル経営研究専攻では、これまでに世界92ヵ国から留学生を受け入れており、両専攻ともに学び合いながら、国際ビジネスリーダーを育てています。

2023年10月にビジネス研究科の教育研究活動の質が認められ、国際認証AMBAを取得しました。

▶ 高等研究教育院

学問分野・領域に共通する基礎能力の涵養を目的とした大学院教育プログラムの開発・実施に取り組んでいます。研究科横断副専攻プログラム「Comm 5.0－AIデータサイエンス副専攻プログラム－」の他、2021年度に開設した「アドバンスト・リベラルアーツ科目群（ALA科目群）」の下、ダイキン工業株式会社との連携に基づく「次の環境」協創コースや博士課程教育リーディングプログラムを継承するグローバル・リソース・マネジメント（GRM）コースを運営しています。

詳しくはこちら

▶ 研究所

同志社大学は各学部内での独立した研究だけでなく、大学内共同研究の環境を整備し、本学の独自性を持った研究を展開しています。

人文科学研究所

詳しくはこちら

アメリカ研究所

詳しくはこちら

ハリス理化学研究所

詳しくはこちら

▶ 歴史資料館

国内外での学術的な調査研究活動によって収集された120万点を超える考古・民族・民俗資料、古文書（重要文化財を含む）・浮世絵などの歴史資料を収集・展示しています。今出川校地とその周辺は、室町幕府の「花の御所」や江戸時代の薩摩藩邸や公家屋敷があった地域です。キャンパス内での発掘調査で出土した、古代から近世に至る膨大な資料の整理・研究も継続しています。京田辺校地には田辺天神山遺跡・下司古墳群・大御堂裏山古墳（いずれも京都府指定史跡）など随所に遺跡が保存されています。

▶ 同志社社史資料センター

1963年に設置された同志社社史史料編集所を前身とし、2004年5月に発足しました。センターの目的は、創立者新島襄や同志社諸学校に関係する史資料を収集、整理、保存、活用して、創立以来の歴史と伝統を後世に継承し、同志社の教育活動の充実と発展に寄与することです。この目的に従い、研究紀要（『同志社談叢』『新島研究』）の発行や研究会の開催、ハリス理化学館同志社ギャラリーでの展示活動（常設展示と企画展示）や公開講演会を通じて、同志社の歴史や建学の精神に関する普及活動を実施しています。また、『同志社百五十年史』の編纂事業も行っています。

▶ 研究開発推進機構

同志社大学では人文科学、社会科学、自然科学の様々な分野にわたって、教員個人の研究活動はもちろん、学部・研究科、学問領域を越えた特色ある研究活動も多く行われています。また、学内のみならず、学外の研究機関や企業、自治体などとも連携を図りながら、研究活動を行っています。こうした活動から得た研究成果を広く社会に還元し、社会活動の発展に貢献するとともに、本学の教育・研究活動にも還元し、次世代を担う研究者を育成します。

学生納付金

▶ 学生納付金（2026年度入学生）

2026年度入学生の諸会費については金額を変更する場合があります。
確定した学生納付金は本学webサイトで公表します。

（単位：円）

		第1年次合計（入学手続時納入必要額）	学費			諸会費	
			入学金	授業料	教育充実費	学会費	父母会費
神学部		1,172,000（686,000）	200,000	803,000	167,000	2,000	—
文学部	英文学科	1,179,000（689,500）	200,000	803,000	167,000	5,000	4,000
文学部	哲、美学芸術、文化史学科	1,178,000（689,000）	200,000	803,000	167,000	4,000	4,000
文学部	国文学科	1,180,000（690,000）	200,000	803,000	167,000	6,000※	4,000
社会学部		1,179,000（689,500）	200,000	803,000	167,000	5,000	4,000
法学部		1,178,000（689,000）	200,000	803,000	167,000	8,000	—
経済学部		1,179,500（689,750）	200,000	803,000	167,000	4,500	5,000
商学部		1,180,000（690,000）	200,000	803,000	167,000	5,000	5,000
政策学部		1,177,000（688,500）	200,000	803,000	167,000	7,000	—
文化情報学部		1,298,000（749,000）	200,000	916,000	180,000	2,000	—
理工学部	数理システム学科を除く	1,774,000（987,000）	200,000	1,320,000	252,000	2,000	—
理工学部	数理システム学科	1,697,000（948,500）	200,000	1,243,000	252,000	2,000	—
生命医科学部		1,781,000（990,500）	200,000	1,320,000	252,000	2,000	7,000
スポーツ健康科学部		1,337,000（768,500）	200,000	949,000	180,000	3,000	5,000
心理学部		1,365,000（782,500）	200,000	968,000	188,000	3,000	6,000
グローバル・コミュニケーション学部		1,311,000（755,500）	200,000	918,000	188,000	5,000	—
グローバル地域文化学部		1,175,000（687,500）	200,000	803,000	167,000	5,000	—
国際教育インスティテュート		1,170,000（685,000）	200,000	803,000	167,000	—	—

（単位：円）

		授業料	教育充実費
神、文、社会、法、経済、商、政策、グローバル地域文化学部／国際教育インスティテュート	第2・3・4年次	1,003,000	167,000
文化情報学部	第2・3・4年次	1,116,000	180,000
理工、生命医科学部（理工学部 数理システム学科を除く）	第2・3・4年次	1,520,000	252,000
理工学部 数理システム学科	第2・3・4年次	1,443,000	252,000
スポーツ健康科学部	第2・3・4年次	1,149,000	180,000
心理学部	第2・3・4年次	1,168,000	188,000
グローバル・コミュニケーション学部	第2・3・4年次	1,118,000	188,000

1）入学金は初年度のみ徴収します。
文化情報学部、理工学部、生命医科学部、スポーツ健康科学部及び心理学部では、2022年度以前の入学生の学費は、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料の合計額となっていましたが、2023年度以降の入学生の学費は、実験実習料を授業料に一体化し、授業料の中に従前の実験実習料に相当する額が含まれています。
2）授業料・教育充実費については、各々2分の1が春学期学費および秋学期学費です。
3）入学手続時納入必要額とは、入学金全額と、春学期学費および諸会費の2分の1です。
※文学部国文学科の学会費は、文化学会費（4,000円）と、国文学会費（2,000円）を徴収します。
＊学会について　各学会は、機関誌の発行等を通じ、本学の教育研究活動に寄与することを目的に設置されています。
＊＊父母会について　各父母会は、本学の教育の充実と発展を目的に設置されています。
4）第2年次から第4年次の学費は、毎年度上表のとおり徴収します。
注）諸会費として、学会費（第1年次と同額）を毎年徴収します。
文学部、社会学部、経済学部、商学部、生命医科学部、スポーツ健康科学部、心理学部については、父母会・教員父母連絡会費（第1年次と同額）を毎年徴収します。
また、第4年次には全学部生から校友会費を、法学部、経済学部、商学部、理工学部、心理学部生から当該学部の卒業生団体会費を徴収します。グローバル・コミュニケーション学部では、上記の他、Study Abroad（留学）の費用が必要です。

校友ネットワーク

▶ 同志社校友会

同志社校友会 Doshisha Alumni Association は、同志社設立10年後の1885年に「アルムニ会」として卒業生による同窓会を発足したのが、始まりです。その目的は、卒業生の親睦と大学との連携を通じて同志社学生や大学を支援することです。現在、約37万人の会員となり、国内はもとより、世界各地に支部があります。

同志社校友会事務局
〒602-0867
京都府京都市上京区寺町通丸太町上る松蔭町140-4
E-mail：info00@doshisha-alumni.org

同志社校友会
ホームページ

活動の概要

❶ 卒業生と繋がる

2025年4月現在、国内に48の支部、海外に36の支部が存在し、本部と連携しながら活動を行っています。「地元へ転職をしたい」、「転勤になって慣れない土地で生活するのが不安」、「海外での勤務は家族も心配している」など、社会に出てから課題を抱える卒業生に対して、現地の校友がサポートをしています。

❷ 大学と繋がる

同志社大学と連携した学生へのサポート活動を行っています。

- 同志社大学が掲げる「VISION2025」の推進を目的とした「リーダー育成事業支援」、「グローバル人材育成」への支援やその財源となる「同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金」の活動支援等
- 同志社フェアなどイベントを通じた大学のプレゼンス向上の為の支援をしています。

❸ 学生を支える

各種給付型の奨学金制度を通じて教育と学生生活の充実がはかれるサポートを行っています。また、学生緊急支援制度を設けており、コロナ禍においては経済困窮学生の食生活を支援しました。

校友課

ホームカミングデー

同志社大学では卒業生（校友）との密接なネットワークづくりを推進するため、広報誌『One Purpose』の送付、校友向けメールマガジンの配信など、大学のさまざまな情報を提供しています。また、11月には約2,000人の卒業生が母校に帰るホームカミングデーとリユニオンを開催しています。

校友課
〒602-8580　京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL：075-251-3009
FAX：075-251-3097
E-mail：ji-koyu@mail.doshisha.ac.jp

卒業生ページ

専任教員スタッフ・研究分野一覧

神学部

▶神学科

Ada Taggar-COHEN	教授	ユダヤ学・聖書学・古代近東の宗教と歴史
越後屋　朗	教授	旧約聖書研究、聖書考古学
勝又　悦子	教授	ラビ文献研究、ユダヤ教の歴史と思想
木谷　佳楠	准教授	アメリカ文化とキリスト教、環境神学
小原　克博	教授	キリスト教思想、宗教倫理、一神教研究
黒柳　志仁	准教授	旧約聖書研究、キリスト教芸術
三宅　威仁	教授	宗教社会学、近現代の西洋における宗教哲学
三輪　地塩	准教授	日本キリスト教史、キリシタン研究
森山　央朗	教授	イスラーム史、ムスリム社会の形成と展開
村上　みか	教授	近世キリスト教史、宗教改革
村山　盛葦	教授	新約聖書学・初期キリスト教
関谷　直人	教授	コミュニケーションと牧会
杉田　俊介	助教	キリスト教思想、日本のキリスト教思想家

文学部

▶英文学科

赤松　信彦	教授	英語教育学及び心理言語学（外国語学習）
Benjamin Lawrence BAILEY	助教	英語と第3外国語のモチベーション
David J. CHANDLER	教授	1780～1850年の英文学研究
圓月　勝博	教授	近代英語詩、キリスト教文学
円浄　ゆり	助教	16・17世紀のイギリス文学と教育
石塚　則子	教授	19-20世紀アメリカ文学
金津　和美	教授	イギリス・ロマン主義時代の文学・文化
金谷　益道	教授	19世紀・20世紀イギリス小説
勝山　貴之	教授	英米演劇・映画研究
川島　健	教授	20世紀英米演劇からみる国家とジェンダー
鬼田　崇作	教授	英語教育学
菊田　千春	教授	日英語の文法構造、認知言語学
桐山　恵子	教授	19世紀イギリス文学・文化
Mark RICHARDSON	教授	American literature, poetry
Michael Paul,MCGUIRE	准教授	データ駆動型学習、コーパス分析ツール
能登原　祥之	教授	英語教育学・コーパス言語学
大沼　由布	教授	10～15世紀の英文学における西洋古典の受容
斎藤　彩世	准教授	19-20世紀アメリカ文学
下楠　昌哉	教授	アイルランド文学、幻想文学
白川　恵子	教授	人種的見地から考察するアメリカ文学・文化
Stefanie Alexa STADLER	教授	Intercultural Communication, Pragmatics, Discourse Analysis
菅原　真理子	教授	英語と日本語の音韻・音声の研究
杉浦　秀行	教授	会話分析、ことば・視線・身体の包括的分析
瀧田　健介	教授	生成文法・日英語を中心とした比較統語論
田中　貴子	准教授	英語教育学・学習者要因（学習動機）
白井　雅美	教授	19世紀～21世紀の英語圏文学の多様性
山辺　省太	教授	20世紀のアメリカ文学と文化

▶哲学科

新　茂之	教授	経験主義の諸相
服部　敬弘	准教授	19-20世紀フランス哲学
石田　隆太	助教	中世ヨーロッパの哲学・思想
鬼頭　葉子	准教授	現代英米圏の哲学・倫理学・キリスト教学
中川　明才	教授	ドイツ古典哲学
中村　拓也	教授	ドイツ哲学（現象学）
小川　雄	助教	論理実証主義における認識論とケアの哲学

▶美学芸術学科

伊達　立晶	教授	詩と造形芸術との間の相互影響関係
越前　俊也	教授	20世紀以降の美術とその受容
河野　道房	教授	中国美術史（特に山水画史、墳墓壁画史、文人画）
前田　朋美	助教	19世紀末のドイツ語圏の芸術と文化
森田　團	教授	20世紀初頭のドイツ美学
大愛　崇晴	教授	ルネサンス・バロック期の西洋音楽
佐藤　守弘	教授	近現代日本における視覚文化とメディア
吉田　朋子	教授	西洋美術史（特に18世紀フランス美術）

▶文化史学科

阿部　俊大	教授	西欧中世史、地中海における異文化接触
服部　伸	教授	ドイツ近代史、医療社会史
堀井　優	教授	中世・近世イスラーム史、中東・西欧関係史
井上　一稔	教授	日本美術史。主に仏像彫刻・宗教美術を研究
城地　孝	准教授	近世中国の政治文化史
鍛治　宏介	教授	江戸時代の書物文化と天皇像
川口　朋子	准教授	日本近現代史、都市史
岸本　廣大	准教授	古代ギリシア史
北　康宏	教授	日本古代史、文化史
小林　丈広	教授	日本近代史、社会史、地域史、公共歴史学
水ノ江　和同	教授	日本考古学と文化財保護
小野　直子	教授	アメリカ社会史
佐野　静代	教授	日本の水辺に関する歴史地理
山田　徹	教授	日本中世の政治史・社会史・文化史

▶国文学科

藤井　俊博	教授	日本語の歴史（文法・語彙・表記・文体）
岩坪　健	教授	源氏物語など平安文学の研究
垣見　修司	教授	万葉集や古事記など日本上代文学の研究
加藤　大生	助教	日本近現代文学、作品研究
三宅　宏幸	准教授	江戸時代の伝奇小説の研究
西川　貴子	教授	日本近現代文学、幻想文学、作品研究
大山　和哉	准教授	江戸時代の和歌文学
笹尾　佳代	教授	日本近現代文学、文化研究
瀬崎　圭二	教授	日本近現代文学、文化研究
植木　朝子	教授	日本中世における歌謡および芸能の研究
山本　佐和子	教授	中世日本語の語彙史・文法史、資料論
柳川　響	准教授	平安・鎌倉時代の漢文学の研究

社会学部

▶社会学科

藤本　昌代	教授	働く事を通して個人、集団・組織、社会の関係を考える
板垣　竜太	教授	文化人類学、朝鮮近現代社会史
轡田　竜蔵	准教授	地域とグローバリゼーションの社会学的研究
森　千香子	教授	国際社会学、都市社会学
尾嶋　史章	教授	教育と社会的不平等
清水　香基	助教	宗教社会学、東アジア宗教意識の測定と比較
立木　茂雄	教授	社会現象としての災害の研究
鵜飼　孝造	教授	社会学理論、社会ネットワーク、歴史社会学
Mattias VAN OMMEN	助教	文化人類学、デジタル文化と社会

▶社会福祉学科

郭　芳	准教授	高齢者福祉、介護サービス評価
廣野　俊輔	准教授	障がい者についての歴史的研究
木原　活信	教授	福祉哲学、福祉思想史、精神保健福祉論
小山　隆	教授	ソーシャルワーク
空閑　浩人	教授	社会福祉実践（ソーシャルワーク）論研究
Martha MENSENDIEK	准教授	多文化社会福祉・国際社会福祉
永田　祐	教授	地域福祉・コミュニティケア
野村　裕美	教授	保健医療分野におけるソーシャルワーク、質的研究法
小野セレスタ　摩耶	准教授	子ども家庭福祉・福祉計画評価
朴　薫彬	助教	エイジズム、エイジング教育
鈴木　良	教授	障害者福祉、障害学

▶メディア学科

阿部　康人	准教授	コミュニケーション、市民メディア、科学と技術

池田　謙一	教授	コミュニケーションの社会心理学
伊藤　高史	教授	表現の自由とジャーナリズム、社会システム論と大衆文化
勝野　宏史	教授	メディア人類学（AI・デジタル文化）
河崎　吉紀	教授	メディア史
水出　幸輝	助教	災害のメディア研究
小黒　純	教授	ジャーナリズム、テレビ・ドキュメンタリー
佐伯　順子	教授	ジェンダーとメディアに関する学際的研究
竹内　幸絵	教授	広告史、メディア・デザイン表象と近代社会

▶産業関係学科

阿形　健司	教授	職業の社会学
樋口　純平	准教授	人事・雇用システムの国際比較
梶谷　真也	教授	時間の使い方と健康や生産性との関係
松山　一紀	教授	組織行動とフォロワーシップ
三吉　勉	助教	職場の労使関係と企業別労働組合の役割
朴　峻喜	助教	労働問題をめぐる労使関係と労働組合運動
寺井　基博	教授	長時間労働、非正規雇用、D&Iの法と政策
上田　眞士	教授	日系多国籍企業における雇用管理
浦坂　純子	教授	労働経済学、教育経済学

▶教育文化学科

崔　紗華	准教授	国際関係史、人の移動
本間　桃里	助教	教育や福祉における移民の包摂と排除
兒島　明	教授	人の移動と教育
越水　雄二	准教授	ヨーロッパにおける教育と文化の歴史
中川　吉晴	教授	ホリスティック教育・アジアの教育文化
奥井　遼	准教授	わざの伝承・創造、身体による学び
William Robert STEVENSON Ⅲ	准教授	グローバリゼーションとエデュケーション
山田　礼子	教授	比較高等教育、ジェンダーと教育
吉田　亮	教授	日米トランスナショナル・キリスト教史

法学部

▶法律学科

新井　京	教授	武力紛争法（国際人道法）
浅田　正彦	教授	国際法
浅野　雄太	教授	民事訴訟法、倒産法
舩津　浩司	教授	会社法
濱　真一郎	教授	法哲学・法思想史
林　貴美	教授	国際私法、国際家族法
檜垣　伸次	教授	表現の自由に関する現代的諸問題
比嘉　義秀	准教授	西洋法史、インド法
廣田　浩	教授	日本のグローバル企業の法務実務
池田　直人	准教授	不作為による犯罪
井関　涼子	教授	知的財産法（特許法・著作権法・商標法等）
伊藤　靖史	教授	会社法・商法
戒能　通弘	教授	近代英米の法思想
梶山　玉香	教授	民法・民事執行法
釜田　薫子	教授	会社法
神谷　遊	教授	現代家族法
勝山　教子	教授	憲法学、議会法
川口　恭弘	教授	会社法、金融法、金融商品取引法
川崎　友巳	教授	刑法
川嶋　四郎	教授	民事訴訟法、民事救済法、倒産法、裁判法
川和　功子	教授	契約法、不法行為法、消費者法、情報法
木下　麻奈子	教授	法社会学、法心理学
木下　慎梧	助教	中国法史
倉見　智亮	教授	税法
黒坂　則子	教授	環境法、行政法
松岡　千紘	助教	憲法学、ジェンダーと法
中筋　智規	助教	会社法・商法
野々村　和喜	准教授	不法行為に基づく損害賠償の理論
沼本　祐太	准教授	行政組織法
岡田　幸宏	教授	民事判決の効力
佐伯　彰洋	教授	情報公開と個人情報保護
坂井　岳夫	教授	所得や医療の保障に関わる法律問題
坂入　遼	助教	国際経済法（通商法）、経済法（競争法）
佐藤　由梨	准教授	刑事訴訟法、刑事政策
瀬領　真悟	教授	市場経済下での企業・国家への法的規律研究
高尾　朗	教授	企業法務
高杉　直	教授	国際取引や国際結婚などに関する法律問題
田中　謙太	助教	信教の自由
土田　道夫	教授	労働法全般。特に労働契約の解釈論の研究
戸田　舜樹	助教	憲法学、近代日本の憲法思想
上田　誠一郎	教授	契約の基礎理論の比較法的研究
上田　達子	教授	労働法、社会保障法
宇藤　崇	教授	刑事訴訟法
山田　慧	准教授	未遂犯の本質と成立要件
山上　信吾	教授	国際関係論、外交、国際法
山根　崇邦	教授	知的財産法

▶政治学科

長谷川　一年	教授	西洋政治思想史
市川　喜崇	教授	政策過程、行政、地方自治、中央―地方関係
飯田　健	教授	政治行動論、政治学方法論
望月　詩史	教授	日本政治思想史
森　裕城	教授	政治過程論
森　靖夫	教授	近現代日本政治史
森下　明子	准教授	東南アジア政治、地域研究
村田　晃嗣	教授	戦後アメリカ外交、アメリカ政治と映画文化
中西　友汰	助教	戦後日本外交史
西澤　由隆	教授	選挙と世論の統計分析
大崎　祐馬	助教	国際政治経済学：アジア経済外交
大矢根　聡	教授	国際関係論、国際秩序をめぐる外交とその理論的分析
力久　昌幸	教授	現代イギリス政治、EU離脱問題
寺田　貴	教授	国際政治経済：覇権を巡る協力と競争
鷲江　義勝	教授	地域研究（欧州）、特に欧州統合の分析

経済学部

▶経済学科

荒渡　良	教授	財政政策と社会保障政策に関する研究
東　良彰	教授	生産、分配、貯蓄及び資本蓄積に関する研究
福岡　正章	教授	東アジアの工業化
船橋　恒裕	教授	福祉経済学
原田　禎夫	准教授	市民参加と地域の環境保全
平田　大祐	准教授	組織の経済学
本領　崇一	教授	情報伝達の理論、ゲーム理論
井原　悠至	助教	マクロ経済学と金融市場
石田　葉月	教授	エコロジー経済学、資源・エネルギー経済学
岩澤　政宗	准教授	データの分析手法の提案と評価
笠井　高人	准教授	経済学の歴史と発展
河島　伸子	教授	芸術文化・コンテンツ産業に関わる公共政策
北川　雅章	教授	日本経済とマクロ経済学
北坂　真一	教授	日本経済の理論的・実証的分析
小橋　晶	教授	企業の目的、組織、行動に関する研究
小林　千春	教授	日本経済とネットワーク産業
小藤　弘樹	教授	地域・都市経済研究
古賀　康士	准教授	日本経済史（貨幣の歴史、捕鯨業の歴史）
小暮　憲吾	助教	政治経済学、労働と技術・AI、ジェンダー
久保　徳次郎	教授	国際金融

専任教員スタッフ・研究分野一覧

三俣　学	教授	エコロジー経済学、山野川海のコモンズ論
宮本　大	教授	労働経済、人材育成に関する研究
宮崎　耕	教授	情報システムの研究
宮澤　和俊	教授	人口経済学、公共経済学
茂見　岳志	教授	一般均衡理論
長澤　勢理香	准教授	近世・近代イギリス貿易史
新関　三希代	教授	企業行動と金融市場の実証分析
西岡　幹雄	教授	企業家活動と近現代都市における経済思想
法雲　俊栄	准教授	社会科学における情報システムの研究
大垣　昌夫	特別客員教授	行動経済学
奥田　以在	教授	近代京都の都市史：都市コミュニティの歴史
大野　隆	教授	政治経済学（景気循環・不平等・搾取）
太田　直希	助教	文化経済学（創造経済、伝統文化領域）
大谷　実	准教授	近現代ドイツ社会経済史
李　翔宇	助教	地域経済産業構造と環境問題に関する研究
迫田　さやか	准教授	所得や制度（医療・結婚）の不平等
佐藤　敦紘	准教授	ミクロ経済学とゲーム理論の応用研究
菅　一城	教授	近現代イギリス社会経済史・都市史
高井　才明	教授	ビジネス情報システム
竹廣　良司	教授	企業の組織と行動に関する分析
谷村　智輝	教授	現代資本主義の循環と構造変化
手島　健介	教授	開発経済学、国際経済学、都市経済学
角井　正幸	教授	アメリカ経済史
和田　喜彦	教授	エコロジー経済学、鉱山・核開発の環境影響
和田　美憲	准教授	宗教行動・企業行動に関する理論・実証研究
八木　匡	教授	公共経済学（創造経済論、教育経済学）
山森　亮	教授	連帯経済、ケアエコノミー、社会政策
山本　和博	教授	国際経済学
横井　和彦	教授	経済のグローバル化と中国経済
四谷　晃一	教授	経済成長理論、教育の経済分析

商学部

▶商学科

相川　雄哉	助教	開発経済学、経済史
趙　勝新	助教	経済史・経営史
崔　容熏	教授	マーケティング
遠藤　敏幸	准教授	グローバリゼーションとアジア経済
藤岡　裕大	助教	地域経済論、縮小型コンパクトシティに関する研究
福本　俊樹	准教授	経営組織論・組織行動論
服部　茂幸	教授	世界金融危機と金融政策
廣瀬　喜貴	准教授	監査論
久松　太郎	教授	国際貿易の古典理論
今西　宏次	教授	コーポレート・ガバナンス、企業と社会
稲見　亨	教授	会計基準の国際的調和化に関する研究
五百旗頭　真吾	教授	国際金融論
石田　大典	准教授	マーケティング・マネジメント
伊藤　正隆	准教授	予算管理：会計情報を用いたPDCA
河合　隆治	教授	会計情報を利用した経営
川満　直樹	教授	商品史研究
木村　多嘉子	助教	経済史、計量体格史
小島　秀信	教授	市場の社会経済学的研究
Evgeny KISELEV	助教	国際商務における慣習
久納　誠矢	准教授	株式の自動取引と市場の安定性
牧　大樹	教授	計量経済学、時系列分析
丸茂　俊彦	教授	銀行論・金融論
溝渕　英之	教授	経済指標・社会指標に関する研究
長沼　健	教授	eコマースの普及
内藤　徹	教授	地理情報システムを援用した都市集積の研究
中川　優	教授	グローバル化と管理会計
中道　一心	教授	事業システムと競争優位
中岡　孝剛	准教授	ビジネス・エコノミクス、データ分析
西川　純平	准教授	東アジアの経済発展
西村　幸子	教授	観光に関わる消費者行動の分析
大原　悟務	准教授	ユーザーコミュニティによる製品革新の効果
岡　敏弘	特別客員教授	厚生経済学・環境経済学・国際価値論
太田原　準	教授	アントレプレナーシップとイノベーション
佐々木　一郎	教授	個人の年金加入行動に関する研究
佐藤　研一	准教授	グローバルビジネスコミュニケーション研究
関　智宏	教授	中小企業とアントレプレナーシップ
柴田　喜悠	助教	産業研究、建設機械産業
志賀　理	教授	現代の会計
田淵　太一	教授	貿易・貨幣・権力から読み解く世界経済
田口　聡志	教授	心理と行動の会計学：フューチャーデザイン
髙橋　広行	教授	消費者行動にもとづくブランド・マーケティング
谷本　啓	准教授	サービス産業における人材活用の制度と構造
冨田　健司	教授	経営戦略
辻村　元男	教授	ビジネスにおける不確実性下での意思決定
植田　宏文	教授	金融的要因と経済活動
上田　雅弘	教授	産業組織の実証分析
瓜生原　葉子	教授	行動変容、ソーシャルマーケティング
徐　小鈞	助教	会計不正の要因分析
山本　達司	教授	会計制度と社会的厚生
山下　麻衣	教授	近現代日本における看護労働の歴史
山内　雄気	准教授	経営史
銀　迪	助教	地域経済学
横山　斉理	教授	流通・マーケティング
吉川　英一郎	教授	国際商取引法規範及び国際ビジネス紛争解決
朱　浩良	助教	国際経済学

政策学部

▶政策学科

安達　晃史	准教授	交通政策・組織の効率性・地域政策
足立　光生	教授	持続可能な社会に向けた投資、市場、企業
藤本　哲史	教授	ワーク・ファミリー・バランス
畑本　裕介	教授	社会福祉行政・生活構造
伊川　萌黄	助教	環境／エネルギー／貧困問題に関する実証研究
井口　貢	教授	文化・観光政策の要諦としての人文知の所在
入江　容子	教授	地方自治体の組織的問題- 構造・管理・政策-
柿本　昭人	教授	近代社会システムを歴史的に探究する
川口　章	教授	ワーク・ライフ・バランスとジェンダー平等
川井　圭司	教授	スポーツの法と政策
川上　敏和	教授	ゲーム理論の応用
川浦　昭彦	教授	公共選択
風間　規男	教授	ガバナンス・ネットワークの構造と機能に関する研究
小谷　真理	准教授	環境基準の正統性、行政裁量の統制
久保　真人	教授	働きやすい組織と個人のウェルビーイング
真山　達志	教授	行政学・政策実施論
武藏　勝宏	教授	議会の立法過程・制度、直接民主制の実証分析
中原　慧	助教	教育社会学・移民研究・格差問題
中島　恵理	教授	地域におけるSDGs実現と新しい手法での社会変革
中尾　祐人	准教授	法学、行政法、行政調査
根岸　祥子	准教授	先進国・開発途上国における国際資本の役割
新見　陽子	教授	国際開発、国際協力、ジェンダー
野田　遊	教授	地方自治研究
野間　敏克	教授	地域経済にとって望ましい地域金融の研究
岡本　由美子	教授	SDGs、気候変動とジェンダー

大島　佳代子	教授	教育を受ける権利・生徒の人権
多田　実	教授	感情科学に基づくマーケティングリサーチ
田中　秀樹	教授	現代社会における人材・組織マネジメント
田中　宏樹	教授	少子高齢社会の地域経営
富樫　耕介	准教授	国際政治学（紛争研究）、旧ソ連地域研究
月村　太郎	教授	バルカン地域研究、地域紛争比較研究
辻　優太郎	助教	国立大学財政・教育政策の形成過程
吉田　徹	教授	政治学（比較政治学、ヨーロッパ政治）

グローバル地域文化学部

▶グローバル地域文化学科

阿部　範之	教授	中華圏の映画
穐山　洋子	教授	スイス近現代史
浅羽　祐樹	教授	韓国政治外交、比較政治学、日韓関係
遠藤　徹	教授	アメリカの大衆文化論／身体論
二村　太郎	准教授	地理学、北アメリカ地域研究
James HEATHER	准教授	第二言語習得論、応用言語学、文化人類学
稲垣　俊史	教授	第二言語習得論、英語教育学、言語学
石井　香江	教授	社会史（近現代ドイツ）／ジェンダーと「市民社会」
石野　未架	准教授	英語教育学、教室相互行為研究、会話分析
伊藤　玄吾	准教授	フランス・ルネサンス期の文学と思想
和泉　真澄	教授	北米文化の多様性と日系・アジア系アメリカ
亀谷　百合佳	助教	現代フランス社会・文化の研究
神崎　舞	准教授	カナダの舞台芸術
コ　ヨンジン	教授	朝鮮語の文法および南北朝鮮の言語政策
久野　聖子	准教授	マイノリティ研究、スペイン地域研究
倉科　一希	教授	アメリカ対外関係史、国際政治
Matthew LARKING	准教授	日本美術史、近代美術史・理論
LAVIGNE Anthony Giacemo	助教	持続可能性教育、文化的自己認識と自己形成
David MCCURRACH	准教授	コンピュータ支援言語学習・英語教育学
見原　礼子	准教授	比較教育社会学、マイノリティ研究
宮嵜　克裕	助教	フランス地域文化論・表象文化論・視覚論
水谷　智	教授	イギリス帝国史／植民地研究
物部　ひろみ	准教授	ハワイの歴史と文化、日系アメリカ人史
向　正樹	教授	グローバル・ヒストリー、海域イスラーム史
村川　淳	助教	ラテンアメリカ地域研究、村落研究
中野　幸男	准教授	亡命ロシア文学、トランスリンガル文学
中嶋　洋平	准教授	ヨーロッパ統合思想、西洋政治思想
Zachary NANBU	助教	会話分析、応用言語学、英語教育学
NECHAEVA Angelina	助教	在外ロシア文化、亡命ロシア人社会
落合　明子	教授	アメリカ黒人の歴史と文化
小川原　宏幸	教授	近代における日朝関係の歴史的考察
大木　清香	准教授	文芸学、文学理論、比較文化論
小野　文生	教授	ドイツ哲学、ユダヤ思想、教育思想史
尾崎　茂	教授	言語テスト学、国際理解教育、言語教育政策
朴　鍾厚	准教授	現代韓国語文法、韓国語教育学
Susanna PAVLOSKA	准教授	20世紀文学、文学と言語教育
Andres PEREZ RIOBO	准教授	グローバルヒストリー、スペイン語教育
錢　鷗	教授	中国思想史、日中思想・文化交渉論
坂本　南美	准教授	外国語教育学、ナラティブ研究、教師教育
崎田　智子	教授	伝達言語の認知語用論的研究、ジェンダー論
Marco SCHULZE	助教	言語学習ゲーム
柴田　修子	准教授	ラテンアメリカ地域研究、社会運動論
清水　穣	教授	現代美術と現代音楽の歴史と批評
清水　達也	教授	ラテンアメリカ地域研究、農業開発
副島　一郎	教授	中国古典学・江戸漢学
高木　繁光	教授	近代から現代にいたる映像文化史
David TARANCO	助教	翻訳、紀行文、日西関係
立石　洋子	准教授	ロシア・旧ソ連諸国の歴史と政治
Aysun UYAR	准教授	国際関係論、地域主義、地域環境ガバナンス
若生　正和	准教授	日本語と韓国語の対照研究、第二言語習得論
王　柳蘭	准教授	アジアにおける移民と共生、文化人類学
渡辺　文	助教	オセアニアの芸術と文化、人類学
殷　晴	助教	18～20世紀の中国史、メディア史
尹　慧瑛	教授	イギリス・アイルランド研究
張　素娟	准教授	現代中国語学、中国語教育

文化情報学部

▶文化情報学科

阿部　真人	准教授	自然と社会における複雑システム
渕上　ゆかり	准教授	持続可能社会の実現に向けた地域研究
深川　大路	准教授	離散最適化問題に対するアルゴリズム
福田　智子	教授	平安文学、和歌文学
Gaetan RAPPO	教授	日本中世史、宗教史学、デジタル・ヒストリー
波多野　賢治	教授	メディア情報学、サービス情報学、データ工学
星　英仁	准教授	言語理論（統辞論）
飯尾　尊優	准教授	人間とロボットの社会的相互作用
伊藤　謙佑	助教	言語哲学
伊藤　紀子	准教授	機能言語学と自然言語処理
蒲原　智也	助教	画像に対するハッシュタグ推薦手法の研究
河瀬　彰宏	准教授	デジタル・ヒューマニティーズ、計量文化解析
中西　義典	准教授	統計科学および統計物理学
中安　真理	准教授	東アジアの芸術文化史
大井　将生	准教授	デジタルアーカイブ、情報活用、連携と共創
阪田　真己子	教授	身体を媒体として伝達される情報
佐野　明子	准教授	映像文化論
沈　力	教授	言語類型論の研究
柴崎　祥太	助教	文化と生物の進化ダイナミクス
下嶋　篤	教授	グラフィック表現を用いた説明や説得の効果
杉尾　武志	教授	視覚認知
津村　宏臣	准教授	地域社会と民族の資源共有と永続性の研究
宿久　洋	教授	多変量データ解析、計算機統計学
山縣　芽生	助教	排斥と調和の社会心理学
山内　信幸	教授	コーパスを用いたことばの記述的分析
鄭　躍軍	教授	社会現象の計量研究

理工学部

▶インテリジェント情報工学科

程　俊	教授	通信理論と通信技術
藤田　倫弘	助教	知能情報学、知覚情報処理
橋本　雅文	教授	モビリティロボットの自律・協調センシング
加藤　恒夫	教授	音声言語処理とインタフェース
桂井　麻里衣	准教授	マルチメディア検索・データマイニング
木村　共孝	准教授	情報通信ネットワークの設計と分析
奥田　正浩	教授	知能情報処理、機械学習
小野　景子	准教授	進化的機械学習
土屋　誠司	教授	常識を持ったコンピュータ・ロボットの研究
渡部　広一	教授	自然言語理解と知能ロボット

▶情報システムデザイン学科

木村　達明	准教授	情報通信システムと数理モデリング
小比賀　亮仁	准教授	防災システムと複合シミュレーション環境
小板　隆浩	教授	人間とクラウドによる分散システムの開発
大崎　美穂	教授	機械学習と知識発見
大久保　雅史	教授	ヒューマンインタフェース
佐藤　健哉	教授	モノのインターネットにおける分散処理技術
白浜　公章	教授	人工知能のマルチメディア解析への応用

専任教員スタッフ・研究分野一覧

高橋　和彦	教授	計算知能と知能制御システム
田村　晃裕	准教授	自然言語処理
Ivan TANEV	教授	進化的方法論
土屋　隆生	教授	先端音響システム

▶電気工学科

馬場　吉弘	教授	環境電磁工学
平田　健太郎	教授	システム制御理論とその工学的応用
藤原　耕二	教授	磁性材料の機能性評価
井上　馨	教授	モータシステムの高効率駆動と振動抑制
加藤　利次	教授	電気電子回路システムの動作解析および制御
近藤　弘一	教授	応用数学
小山　大介	教授	超音波を利用したデバイスと計測技術
松川　真美	教授	超音波エレクトロニクス、超音波の医用応用
高橋　康人	教授	パワーマグネティクス・電磁エネルギー変換
田中　洋平	助教	電力系統の過渡現象解析
吉川　治周	教授	流体の力学に内在する不安定性と遷移現象

▶電子工学科

出口　博之	教授	アンテナ工学、電磁界解析
衣斐　信介	教授	通信システムのための統計的信号処理
岩井　誠人	教授	無線通信システムにおける電波伝搬
粕谷　俊郎	教授	プラズマ物理学
中島　由人	助教	フラクタル幾何学、次元論
大谷　直毅	教授	半導体光デバイス、光物性、新蛍光物質の合成
大平　昌敬	教授	マイクロ波・ミリ波帯受動回路の開発
堺　健司	准教授	磁気を用いた先端計測法と物性評価法の開発
佐藤　祐喜	教授	機能性電子材料の開発と評価、工学的応用
鈴木　将之	教授	光工学
田中　智之	助教	偏微分方程式論
戸田　裕之	教授	マイクロ波フォトニクス、非線形ファイバ光学

▶機械システム工学科

廣垣　俊樹	教授	制御システムとモノづくりの自動化・自律化
稲垣　和寛	助教	流体物理学・乱流のモデリング
稲岡　恭二	教授	熱と流れの動的制御、熱交換器の高性能化
松村　恵理子	教授	高効率・低公害化に関する噴霧燃焼制御
松岡　敬	教授	機械設計、複合材料
宮本　博之	教授	金属材料の加工と組織制御に関する研究
野口　尚史	准教授	熱・物質の輸送や混合にかかわる流体力学
小武内　清貴	教授	先進複合材料の信頼性改善に関する研究
笹田　昌弘	教授	材料の変形メカニズムの解明と加工の高度化
多久和　英樹	教授	偏微分方程式論と数学的逆問題
辻内　伸好	教授	運動と振動の制御及び人間工学に関する研究

▶機械理工学科

原　峻平	准教授	微小の攪乱・物質添加による伝熱流動の改変
平田　勝哉	教授	機械工学上の流れ学、空気力学の諸問題
伊藤　彰人	教授	ロボットシステムの高度化に関する研究
中川　正夫	准教授	メカトロニクスによるものづくりの高度化
中村　守正	教授	機械要素を高機能化する表面改質技術
大窪　和也	教授	環境に優しい天然繊維強化複合材料の開発
千田　二郎	教授	高効率・低公害燃焼法の解析的研究
高岡　正憲	教授	巨視的乱雑系の統計法則と自己組織構造
田中　達也	教授	金属、高分子や複合材料の加工に関する研究
湯浅　元仁	教授	組織制御による高機能金属材料の開発
伊縫　寛治	助教	エルゴード理論、フラクタル幾何学

▶機能分子・生命化学科

土井　貴之	教授	新しい電池反応系のための材料開発
遠藤　太佳嗣	教授	イオン液体の構造、運動性、及び物性
人見　穣	教授	活性酸素種と酸化反応の化学
稲葉　稔	教授	蓄電池および燃料電池材料の開発
加藤　将樹	教授	超伝導および関連物質の合成と物性評価
木村　佳文	教授	機能性流体の光反応化学と新規物質創製
北岸　宏亮	教授	人工ヘモグロビンの開発と医学分野への応用
小寺　政人	教授	生命現象解明のための高性能機能分子の開発
古賀　智之	教授	高分子化学、先端バイオマテリアル
水谷　義	教授	有機機械・電子材料の研究
西村　慎之介	助教	高分子バイオマテリアル、環境調和材料
太田　寛人	准教授	新しい磁性材料の探索と高機能化

▶化学システム創成工学科

橋本　雅彦	教授	バイオセンシングテクノロジー
石田　尚之	教授	コロイドおよび界面の化学と工学
松本　道明	教授	環境適応型の生物分離プロセスの構築
塩井　章久	教授	非平衡化学システム
白川　善幸	教授	機能性微粒子の設計工学
田原　義朗	准教授	ドラッグデリバリーシステム
竹中　壮	教授	触媒化学
土屋　活美	教授	環境対策と混相分散流の移動現象論
塚越　一彦	教授	微小空間で見られる流体流れの不思議な世界
山本　大吾	教授	非平衡現象と化学工学
吉田　幹生	教授	粒子の流動性と付着性の制御

▶環境システム学科

赤尾　聡史	教授	環境衛生工学
福間　浩司	准教授	磁気から探る地球システム
後藤　琢也	教授	エネルギー創製・貯蔵・輸送・利用の研究
長谷川　元洋	教授	土壌の生物学
伊藤　公一	准教授	生物の行動・生態・進化の数理解析
小畠　秀和	教授	結晶成長で読み解く地球・物資・進化
盛満　正嗣	教授	次世代二次電池・水電解技術の開発
大園　享司	教授	生態学・生物多様性科学・菌類
堤　浩之	教授	地震と活断層に関する研究
山根　省三	准教授	気象・気候現象の力学
横尾　頼子	助教	地球表層環境での元素の動態・循環

▶数理システム学科

阿部　健	教授	代数幾何学
浅岡　正幸	教授	幾何学、力学系理論
今井　仁司	教授	コンピュータを用いた数理解析
三木　啓司	准教授	応用数学、数理物理学
齋藤　誠慈	教授	常微分・差分方程式の定性理論
塩沢　裕一	教授	確率論
竹井　義次	教授	解析学、微分方程式
津田　博史	教授	金融工学、データサイエンス、観光科学

生命医科学部

▶医工学科

古屋　貴士	助教	偏微分方程式とその逆問題及び機械学習
川口　正隆	教授	機械・構造物の振動解析および低振動化
剣持　貴弘	教授	生命現象の物理科学
小泉　範子	教授	角膜再生医療と新規治療薬の開発
森田　有亮	教授	再生組織の足場材料・力学機能評価法の開発
奥村　直毅	教授	視覚障害の革新的治療法開発、医療AI技術の臨床応用研究
田中　和人	教授	機械材料、複合材料、生体・医療材料、成形
積際　徹	教授	ロボット工学、制御工学
渡辺　公貴	教授	月面ローバー、バイオミミクリー、技術経営
山本　浩司	教授	生体組織の力学機能と分子発現解析
横川　隆一	教授	バイオメカニクス、バイオロボティクス

▶医情報学科

秋山　いわき	教授	超音波イメージングと超音波の生体作用
廣安　知之	教授	ヒト情報のAIとICTによる知的処理

飛龍　志津子	教授	コウモリの超音波センシングの仕組みを解明
日和　悟	教授	脳情報学：機械学習による脳機能の分析
小林　耕太	教授	神経行動学：聴覚と発声の生理メカニズム
中村　光	准教授	機能性分子の精密合成
大江　洋平	教授	有機化学：合成、錯体、触媒、分析
太田　哲男	教授	生理活性化合物の効率的合成と機能の解明
貞包　浩一朗	准教授	生命現象の物理学、やわらかな物質の物理学
髙柳　真司	准教授	超音波デバイスの作製・評価と超音波計測
谷岡　健資	准教授	多変量データ解析法の開発

▶医生命システム学科

舟本　聡	教授	アルツハイマー病の発症と予防の基礎研究
市川　寛	教授	酸化ストレスと機能性食品医学
池川　雅哉	教授	細胞や組織を構成する生体分子の機能の解析
祝迫　惠子	教授	消化器疾患の基礎的・臨床的研究
角田　伸人	准教授	アルツハイマー病の脳内変化
小林　聡	教授	ガン発症と治療に対する基礎医学研究
三田　雄一郎	准教授	糖尿病発症メカニズムの解析
元村　有希子	特別客員教授	科学コミュニケーションの理論と実践
西川　恵三	教授	骨代謝と免疫の基礎医学研究
西川　喜代孝	教授	細胞生物学に基づく創薬研究
野口　範子	教授	酸化ストレスによる病気と生体防御の機構
齋藤　直人	准教授	神経機能生物学
髙橋　美帆	助教	細胞内小胞輸送に関する研究
浦野　泰臣	教授	脂質代謝異常による疾患に関する研究
和久　剛	准教授	がん免疫とがん細胞老化の分子生物学研究
山下　修司	助教	生体内金属の動態解明
米井　嘉一	教授	老化と危険因子の評価、糖化ストレス

スポーツ健康科学部

▶スポーツ健康科学科

新井　彩	准教授	アスリートのトレーニング、バイオメカニクス
海老根　直之	教授	人間栄養学、エネルギー代謝、身体活動量
藤澤　義彦	教授	スポーツ選手の資質に関する研究
福岡　義之	教授	環境生理学／人類学／人間工学
北條　達也	教授	スポーツ外傷・障害の疫学および予防
石井　好二郎	教授	運動処方の開発および展開
石倉　忠夫	教授	運動技能学習、スポーツ心理学
岩田　昌太郎	教授	良い保健体育授業の創造と教師の専門性開発
井澤　鉄也	教授	スポーツ生化学
上林　清孝	教授	運動神経生理学、運動制御・学習
河西　正博	准教授	障害者スポーツ論
松倉　啓太	准教授	スポーツにおけるコーチング
中村　康雄	教授	スポーツ・バイオメカニクス
二宮　浩彰	教授	スポーツ・マーケティング
庄子　博人	准教授	スポーツビジネス
髙倉　久志	准教授	骨格筋の有酸素性代謝能力に関する研究
竹田　正樹	教授	スポーツ競技力とトレーニングの運動生理学
田附　俊一	教授	「コツ」や「カン」習得の理論と実践：スポーツ運動学
若原　卓	教授	骨格筋のメカニクス
柳田　昌彦	教授	介護・生活習慣病予防のための運動疫学研究
簗瀬　康	助教	リハビリテーション

心理学部

▶心理学科

青山　謙二郎	教授	学習心理学、行動分析学、食行動の心理学
藤村　友美	准教授	感情心理学、精神生理学
畑　敏道	教授	生理心理学（行動と脳の関係について）
石川　信一	教授	臨床児童心理学
神原　広平	助教	臨床心理学、認知行動療法
神山　貴弥	教授	開発的生徒指導と子どもの心理・社会的発達
毛利　真弓	教授	犯罪心理学
武藤　崇	教授	行動分析学（臨床心理学）
中谷内　一也	教授	リスク認知と災害準備
及川　昌典	教授	社会心理学
興津　真理子	教授	臨床心理学、家族心理学
大屋　藍子	准教授	臨床心理学、行動分析学
鈴木田　英里	助教	発達臨床心理学、家族の支援
杉若　弘子	教授	臨床健康心理学、パーソナリティ心理学
竹原　卓真	教授	認知心理学、顔魅力
田中　あゆみ	教授	ヒューマン・モティベーション
内山　伊知郎	教授	乳幼児の認知・感情発達の研究
余語　真夫	教授	健康心理学、臨床社会心理学、軍事心理学

グローバル・コミュニケーション学部

▶グローバル・コミュニケーション学科

Regine DIETH	准教授	日本現代社会とジェンダー
FUKUSHIMA Marcelo	准教授	国際経済、国際ビジネス
Bettina GILDENHARD	准教授	移民研究、多文化共生
長谷部　陽一郎	教授	認知言語学、コーパス言語学
伊勢　晃	教授	20世紀フランス文学
JENNIFER ROSE SMITH	助教	英語教授法、グループ・ダイナミック
郭　雲輝	教授	現代中国語学
河原　大輔	准教授	アメリカ文化研究、映画学
窪田　光男	教授	社会言語学
Ghislain MOUTON	助教	応用言語学、フランス語教育、異文化理解
中村　艶子	教授	アメリカ研究（女性労働の日米比較）
中西　裕樹	教授	東南中国に分布する諸言語・方言の歴史研究
中田　賀之	教授	英語教育学、応用言語学
岡崎　享恭	准教授	異文化コミュニケーション、社会言語学、教育学
Peter NEFF	教授	英語教育、応用言語学
坂場　大道	助教	意味論、言語と文化
須藤　潤	准教授	音声コミュニケーション、日本語教育
鈴木　美紀子	助教	第二言語習得法、英語教授法
鈴木　伸子	教授	日本語教育、留学生のためのキャリア教育
諏訪　暁	助教	19世紀および現代のイギリス文学
玉井　史絵	教授	19世紀イギリスの文化と文学
唐　顥芸	准教授	台湾・中国の近現代文学
内田　尚孝	教授	中国近現代史、近現代日中関係史、中国外交
UCHINO Crystal Kimi	助教	カルチュラルスタディーズ、社会史、マイノリティ研究
脇田　里子	教授	日本語教育、ライティング教育
肖　海娜	准教授	中国語学（現代中国語文法）、中国語教育、日中対照言語学
吉田　優子	教授	言語の変種、方言の音韻分析

専任教員スタッフ・研究分野一覧

グローバル・スタディーズ研究科

秋林　こずえ	教授	ジェンダー研究、平和教育研究
Themis CHRONOPOULOS	教授	都市研究、アフリカ系アメリカ人研究、グローバル都市
Gavin James CAMPBELL	教授	アメリカ史、アメリカ宗教研究
菅野　優香	教授	クィア・スタディーズ、映画・視覚文化研究
菊池　恵介	教授	グローバリゼーション論、レイシズム研究
三牧　聖子	教授	アメリカ政治外交史、国際関係論
南川　文里	教授	社会学、人種エスニシティ研究、移民研究
村田　雄二郎	教授	中国思想史、中国近現代史、日中関係史
内藤　正典	教授	国際移動論、現代イスラーム地域研究
中西　久枝	教授	中東ユーラシアの紛争防止、国際協力論
西川　由紀子	教授	国際関係論、外交政策、安全保障論、東南アジア地域
岡野　八代	教授	西洋政治思想史、フェミニズム理論
太田　修	教授	朝鮮半島研究、朝鮮近現代史、近現代日朝関係史
小山田　英治	教授	途上国と新興国の開発とガバナンス問題研究
錢　鷗	教授	中国の思想と歴史、日中文化・学術交流史
冨山　一郎	教授	日本研究、沖縄近現代史研究
厳　善平	教授	現代中国の社会と経済、労働移動、農業と食糧問題
横山　雄大	助教	戦後東アジア国際関係史、冷戦史
Laura-Anca PAREPA	准教授	国際安全保障、紛争研究、国際公共政策

脳科学研究科

金子　奈穂子	教授	成熟脳内における神経細胞産生と再生
正水　芳人	教授	神経回路を創出するための技術開発と応用
松井　鉄平	教授	神経計算分野
御園生　裕明	教授	アルツハイマー病の分子メカニズム研究
元山　純	教授	脳発生発達過程の制御機構の解明
坂場　武史	教授	シナプス伝達・可塑性メカニズム
高橋　晋	教授	認知行動機能を実現する脳神経機構の解明
高森　茂雄	教授	神経伝達物質放出の分子メカニズム

司法研究科

浅野　有紀	教授	法哲学、私法の基礎理論、法多元主義
深谷　格	教授	民法（特に債権法）
濵田　毅	教授	刑事訴訟法
林　昭一	教授	民事訴訟における証拠法に関する研究
Colin P.A.JONES	教授	英米法・日本を中心とする比較法、ロボットと法;身分法
木下　孝治	教授	保険契約法、保険監督法
小林　渉	特別客員教授	独占禁止法
松原　久利	教授	違法性の錯誤と刑事責任
松本　哲治	教授	憲法（基本的人権、憲法訴訟論）、米憲法
御幸　聖樹	教授	憲法、権力分立論
村中　孝史	特別客員教授	労働法
中西　正	教授	倒産法（破産法、民事再生法、会社更生法）
野々上　敬介	教授	民法（特に、財産の管理・承継上の諸問題）
大中　有信	教授	契約の基礎理論と意思表示法の比較法的検討
坂巻　綾望	教授	租税法、国際課税、所得税法、法人税法
佐久間　毅	教授	民法、信託法
重本　達哉	准教授	行政法、（水）災害法および墓地埋葬法
十河　太朗	教授	刑法、共犯論
園田　賢治	教授	民事訴訟法
洲崎　博史	教授	会社法、保険法
高橋　宏司	教授	国際取引法、国際私法、国際民事手続法
横田　光平	教授	子ども法

ビジネス研究科

▶ビジネス専攻

崔　裕眞	教授	グローバル経営戦略と知識経営
藤原　浩一	教授	データサイエンスと経営戦略
井上　福子	教授	人的資源管理と組織開発
児玉　俊洋	教授	中小企業、産業集積
文　世一	教授	都市経済学、交通経済学
森　良弘	教授	イノベーションマネジメント
延岡　健太郎	特別客員教授	価値創造とイノベーションのマネジメント
野瀬　義明	教授	コーポレートファイナンスに関する実証分析
高広　伯彦	教授	モノやサービスの価値創造のマーケティング
山下　貴子	教授	企業のマーケティング戦略と消費者行動

▶グローバル経営研究専攻

飯塚　まり	教授	経営戦略と組織、ビジネス倫理、ウェルビーイング
Arif　IQBALL	教授	企業の経営戦略とリーダーシップ
大串　葉子	教授	投資経済計算、資本予算論
奥平　寛子	准教授	労働市場政策や人事に関するデータ分析
正田　ヴェラ　パオラ	准教授	データサイエンスと人工知能（AI）
須貝　フィリップ	教授	持続可能なマーケティング、価値共創
殷　勇	教授	ものづくり経営学
吉田　悦章	教授	国際金融、新興国ビジネス、イスラーム金融、フィンテック

▶寄付教育研究プロジェクト

梅田　昭夫	教授*	コーポレートガバナンス

キリスト教文化センター

李　元重	准教授	近現代日本のプロテスタント歴史
森田　喜基	准教授	キリスト教教育の歴史と実践

人文科学研究所

林田　秀樹	教授	開発経済学、インドネシア経済論
本岡　拓哉	准教授	近現代日本の地域研究、都市の社会問題
関口　寛	教授	近現代日本の社会史・思想史・文化史

ハリス理化学研究所

桝　太一	助教	マスメディアの科学コミュニケーション
Philip TROMOVITCH	教授	人間の性と性格に関する研究
鈴木　祐太	助教	その場資源利用のための物理化学

アメリカ研究所

石黒　安里	助教	アメリカ・ユダヤ人女性史、シオニズム思想
川鍋　健	助教	アメリカ憲法、憲法、日米裁判官任免手続

歴史資料館

浜中　邦弘	教授	日本考古学ー瓦・寺院・都市ー
若林　邦彦	教授	考古学（弥生～古墳時代）、博物館学

学習支援・教育開発センター

趙　智英	助教	中世日本文学、日韓の説話文学
小野　慎司	教授	固体中のイオン伝導、科学教育
篠田　雅人	助教	高等教育論・高等教育開発

免許資格課程センター

本多　千明	准教授	市民性教育、教育政策、教材開発
稲田　雅巳	教授	学習指導と生徒指導の一体化
森口　洋一	准教授	社会科教育
中瀬　浩一	教授	特別支援教育、聴覚障がい教育
西浦　ミナ子	助教	図書館情報学、大学図書館の教育・学習支援
奥野　浩之	准教授	社会科のカリキュラム開発
佐藤　翔	教授	図書館・情報サービスの利用分析
田中　希穂	教授	ヒューマン・モチベーション、教師教育、異文化間教育
山口　洋介	助教	認知心理学、創造的思考教育
柳澤　彰紀	教授	学校教育実践学

国際教養教育院

有井　健	教授	自然保護・環境保全
ROBERT WILLIAM ASPINALL	教授	日本と英国における政治と教育
土井ベンソン　アンヤ	准教授	現代日本のメディアと子供のメディア文化
李　長波	教授	言語学、日本語史、比較文体史
松本　秀輔	准教授	日本語学・日本語教育
三上　聡太	助教	「外地」の日本語文学
西郷　英樹	教授	日本語教育・日本語学
徐　潤純	教授	日本語学・社会言語学・日韓言語比較研究

＊チェア・プロフェッサー

吉川　夏渚子	助教	ビジネス日本語、キャリア支援
国際教育インスティテュート		
Colin DAVIS	教授	国際経済学、経済成長
Gregory POOLE	教授	教育・言語人類学
Gill STEEL	教授	比較政治、世論、投票行動
Jennifer MCGUIRE	准教授	教育人類学、ろう者学、障がい学
David UVA	助教	歴史教育、日本史、植民地の歴史
研究開発推進機構		
相方　未来	助手	平和構築に向けたフェミニスト・アプローチ
Onur ALPARSLAN	教授	協調型自動運転に向けた情報ネットワーク
新井　雅貴	助手	ヘブライ語聖書（旧約聖書）の冥界理解
藤岡　慧明	准教授	コウモリの音響行動生態の工学的理解
池上　健太郎	助手	体組成や運動習慣と健康リスクに関する研究
鍵谷　秀之	助手	聖書解釈学
川間　羅聖	助教	筋力トレーニングが筋の硬さに及ぼす影響
川見　文紀	助教	災害後のすまい・住宅再建の格差についての研究
毛　斉悦	助教	火災で発する毒ガスの解毒剤の開発
水谷　友一	学術研究員	野生動物の行動と生理的負担の研究
奥野　耕平	助手	文化遺産学　文化財保護と継承に関する研究
大道　智恵	助教	睡眠の疫学研究
大澤　晴太	助教	運動が間葉系幹細胞の幹細胞性に及ぼす影響
大槻　和也	助手	梶村秀樹研究・朝鮮近現代史
城田　愛	学術研究員	ヒトの睡眠に関する科学的研究
田中　聖也	助教	高温物質化学
富樫　マハバット	助手	国際協力・国際開発援助の効果と評価
藤間　友里亜	学術研究員	場面緘黙経験者のコミュニケーション
辻坂　真也	助手	歴史学（古代メソポタミア史）
保井　啓志	学術研究員	イスラエルにおける権利をめぐる運動と政治
▶大学院高度化推進支援センター		
畦地　裕統	助教	認知・行動を制御する脳神経機構の研究
橋本谷　祐輝	准教授	シナプス可塑性の分子メカニズム
井出　薫	助教	認知行動機能を実現する脳神経機構の解明
伊藤　優樹	助教	感覚情報を統合する神経メカニズム
河野　洋幸	助教	中枢神経系におけるシナプス伝達機構の研究
李　鋭祥	助教	脳の機能的ネットワーク
森島　美絵子	准教授	脳神経回路における抑制性細胞の役割
西村　周泰	准教授	ヒトiPS細胞を用いた神経機能の再生研究
大西　泰地	助教	シナプス可塑性の分子メカニズム
尾崎　弘展	准教授	痛みを生み出す脳神経回路の研究
蘇武　佑里子	助教	成体脳内新生ニューロンの移動機構の解析
嶋田　容子	助教	乳幼児と保育の音環境
高等研究教育院		
加治木　紳哉	准教授	巨大科学の歴史、省エネルギーの歴史
上浦　基	教授	数理情報学、AI戦略、AI倫理
大西　有子	准教授	温暖化影響評価、科学と社会の連繋

※2025年4月1日時点の在籍者および所属となります。

キャンパスマップ

今出川校地

2025年6月現在

今出川キャンパス
①アーモスト館（登録有形文化財）
②ゲストハウス
③光塩館／法学部・法学研究科事務室
④啓明館（登録有形文化財）
⑤新島遺品庫
⑥待辰館
⑦神学館／神学部・神学研究科事務室
⑧致遠館
⑨有終館（重要文化財）
⑩弘風館／情報教室、国際教養教育院事務室、入学センター
⑪明徳館／食堂、コンビニ、学生ラウンジ
⑫徳照館／文学部・文学研究科事務室
⑬図書館／新図書館建設工事中
寧静館1階及び地下一階に機能を移し運用しております
⑭クラーク記念館（重要文化財）／キリスト教文化センター
⑮至誠館／商学部・商学研究科事務室
⑯扶桑館／国際センター、国際交流ラウンジ
⑰ハリス理化学館（重要文化財）／同志社ギャラリー
⑱同志社礼拝堂（チャペル）（重要文化財）
⑲彰栄館（重要文化財）
⑳真義館
㉑寧静館／図書館
㉒博遠館
㉓良心館／
情報教室、今出川キャンパス教務センター、経済学部・経済学研究科事務室、講師控室、学生ラウンジ、食堂、コンビニ、書籍・購買店舗、旅行カウンター、カフェ、ラーニング・コモンズ、ITサポートオフィス

烏丸キャンパス
㉔志高館／
情報教室、グローバル地域文化学部事務室、グローバル・スタディーズ研究科事務室、学術情報課事務室、国際教育インスティテュート事務室、講師控室、学生ラウンジ

室町キャンパス
㉕寒梅館／
学生支援センター、カウンセリングセンター、保健センター、キャリアセンター、司法研究科事務室、ビジネス研究科事務室、ハーディーホール、クローバーホール

新町キャンパス
㉖新創館／アカデミックプラザ
㉗尋真館／講師控室、学生ラウンジ
㉘臨光館／
情報教室、社会学部・社会学研究科事務室、政策学部・総合政策科学研究科事務室、新町カフェテリア
㉙渓水館
㉚学生会館（本館）／
クラブ・サークル部室、練習場、会議室、シャワー室、新町ショップ、学生ラウンジ
㉛新町別館／クラブ・サークル部室、練習場

その他
㉜継志寮／多目的ルーム・体育施設

京田辺校地

京田辺キャンパス
①真誠館／体育関係の練習場
②京田辺体育ハウス1
③京田辺体育ハウス2
④体育系ボックス棟
⑤磐上館／スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科事務室、講師控室
⑥デイヴィス記念館／体育館兼講堂、食堂、購買
⑦恵喜館
⑧光喜館
⑨訪知館／脳科学研究科事務室
⑩紫苑館／食堂
⑪成心館／京田辺キャンパス教務センター、学生支援センター
⑫多目的ホール
⑬日糧館／食堂、おいしんボ横丁、書籍・購買店舗、旅行カウンター、コンビニ、学生ラウンジ
⑭知真館３号館／講師控室
⑮京田辺別館／文化系クラブ・サークルBOX、音楽・演劇総合練習場（音楽・コーラス・演劇各練習場、アトリエ、会議室など）、学生ラウンジ
⑯知真館2号館／歴史資料館
⑰保健センター
⑱知真館1号館／カウンセリングセンター
⑲前業館／国際センター、キャリアセンター
⑳交隣館／講師控室、教員ラウンジ、共同研究室
㉑新島記念講堂
㉒同志社ローム記念館／リエゾンオフィス、プロジェクトルーム、カフェ
㉓情報メディア館／情報教室、ITサポートオフィス
㉔夢告館／文化情報学部・文化情報学研究科事務室
㉕知証館北館／機械系実験実習棟、機械実習工場、機械実習工場別棟
㉖知証館南館／自然系等実験実習棟、電気系実験実習棟
㉗言館／礼拝堂
㉘光館／キリスト教文化センター　同志社京田辺会堂
㉙香柏館／心理学部・心理学研究科事務室、グローバル・コミュニケーション学部事務室
㉚ラーネッド記念図書館／ラーニング・コモンズ
㉛頌真館／情報教室
㉜恵道館
㉝創考館／共同実験棟
㉞理化学館／理工学部・理工学研究科事務室
㉟報辰館
㊱香知館
㊲有徳館東館
㊳有徳館西館
㊴知源館
㊵至心館
㊶澄明館
㊷医心館／生命医科学部・生命医科学研究科事務室
㊸業成館（D-egg）

2025年6月現在

大学公式webサイト・公式SNS

公式webサイト

同志社大学

大学案内
webサイト

公式アプリ

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

公式 X

公式 Instagram

公式Facebook

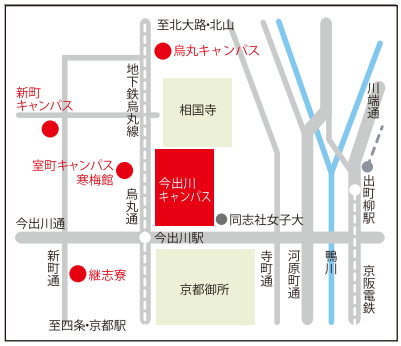
公式 YouTube

アクセスマップ

各キャンパスの詳細、
アクセスなど
詳しくはこちら

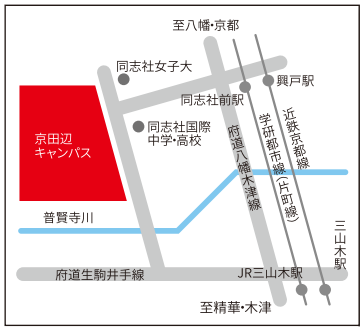
※今出川キャンパスから京田辺キャンパスまで約60分

●今出川校地



・地下鉄「今出川」駅から徒歩1分　・京阪「出町柳」駅から徒歩15分

●京田辺キャンパス



・近鉄「興戸」駅から徒歩15分　・近鉄「三山木」駅からバスで7分
・近鉄「新田辺」駅からバスで10分　・ＪＲ「同志社前」駅から徒歩10分

同志社大学

［発行］同志社大学 ［編集］同志社大学 広報部広報課
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 TEL:075-251-3120
https://www.doshisha.ac.jp

2025年6月